

一 般 廃 棄 物 処 理 基 本 計 画
~ ご み 処 理 基 本 計 画 ~

平 成 2 1 年 3 月

瑞 穂 市

目 次

第1章	計画策定の目的	
1.	計画策定の趣旨	1
2.	計画の位置づけ	2
3.	計画の対象区域	3
4.	計画の範囲	3
5.	計画の目標年次	3
第2章	計画策定の基本的事項	
1.	本市の概況	4
(1)	沿革	4
(2)	位置	4
(3)	地勢と自然	5
(4)	気候	5
2.	人口動態	6
(1)	人口及び世帯数	6
(2)	人口の年齢構成	7
3.	産業の動向	9
(1)	産業別就業人口	9
(2)	農業	11
(3)	商業	12
(4)	工業	13
4.	関連計画	14
(1)	岐阜県廃棄物処理計画	14
(2)	総合計画	15
5.	ごみ処理の現況及び課題	16
(1)	ごみ処理フロー	16
(2)	ごみ処理体制	18
(3)	ごみ処理の実績	25
(4)	ごみ処理の評価	32
(5)	ごみ処理の課題	40
6.	ごみ処理行政の動向	43
第3章	ごみ処理基本計画	
1.	基本的方針	45

2. ごみの排出抑制・再資源化に関する目標	4 6
(1) ごみ排出量の削減目標	4 6
(2) リサイクル率の目標	4 6
3. ごみの発生量及び処理量の見込み	4 7
(1) 人口の将来予測	4 7
(2) ごみ総排出量と人口1人1日あたりごみ総排出量の将来予測	4 8
(3) 資源化率の将来予測	5 0
(4) 最終処分量の将来予測	5 1
4. ごみの排出抑制のための方策に関する事項	5 2
(1) 行政の役割	5 2
(2) 市民の役割	5 4
(3) 事業者の役割	5 5
5. 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分	5 6
6. ごみの適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的事項	5 7
(1) 収集・運搬計画	5 7
(2) 中間処理計画	5 9
(3) 最終処分計画	6 0
7. ごみの処理施設の整備に関する事項	6 0
8. その他ごみの処理に関し必要な事項	6 0
(1) 廃棄物減量等推進審議会	6 0
(2) 災害対策	6 0
(3) 不適正排出対策及び不法投棄防止対策	6 0

第4章 計画の推進

1. 地球温暖化防止への配慮	6 1
2. 計画のスケジュール	6 1
3. 計画の推進と公表	6 1

資料編

資料1 ごみ処理の実績及び予測	6 3
資料2 人口1人1日あたり収集ごみ量の予測	6 5
資料3 人口1人1日あたり直接搬入量ごみの予測	7 6
資料4 人口1人1日あたり集団回収量の予測	9 4
資料5 ごみ分別意識調査結果	1 0 1
資料6 諮問・答申	1 0 8
資料7 廃棄物減量等推進審議会	1 1 3

第1章 計画策定の目的

1. 計画策定の趣旨

我が国は、社会経済の発展と生活様式の変化に伴い、物質的豊かさや利便性を手に入れてきた一方で、その大量生産、大量消費、大量廃棄の社会経済システムは、化石燃料等の天然資源の枯渇や環境負荷の増大といった社会問題を引き起こしてきました。そのため、我が国が持続的に発展するためには、現在の社会経済システムを根本的に改め、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減した「循環型社会」に転換していく必要があります。

国は、平成12年を「循環型社会元年」と位置づけ、循環型社会形成推進基本法をはじめとして、各種の廃棄物・リサイクル関連法を制定・改正するなど、循環型社会に向けた法整備を進めてきています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という)においては、市町村、県、国の役割が明確となり、一般廃棄物の処理は市町村固有の自治事務、産業廃棄物の処理は排出者責任が基本であり、その処理に係る許認可等の事務は県への法定受託事務として位置づけられています。

市町村は、廃棄物処理法の第6条第1項に基づき、同法の目的である生活環境の保全と公衆衛生の向上を図りつつ、当該市町村の区域内の一般廃棄物の適切な処理・処分を行うため、一般廃棄物処理計画を定めることが義務づけられています。

一方、平成15年5月1日に当時の穂積町、巢南町の2町(以下、「旧2町」という。)の合併により誕生した瑞穂市(以下、「本市」という。)においては、旧2町がそれぞれに廃棄物の発生・排出抑制、資源化、適正処理を推進してきたところですが、本市の誕生を機に旧2町の取り組みを継承しつつ、本市が目指すべきごみ処理の在り方について、市民・事業者・行政の共通認識として掲げておく必要があります。

本市では、これらの廃棄物行政を取り巻く社会動向に対応するために、循環型社会の構築を目指すためのごみ処理の発生・排出抑制、資源化、中間処理、最終処分等の姿を描くことを目的として、一般廃棄物(ごみ処理)基本計画(以下、「本計画」という。)を策定します。

2. 計画の位置づけ

本計画は、本市が長期的・総合的視点に立って、計画的なごみ処理の推進を図るための基本方針となるものであり、ごみの排出抑制及びごみの発生から最終処分に至るまでの、ごみの適正な処理を進めるために必要な基本事項を定めるものです。

本計画と関連計画との位置づけを整理すると図1に示すとおりであり、本計画は、本市の総合計画で示された将来像を目指すための一般廃棄物分野における計画として、国が示す廃棄物処理の方針や循環型社会形成推進基本法の趣旨に則った計画です。

ごみ問題への対応策は、単にごみだけを独立させて議論できるものではなく、その背景にある経済や社会の構造や枠組みといった問題、さらには一人ひとりの生き方、生活様式にかかる問題として、環境保全、資源循環という視点から取り組んでいく必要があります。

限りある自然、資源、環境と共生できる資源循環型・環境保全型の都市を構築していくことを市民、事業者、行政の共通目標として確認するとともに、本計画によりごみの排出抑制・適正処理を行っていくこととします。

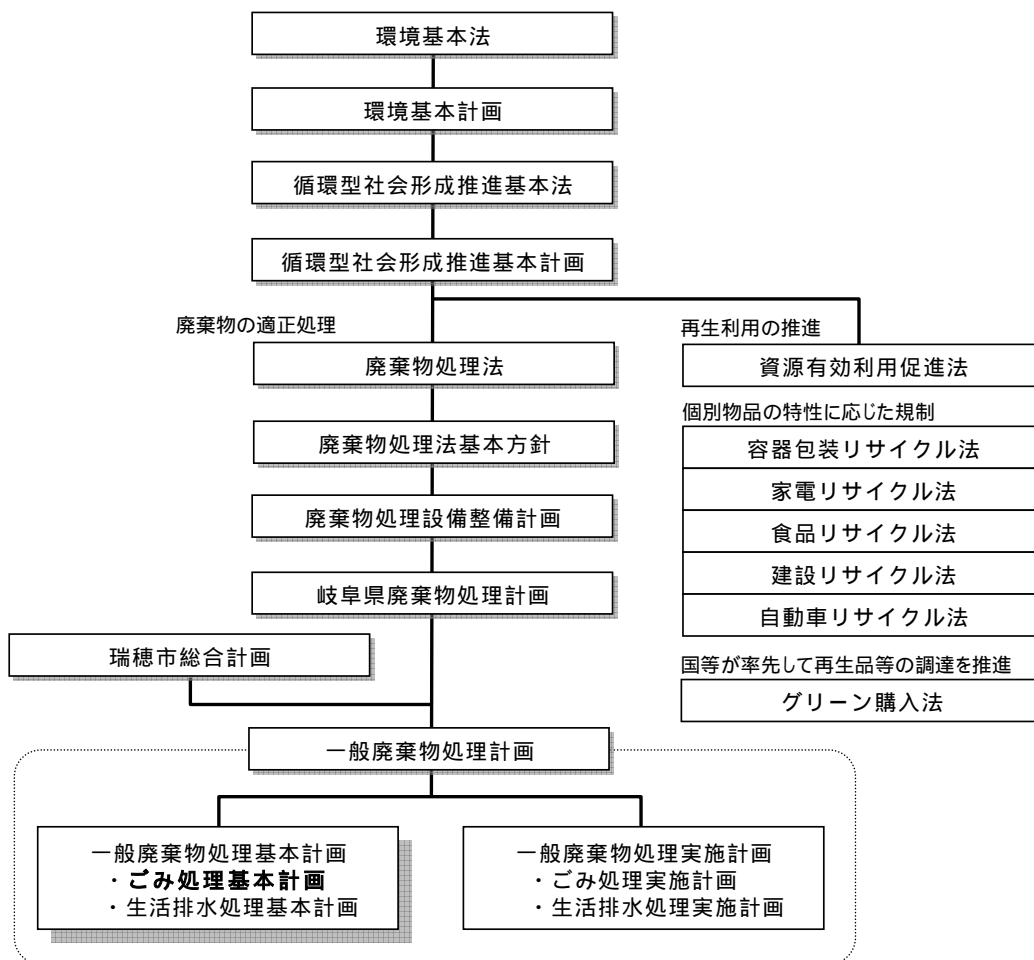


図1 計画の位置づけ

3. 計画の対象区域

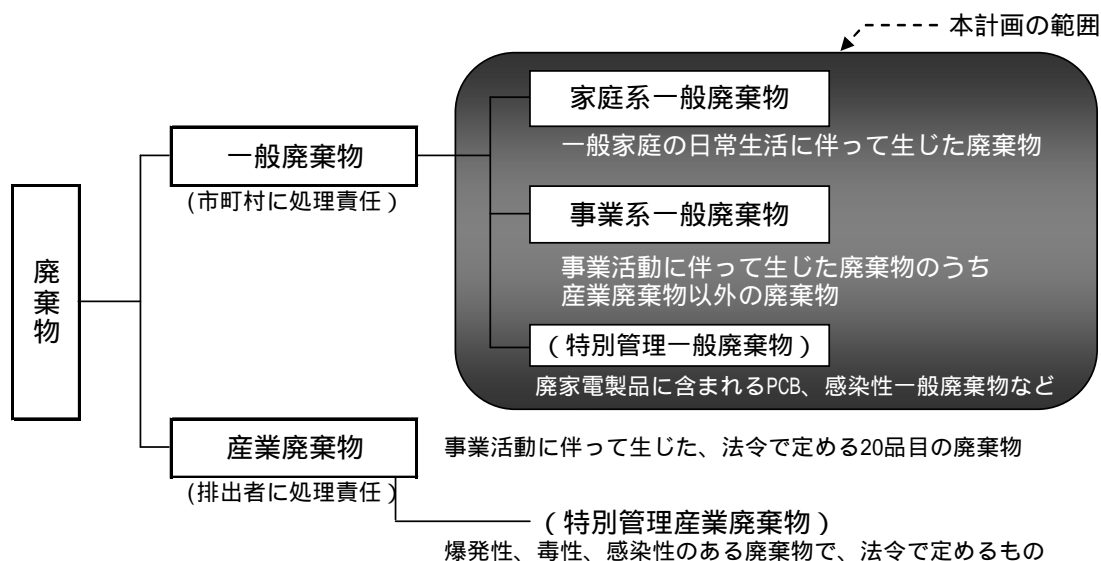
本計画の対象区域は、本市全域とします。

4. 計画の範囲

廃棄物の種類と本計画の範囲は図2に示すとおりです。

廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に区分され、処理において市町村に統括的な責任を有する一般廃棄物を本計画の範囲とします。

なお、本市では一般廃棄物のうち家庭系一般廃棄物と事業系一般廃棄物を処理対象としています。



注) 特別管理一般廃棄物は、本市では収集運搬処分をしておらず、処理業者において処理処分されています。

図2 廃棄物の種類と計画の範囲

5. 計画の目標年次

本計画の目標年次は平成21年度より15年後の平成35年度とし、第1次目標年次として平成21年度より5年後の平成25年度を設定します。

目標年次：平成35年度
(第1次目標年次：平成25年度)

なお、計画は5年ごとに見直すこととしますが、社会経済情勢の変動があった場合や、国や岐阜県における方針の変更等、計画の前提となる諸条件に大きな変更が生じた場合にはその都度見直しを行います。

第2章 計画策定の基本的事項

1. 本市の概況

(1) 沿革

本市は、平成 15 年 5 月 1 日に穂積町と巢南町の合併により、岐阜県内では 16 番目の市として誕生しました。

このうち、穂積町は、昭和 23 年から町制に移行し、以降、昭和 29 年の 1 町 3 村の合併、昭和 32 年の巢南町の一部編入を経てきました。一方、巢南町については、昭和 29 年の 3 村合併により巢南町の原形となる巢南村が誕生し、昭和 39 年から町制に移行していました。

(2) 位置

本市は、東経 136 度 41 分 37 秒、北緯 35 度 23 分 24 秒、濃尾平野の北西部、岐阜県の南西部に位置しています。さらに、周辺都市との位置関係をみると、東部で県都岐阜市に接しているほか、北部は本巣市及び北方町に、西部は大野町、神戸町及び大垣市に、南部は安八町に接しています。

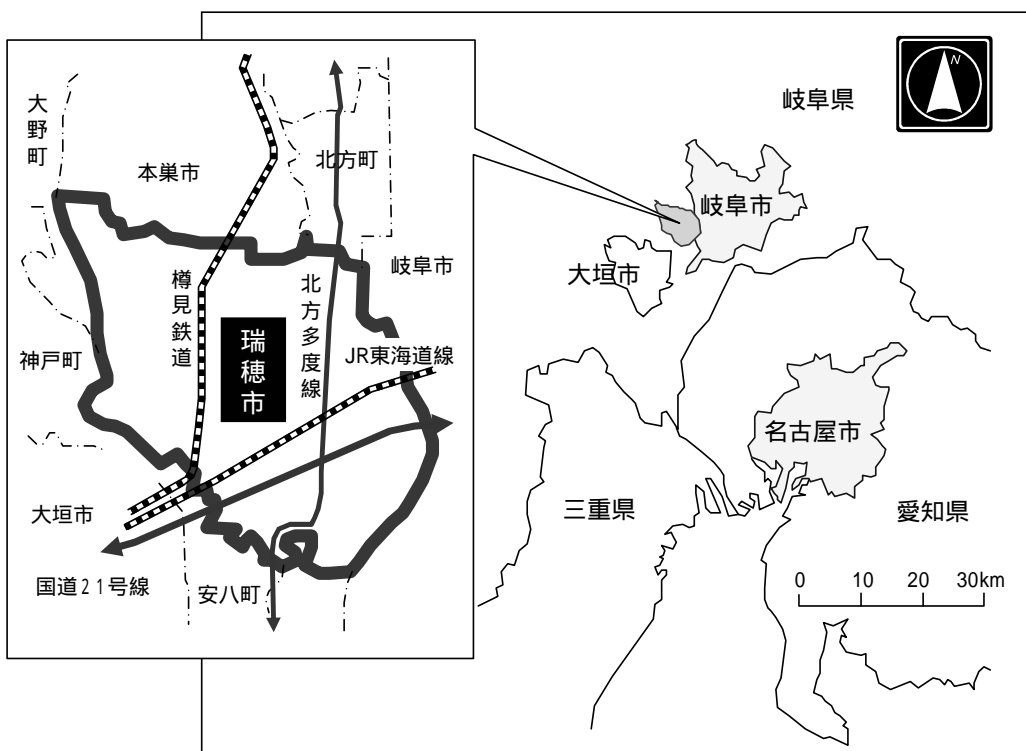


図3 位置図

(3) 地勢と自然

本市は、長良川及び揖斐川に挟まれ、東西 5.5km、南北 6.5km にわたって平地が広がる面積 28.18 km² の市です。

市内には、犀川、五六川、根尾川、糸貫川、天王川等の 16 本の一級河川が北から南に向かって流れており、水面・河川・水路の面積が市全体の約 20% を占めるなど、水に恵まれた環境を有しています。

このような肥沃な地勢は、市民に潤いを与え、農業の振興にも役立てられてきましたが、一方で、水害との戦いの歴史も色濃く残っています。近年は、防災面の対策が進み、大きな水害には見舞われていませんが、水害への備えは、本市にとっての重要課題として今も位置づけています。

(4) 気候

本市は、最高気温 34.7 度、最低気温 1.5 度と季節の寒暖差がはっきりとしており、年間平均では 16.4 度と大変暮らしやすい気候となっています。

表 1 気象の概要 (平成 19 年)

項目	気温()						日照時間(h)		降水量(mm)		
	日最高平均		日最低平均		平均		平年	日最大	降水量		
	平年	平年	平年	平年	平年	平年					
1月	10.9	8.8	1.5	0.3	6.0	4.3	164.1	162.7	21.5	41.0	62.4
2月	13.0	9.5	2.5	0.5	7.4	4.7	188.1	162.0	24.5	87.5	83.5
3月	14.3	13.4	3.6	3.5	8.9	8.2	202.8	192.5	26.5	99.5	142.6
4月	19.6	19.5	8.6	9.0	14.0	14.1	202.2	191.7	2.5	13.0	186.6
5月	24.7	23.9	13.6	13.8	18.9	18.6	245.3	204.4	53.0	154.5	206.3
6月	27.9	27.0	18.9	18.7	23.0	22.5	174.2	156.8	71.0	257.0	253.7
7月	29.3	30.7	21.9	22.7	25.1	26.2	130.9	170.6	99.5	429.5	273.4
8月	34.7	32.4	25.1	23.9	29.2	27.5	229.6	199.8	30.5	63.0	172.0
9月	30.2	28.2	22.5	19.9	25.8	23.5	139.0	151.6	105.0	261.5	269.0
10月	23.9	22.8	14.8	13.3	19.0	17.7	170.6	173.5	23.0	87.0	124.1
11月	17.1	17.0	7.7	7.3	12.2	11.9	144.7	157.1	6.5	20.5	94.6
12月	11.7	11.6	4.2	2.3	7.6	6.6	127.9	163.1	33.0	94.0	47.3
年平均	21.4	20.4	12.1	11.3	16.4	15.5					
年合計							2119.4	2085.8		1608.0	1915.5
平年差		1.0		0.8		0.9		33.6			-307.5

注) 平年とは昭和46年～平成12年について算出した累年平均値です。

出典: 岐阜地方気象台

2. 人口動態

(1) 人口及び世帯数

本市の過去10年間の人口及び世帯数の推移は表2及び図4に示すとおりです。

人口、世帯数ともに増加していますが、人口よりも世帯数の増加率が大きいため1世帯あたりの人数は減少しています。

表2 人口及び世帯数の推移

各年3月31日現在

年度	瑞穂市			旧穂積町		旧巢南町	
	人口	世帯数	1世帯あたり人数	人口	世帯数	人口	世帯数
平成10年度	44,906	14,334	3.13	33,488	11,241	11,418	3,093
平成11年度	45,585	14,684	3.10	33,986	11,501	11,599	3,183
平成12年度	46,231	15,133	3.05	34,211	11,756	12,020	3,377
平成13年度	46,814	15,575	3.01	34,758	12,158	12,056	3,417
平成14年度	47,311	15,984	2.96	35,010	12,459	12,301	3,525
平成15年度	48,273	15,970	3.02	35,239	12,236	13,034	3,734
平成16年度	48,744	16,224	3.00	35,583	12,398	13,161	3,826
平成17年度	49,435	16,521	2.99	36,088	12,618	13,347	3,903
平成18年度	49,820	16,278	3.06	36,753	12,431	13,067	3,847
平成19年度	50,620	16,729	3.03	37,459	12,741	13,161	3,988

単位：人口（人）・世帯数（世帯）・1世帯あたり人数（人） 出典：瑞穂市戸籍資料

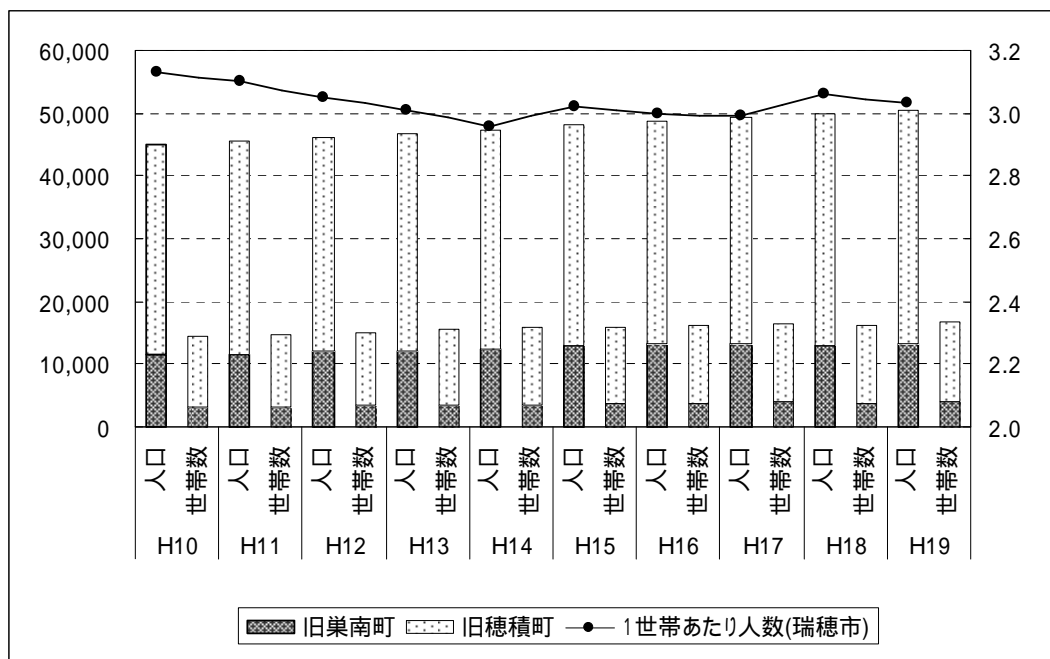


図4 人口及び世帯数の推移

(2) 人口の年齢構成

本市の年齢構成は、表3、図5及び図6に示すとおりです。

年少人口(0~14歳)は減少し、生産年齢人口(15~64歳)と老年人口(65歳以上)は増加しており、少子高齢化が進んでいます。

また、平成17年度の年齢別人口比率を県平均と比較すると、老年人口の割合が低く、年少人口と生産年齢人口の割合が県平均よりも高くなっています。

表3 年齢構成別人口の推移

単位：人

	15歳未満	15~64歳	65歳以上	人口
昭和60年	8,671	24,758	2,688	36,117
平成2年	7,901	28,886	3,280	40,067
平成7年	7,695	31,836	4,361	43,892
平成12年	7,899	32,864	5,526	46,289
平成17年	8,162	34,088	6,789	49,039
岐阜県(H17)	305,845	1,357,583	442,124	2,105,552

出典：国勢調査

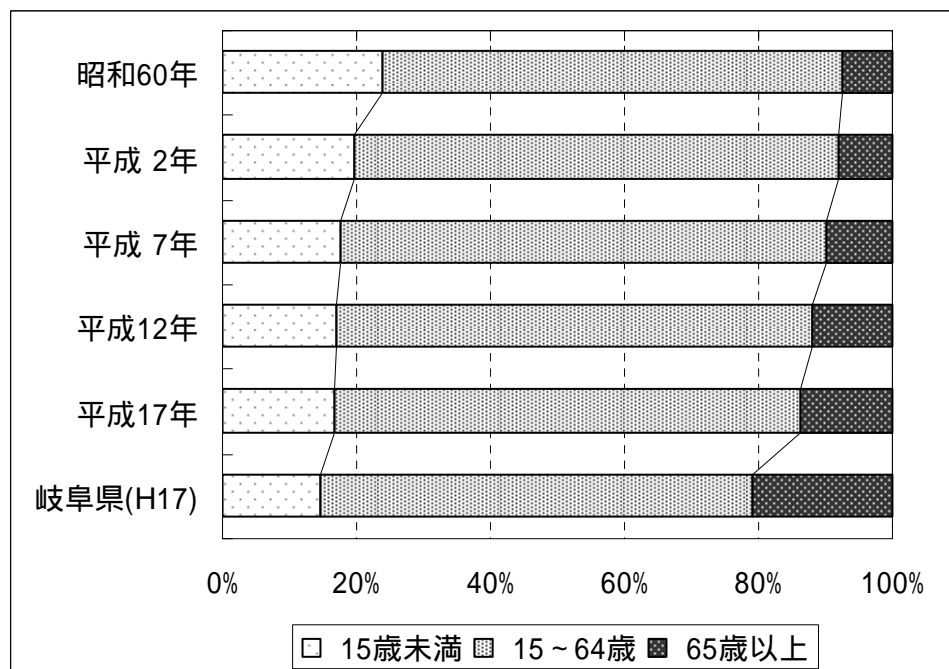
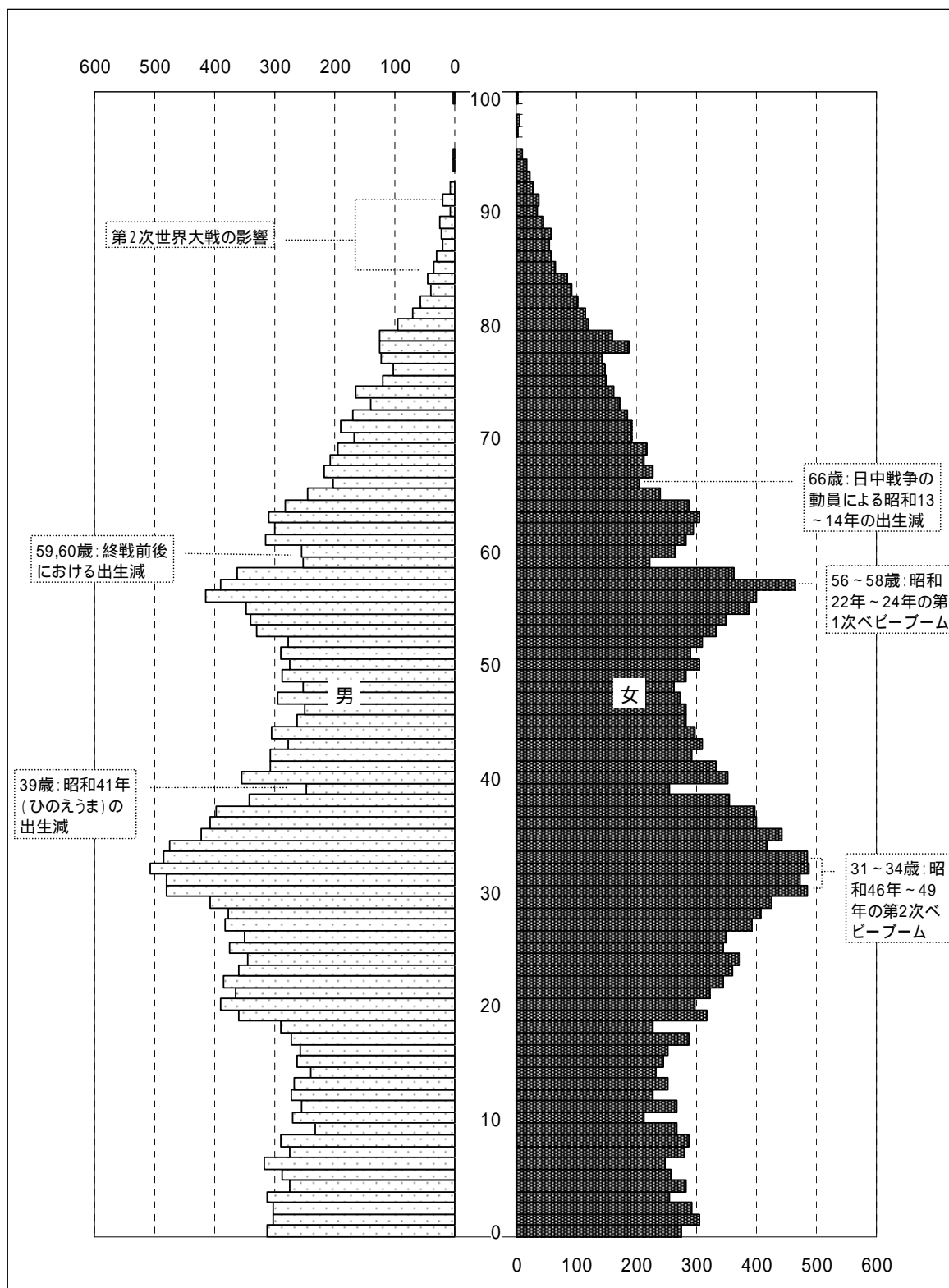


図5 年齢構成別人口割合の推移



出典：国勢調査

図6 人口ピラミッド（平成17年）

3. 産業の動向

(1) 産業別就業人口

本市の産業大分類別就業人口の推移は表4及び図7に示すとおりです。また、平成16年度及び平成18年度における産業大分類別の事業所数及び従業員数を表5及び表6に示します。

平成17年度における本市の就業者人口は24,576人で、人口の増加に比例して就業者数も増加傾向にあります。

産業別にみると、第1次産業は、著しい減少期を過ぎ、就業人口比3%程度を維持していますが、第2次産業については平成7年をピークとして減少に転じています。

一方、第3次産業については、サービス業、運輸・通信業、不動産業等、交通の利便性等を活かした産業が多く立地するなかで、就業人口も大きな増加を示しており、就業人口比は約64%となっています。

表4 産業別大分類就業人口の推移

単位：人

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	就業人口
昭和60年	1,123	7,727	8,412	17,262
平成2年	872	8,873	10,265	20,010
平成7年	822	9,071	12,747	22,640
平成12年	811	8,879	14,006	23,696
平成17年	789	8,120	15,667	24,576
岐阜県(H17)	39,662	372,018	652,924	1,064,604

出典：国勢調査

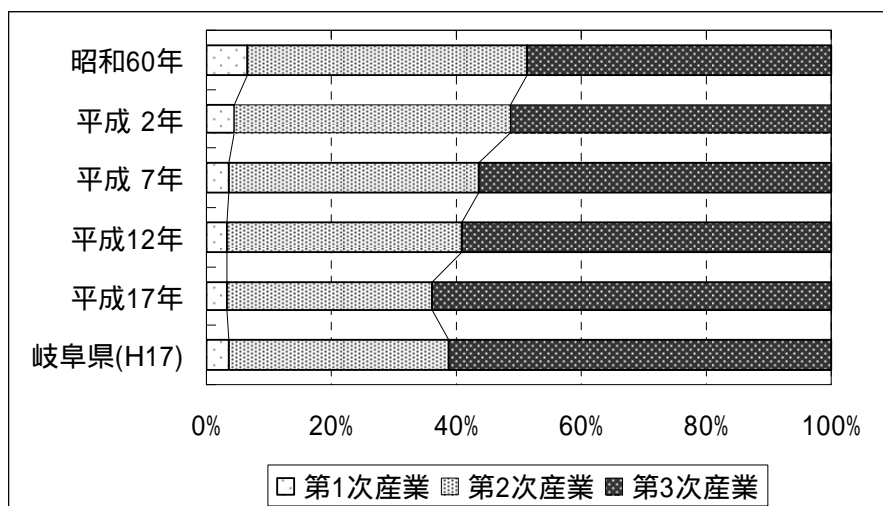


図7 産業大分類就業人口割合の推移

表 5 産業大分類別事業所数及びその比率

単位：事業所

産業大分類	平成16年		平成18年	
	事業所数	比率(%)	事業所数	比率(%)
農林漁業	10	0.5	11	0.6
鉱業	2	0.1	1	0.1
建設業	223	11.8	243	12.4
製造業	289	15.3	274	13.9
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.1	1	0.1
情報通信業	6	0.3	8	0.4
運輸業	57	3.0	63	3.2
卸売・小売業	431	22.8	446	22.7
金融・保険業	22	1.2	24	1.2
不動産業	139	7.4	139	7.1
飲食店、宿泊業	212	11.2	212	10.8
医療、福祉	75	4.0	89	4.5
教育、学習支援業	57	3.0	67	3.4
複合サービス事業	9	0.5	13	0.7
サービス業(他に分類されないもの)	357	18.9	374	19.0
合計	1890	100	1965	100

出典：平成18年度 事業所・企業統計調査

表 6 産業大分類別就業者数及びその比率

単位：人

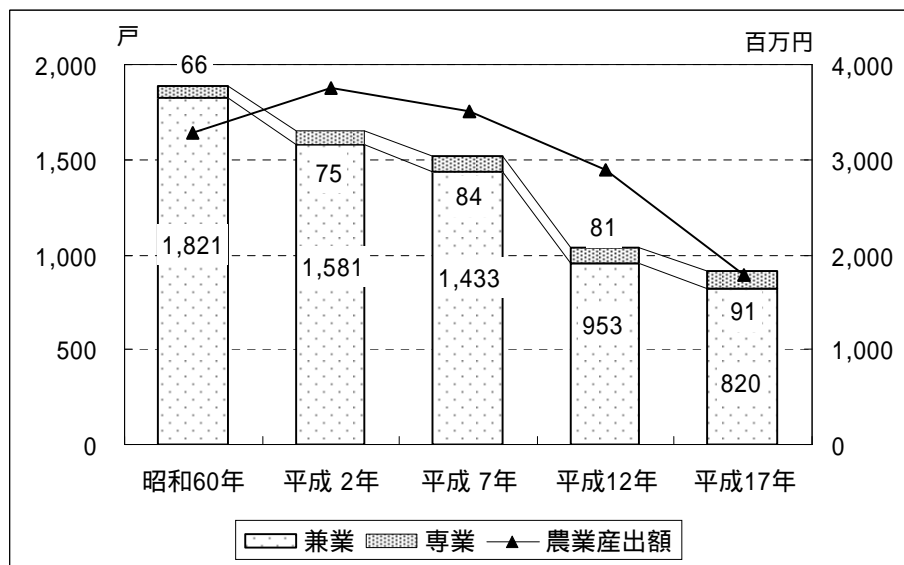
産業大分類	平成16年		平成18年	
	就業者数	比率(%)	就業者数	比率(%)
農林漁業	218	1.2	156	0.9
鉱業	20	0.1	14	0.1
建設業	1457	8.2	1479	8.2
製造業	5217	29.4	4343	24.0
電気・ガス・熱供給・水道業	6	0.0	8	0.0
情報通信業	22	0.1	24	0.1
運輸業	1701	9.6	1545	8.5
卸売・小売業	3042	17.1	3834	21.2
金融・保険業	376	2.1	339	1.9
不動産業	259	1.5	348	1.9
飲食店、宿泊業	1281	7.2	1343	7.4
医療、福祉	863	4.9	1155	6.4
教育、学習支援業	1169	6.6	1217	6.7
複合サービス事業	57	0.3	150	0.8
サービス業(他に分類されないもの)	2082	11.7	2136	11.8
合計	17770	100	18091	100

出典：平成18年度 事業所・企業統計調査

(2) 農業

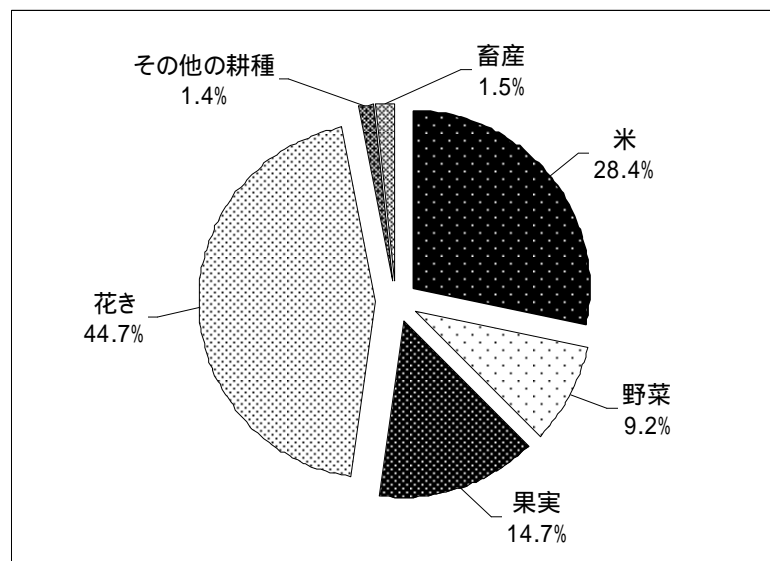
本市の農家数及び農業人口の推移を図8、平成17年度における農業産出額割合を図9に示します。

本市の農業は、水田において昨今の米余りによる生産調整により、柿、梨などの果樹や都市近郊の有利性を活かした施設農業に転換され、いちごや花きの栽培が盛んに行われるようになってきました。しかし、農家数、農家人口ともに減少傾向にあり、農業従事者の高齢化も進んでいるのが実情です。



出典：世界農業センサス、岐阜県統計書

図8 農家数及び農業人口の推移



出典：世界農業センサス

図9 農業産出額割合（平成17年度）

（3）商業

本市の商業の概況は表7及び図10に示すとおりです。

本市の商業は、国道21号や主要地方道北方多度線、主要地方道岐阜巣南大野線といった幹線道路を中心に商業、サービス業が発展している一方で、JR穂積駅を中心とした既存商店街では空洞化が進んでいます。これらの影響を受けて、商店数は減少傾向にあるものの、従業員数、年間商品販売額は増加傾向を示しています。

表7 商業の概況

	商店数（戸）	従業員数（人）	年間商品販売額（万円）
平成3年	403	2,189	7,494,861
平成6年	391	2,362	8,058,265
平成9年	413	2,543	7,243,201
平成11年	437	2,979	7,664,638
平成14年	421	3,038	7,198,292
平成16年	420	2,868	7,265,315
平成19年	383	3,111	8,115,206

出典：商業統計

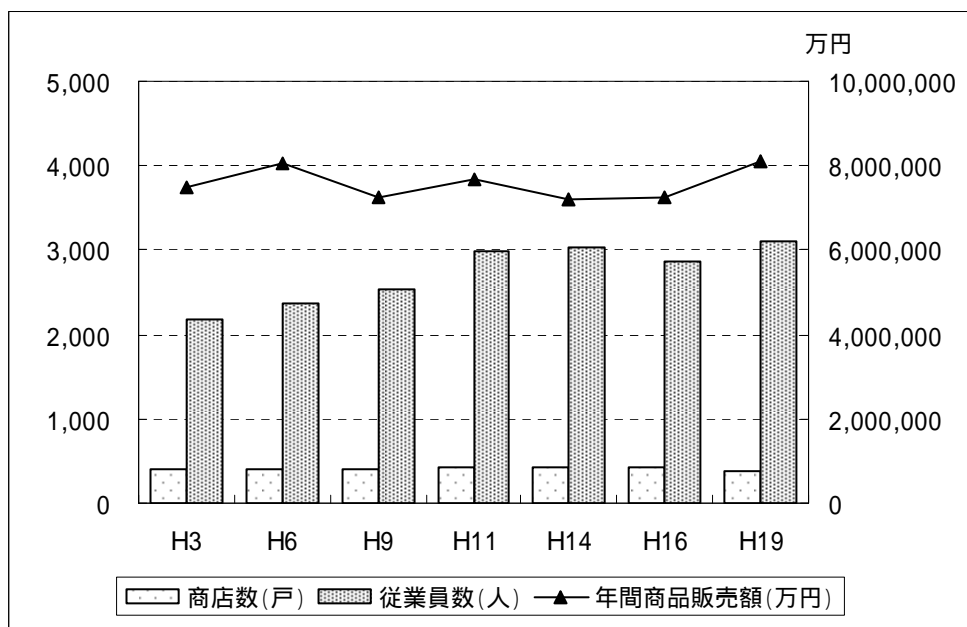


図10 商業の概況

(4) 工業

本市の工業の概況は表8及び図11に示すとおりです。

東海環状自動車道の整備等を勘案しつつ企業誘致を進めるとともに、地場の中小企業に対しても、商工会や関係機関と連携して各種支援を行い経営の合理化や近代化を促しているものの、事業所数、従業員数、製造品出荷額のいずれも減少傾向を示しています。

表8 工業の概況

	事業所数 (事業所)	従業員数 (人)	製造品出荷額 (万円)
平成11年	299	4,644	8,517,443
平成12年	280	4,448	8,279,471
平成13年	272	4,407	7,673,933
平成14年	258	4,352	7,215,053
平成15年	144	4,412	7,682,149
平成16年	138	4,038	7,873,926
平成17年	130	3,352	7,082,502

出典：工業統計

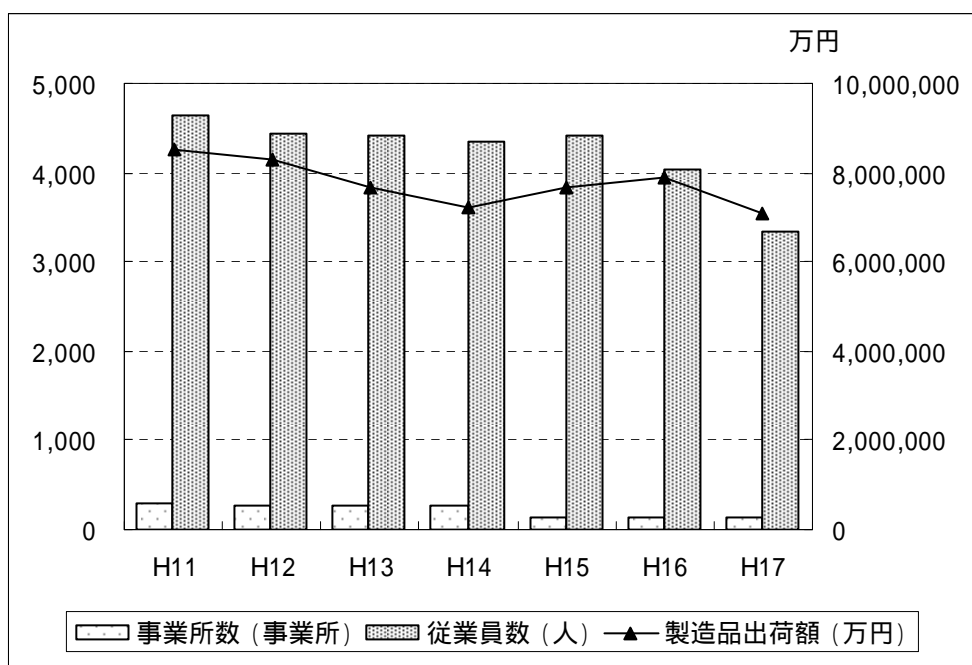


図11 工業の概況

4．関連計画

（１）岐阜県廃棄物処理計画

岐阜県は平成 20 年 1 月に「岐阜県廃棄物処理計画」を改訂し、その中で、市町村の役割として、一般廃棄物処理計画の策定、発生抑制、排出抑制、再資源化の推進、リサイクル製品の率先使用、情報公開の推進等下記の内容を示しています。

【発生量の抑制と資源化の推進】

一般廃棄物の減量に関し、住民の自主的な活動の促進を図ります。

自ら廃棄物の発生抑制、排出抑制、再資源化の推進に努め、リサイクル製品の調達を率先して行います。

一般廃棄物の有料化の導入又は見直しを推進します。

【適正処理の推進と不適正処理の防止】

一般廃棄物の発生抑制のための方策や適正処理に関する基本的事項等を定めた一般廃棄物処理計画を策定し、一般廃棄物処理計画に従って、一般廃棄物を生活環境上支障が生じないように収集し、運搬し、処分します。

一般廃棄物処理業の許可、変更許可及び取消しを適切に行うとともに、一般廃棄物処理業者、事務所、事業場へ適切な指導を行います。

「岐阜県ごみ処理広域化計画」に基づき、他の市町村との連携等による広域化の取組みを推進し、一般廃棄物の効率的な循環的利用、処分しなければならないものについて適切な中間処理及び最終処分の確保に努めます。運営においては、必要に応じて有料化や P F I の活用を検討します。

災害廃棄物処理計画を作成することにより、災害発生時における廃棄物の適正かつ円滑な処理体制を確保します。

一般廃棄物の処理に関する事業の実施にあたっては、職員の資質の向上、施設の整備及び作業方法の改善を図る等、その能率的な運用に努めます。

不法投棄等への監視・指導を行い、不適正処理の未然防止と早期発見に努めます。

【廃棄物に関する情報公開の推進及び普及啓発】

廃棄物処理施設に対する信頼性を高める上で、住民に対して、現在稼働中の施設に関する情報を積極的に公開します。

廃棄物の抑制及び適正処理を確保するため、住民及び事業者の意識の啓発を図ります。

環境教育・環境学習の推進やごみ減量、再資源化についてのアイデアや意見を聴取したり、情報提供に努めます。

(2) 総合計画

本市では「瑞穂市総合計画」を策定し、「市民参加・協働のまちづくり」をめざす将来像として、基本構想、基本計画、基本方針、施策の展開を掲げています。

また、まちづくりのひとつの基本目標として、「心豊かな住みよいまちづくり」を掲げ、「住みよい環境づくり」の中で、廃棄物処理の適正処理、排出抑制の推進、リサイクルの推進を施策の展開として掲げています。

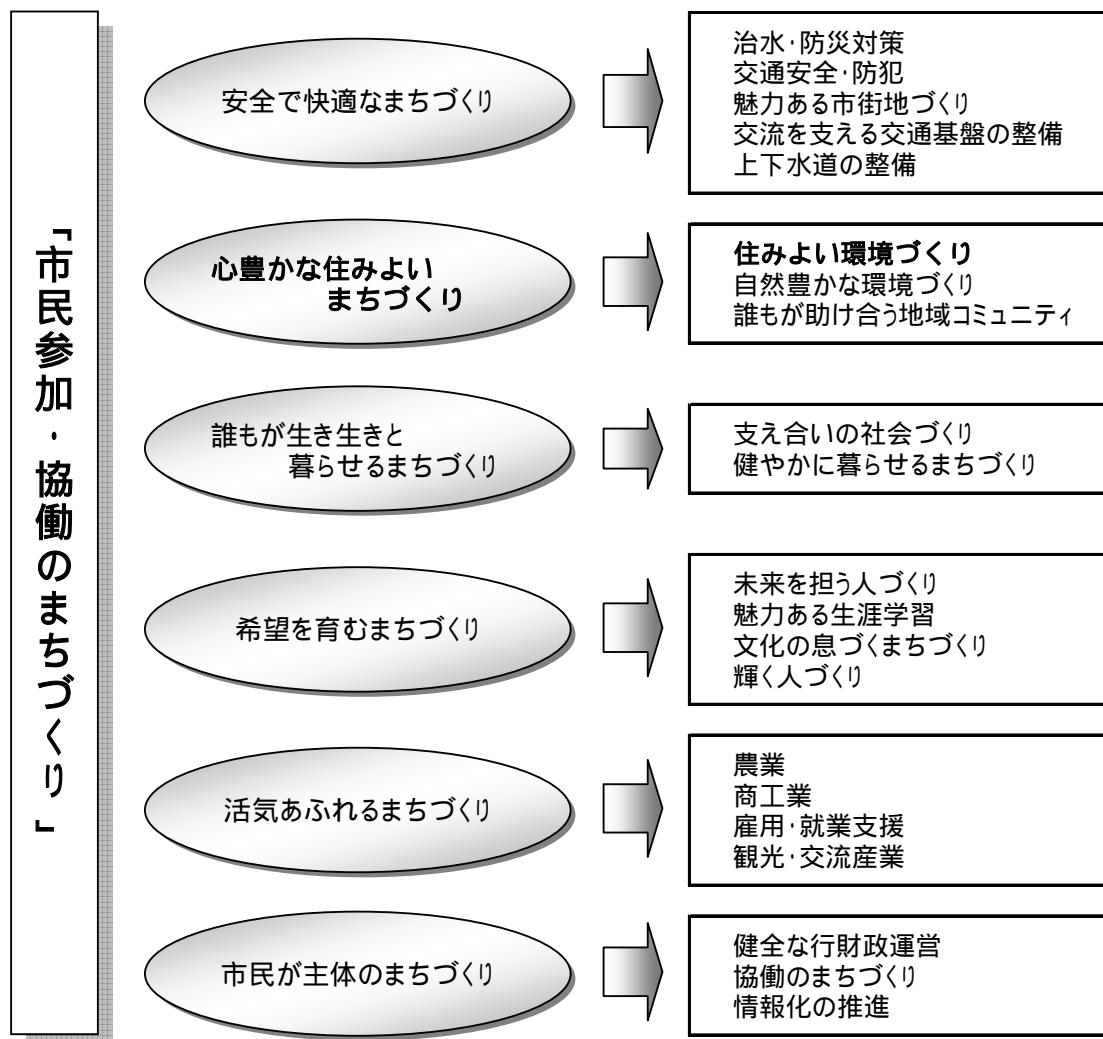


図 12 総合計画施策の体系図

5. ごみ処理の現状及び課題

(1) ごみ処理フロー

本市では、旧2町の地区でごみの分別区分が統一されていません。それぞれの
ごみ処理フローは以下に示すとおりです。

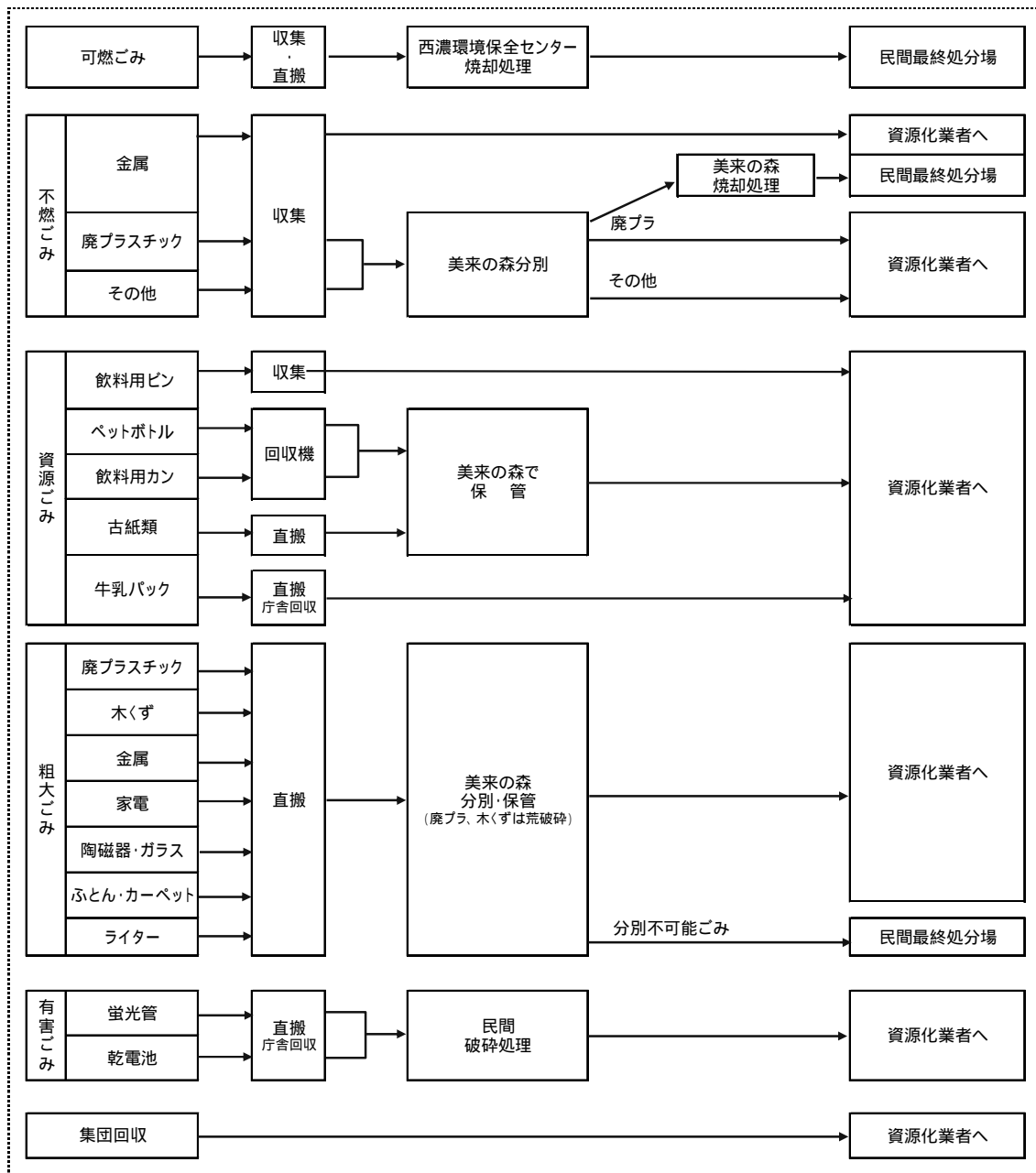


図 13 穂積地区のごみ処理フロー（平成 19 年度）

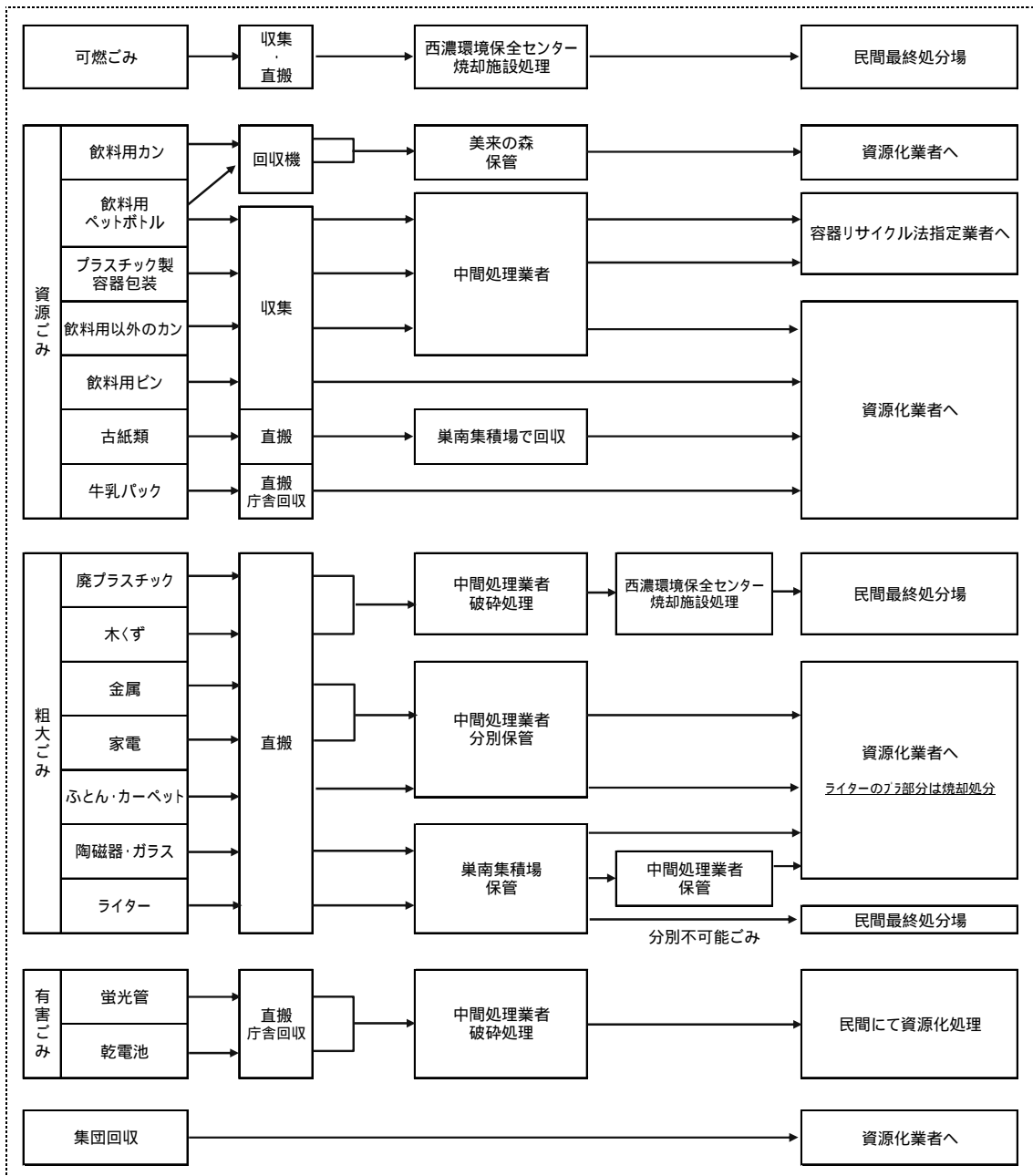


図14 巢南地区のごみ処理フロー（平成19年度）

(2) ごみ処理体制

ごみの排出抑制

本市では平成 15 年 5 月の合併以前より、指定ごみ袋による家庭ごみ有料化を実施し、排出抑制のための取り組みを進めてきました。

また、収集前段階における再資源化を促進するため、古紙などを集団で回収する子供会や P T A などに奨励金を交付し、回収促進を図ってきました。その結果は表 9 に示すとおりですが、平成 17 年度までは順調に増加したものの、平成 19 年度からは実施回数の減少から収集量が減少しています。

表 9 資源集団回収量

単位：t

年度	H15	H16	H17	H18	H19
集団回収	1,616.0	1,656.5	1,723.0	1,690.0	1,097.8
古紙	1,374.0	1,433.6	1,480.3	1,446.8	936.4
布類	58.7	39.6	48.9	60.3	43.7
飲料用紙パック	6.1	6.9	7.8	10.0	4.0
段ボール	174.7	175.3	184.4	170.3	113.4
ピン	2.6	1.2	1.5	2.3	0.2
缶類	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2

家庭における生ごみの堆肥化を支援するために、生ごみ処理容器（年間 1 世帯 40L 未満の容器は 2 個、40 L 以上の容器は 1 個を限度）及び電動生ごみ処理機（年間 1 世帯 1 台を限度）に対する購入補助（購入費の 2/3、限度額 30,000 円）を実施しています。

平成 15 年度から平成 19 年度までの 5 年間で、生ごみ処理容器は 30 基、電動生ごみ処理機に対しては 294 基の助成を行いました。助成件数が減少傾向にあるため、より一層の普及・啓発を行うとともに、制度のあり方について検討することも必要になっています。

表 10 生ごみ処理容器助成実績

年度	H15	H16	H17	H18	H19
助成実績（基）	9	7	6	5	3

注）助成開始：平成 15 年度より

表 11 電動生ごみ処理機助成実績

年度	H15	H16	H17	H18	H19
助成実績（基）	79	61	52	52	50

注）助成開始：平成 15 年度より

分別区分

本市では、旧2町の地区でごみの分別区分が統一されていません。それぞれの分別区分は以下に示すとおりです。

表12 穂積地区の分別区分（平成19年度）

ごみの種類		内 容
可燃物（生ごみ）		野菜クズ、紙クズ、ぬいぐるみ、紙オムツ、魚クズ、家庭内の草・落葉、タバコの吸い殻、ラップ類、木クズ、茶ガラ・洗剤箱、衣料など
飲料用びん	無色透明	一升びん、ドリンクびん、割れびん
	茶色	一升びん、ビールびん、ドリンクびん、割れびん
	その他	ドリンクびん、割れびん
不燃ごみ	金物	空きカン、お菓子等のカン、スプレー缶、のり缶、一斗缶
	プラスチック類	調味料・洗剤容器、バケツ、PETマークのある飲料用・調味料容器
	その他	化粧品のびん、グラス、陶磁器類、割れガラス
粗大ごみ		チャイルドシート、ファンヒーター、ストーブ、掃除機、ふとん、じゅうたん、植木鉢、ビデオ・カセットテープレコーダー、チューナー、扇風機、割れガラス、木製タンス、ソファー、自転車、電気コンロ、電池・蛍光灯、廃タイヤ、ベッドのスプリングマット
古紙類		新聞・チラシ、雑誌・古本、ダンボール
回収機	飲料用空缶	アルミ・スチール缶
	ペットボトル	ペットボトル
庁舎回収	牛乳パック	牛乳パック
	有害ごみ	乾電池、電球・蛍光灯
	刃物類	包丁・はさみ、カミソリ刃
収集できないごみ		分別していないごみ、消火器、医療系廃棄物、LPガスボンベ、農機具、バッテリー、オイルの残っている缶、オートバイ、自動車、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコン、ディスプレイ、パソコン本体、ノートパソコン

出典：瑞穂市ごみの出し方について

表 13 巢南地区の分別区分（平成 19 年度）

ごみの種類		内 容
可燃物（生ごみ）		野菜クズ、紙クズ、ぬいぐるみ、紙オムツ、魚クズ、家庭内の草・落葉、タバコの吸い殻、ラップ類、木クズ、茶ガラ・洗剤箱、衣料など
飲料用びん		無色、茶色、その他（一升びん・ビールびん・ドリンクびん・割れびん）
カン類		飲料用以外のカン（空きカン、お菓子等のカン、スプレー缶、のり缶、一斗缶）
ペットボトル		PETマークのついているペットボトル（飲料用、酒類用、しょうゆ用、みりん類、ノンオイルドレッシング）
プラスチック製容器包装		プラマークのある容器包装（包装用フィルム、玉子ケース、トレー、カップ麺容器、汎用ポリ袋、豆腐容器、プラスチック製キャップ）
粗大ごみ		チャイルドシート、ファンヒーター・ストーブ、掃除機、ふとん、じゅうたん、植木鉢、ビデオ・カセットテープレコーダー、チューナー、扇風機、割れガラス、木製タンス、ソファ、自転車、電気コンロ、電池・蛍光灯、廃タイヤ、ベッドのスプリングマット
古紙類		新聞・チラシ、雑誌・古本、ダンボール
回収機	飲料用空缶	アルミ・スチール缶
	ペットボトル	ペットボトル
庁舎回収	牛乳パック	牛乳パック
	有害ごみ	乾電池、電球・蛍光灯
	刃物類	包丁・はさみ、カミソリ刃
収集できないごみ		分別していないごみ、消火器、医療系廃棄物、LPガスボンベ、農機具、バッテリー、オイルの残っている缶、オートバイ、自動車、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、エアコン、ディスプレイ、パソコン本体、ノートパソコン

出典：瑞穂市ごみの出し方について

【穂積地区、巢南地区の主な相違点】

カ ン 類 穂積：不燃ごみ（金物） 巢南：資源ごみ
 ペットボトル 穂積：回収機・不燃ごみ（プラスチック類） 巢南：回収機・資源ごみ
 化粧びん・陶磁器類等 穂積：不燃ごみ（その他） 巢南：粗大ごみ
 プラスチック製容器包装 穂積：可燃ごみ・不燃ごみ（プラスチック類） 巢南：資源ごみ

収集・運搬

本市におけるごみの収集・運搬体制は以下に示すとおりです。

表14 収集・運搬体制(平成19年度)

項目	収集形態	収集方法	箇所数	収集頻度	収集車	収集容器
可燃ごみ	委託	ステーション	544	週3回	4tパッカー車4台	指定袋
不燃ごみ	委託	ステーション	522	月1回	4tパッカー車4台 2tダンプ	コンテナ
粗大ごみ	-	直接搬入 個別回収	2	月5、6回 月4、5回	2tダンプ	-
資源 ごみ	ビン	委託	522	月1回	4tパッカー車2台 3tダンプ 4tダンプ	コンテナ
	缶	直営・委託	522 13	月1回	4tダンプ 軽トラック	コンテナ 回収機
	ペット ボトル	直営・委託	522 13	月1回	4tダンプ 軽トラック	コンテナ 回収機

中間処理施設の概要

本市の可燃ごみは西濃環境整備組合のごみ処理施設において、焼却処理が行われています。

資源ごみのうちステーションにより回収されたものはそれぞれ業者の中間処理施設へ、拠点回収である回収機によるものはいったん美来の森に集められたのち、それぞれ業者の中間処理施設で資源化が実施されます。

粗大ごみについては、美来の森もしくは巣南集積場により拠点回収が行われ、美来の森において分別・保管され、そのうち可燃性プラスチック類は付属する瑞穂市一般廃棄物焼却施設において焼却処理が実施されています。



図 15 中間処理施設位置図

表15 焼却施設の概要

項 目	内 容
名 称	西濃環境保全センター
所在地	岐阜県揖斐郡大野町大字下座倉 1375-1
面 積	敷地面積：25,848.74m ²
処理能力	270t/日(90t/24h×3 炉)
処理対象物	可燃ごみ
処理方式	流動床式焼却炉（90t/日×2 炉） ガス化高温溶融一体型直接溶融炉（90t/日×1 炉）
運転管理	直営（西濃環境整備組合）
設計・施工	株式会社 荏原製作所、新日本製鐵 株式会社
建設年度	竣工：平成3年3月、平成15年12月

出典：西濃環境整備組合

項 目	内 容
名 称	瑞穂市一般廃棄物焼却施設
所在地	瑞穂市十九条 524 番地
面 積	敷地面積：25,848.74m ²
処理能力	1t/日(125kg/h×8h)
処理対象物	可燃性プラスチック類
処理方式	バッチ炉
運転管理	直営（瑞穂市）
設計・施工	ダイエーエンジニアリング 株式会社
建設年度	平成10年3月

出典：瑞穂市

最終処分場の概要

本市は2箇所の一般廃棄物安定型処分場を所有していますが、いずれの処分場も残余容量が少なく、西濃環境整備組合による中間処理後の最終処分もしくは民間の最終処分場への搬入が行われています。

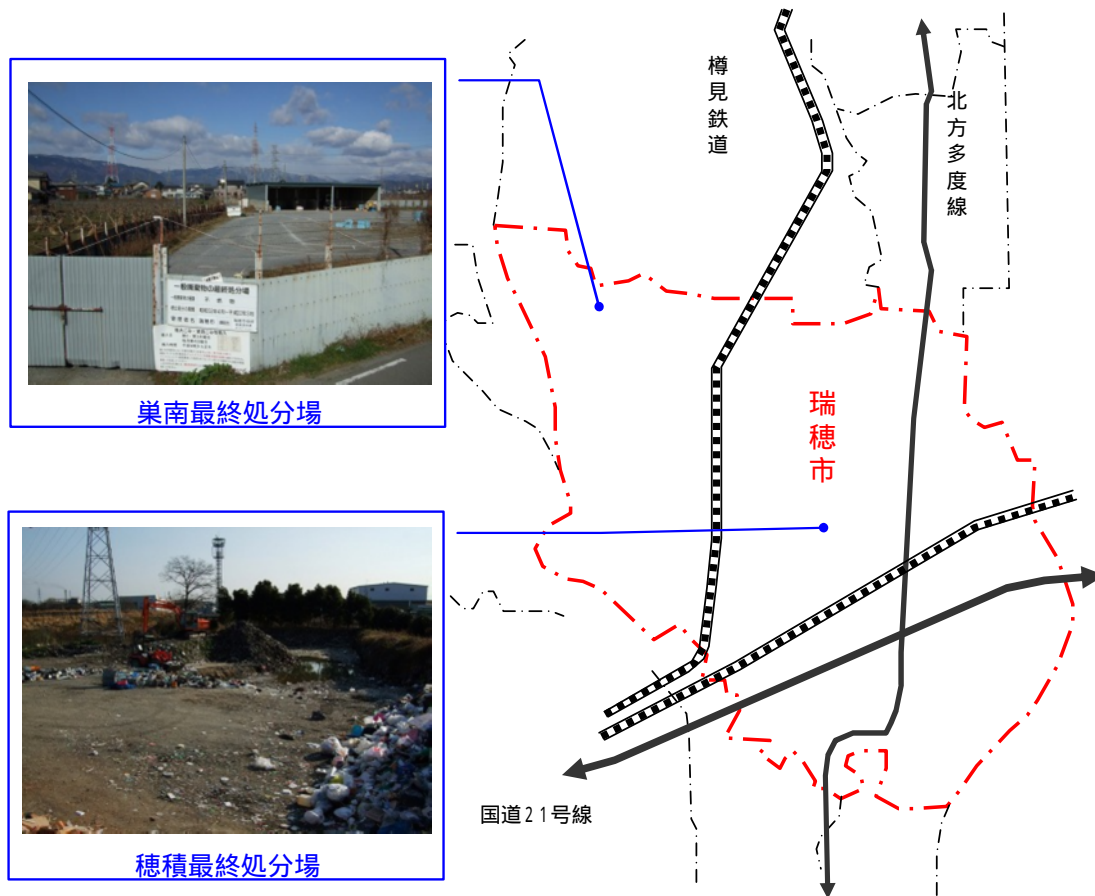


図 16 最終処分場位置図

表 16 最終処分場の概要

施設名	埋立面積 m ²	埋立容量 m ³	残余容量 m ³	埋立期間	埋立 対象物	遮水工の 有 無
穂積一般廃棄物 最終処分場	5,880	14,700	175	昭和 56 年 ~	一般廃棄物 不燃物	無
巣南一般廃棄物 最終処分場	3,005	4,155	0	昭和 52 年 ~	一般廃棄物 不燃物	無

出典：瑞穂市

(3) ごみ処理の実績

ごみ区分の定義

本計画におけるごみに関する用語の定義は、図17に示すとおりとします。

本計画では、市民及び事業者等によって排出される全ての不用物の量を「ごみ発生量」とします。しかし、事業者独自の資源回収・処理や市民による自家処理（生ごみの減量化等）によって資源回収等がなされているもの等（潜在ごみ）については、実数として捉えることが困難なことから、これを除いたものを「ごみ総排出量」とします。次に、「ごみ総排出量」から、本市のごみ処理施設等で処理を行わない集団回収によって集められた資源を除いたものを「ごみ排出量」とします。

「ごみ排出量」のうち、本市の家庭から排出されたものを家庭系ごみ、事業所や公共施設から排出されたごみを事業系ごみとします。また、家庭系ごみについては収集方式の違いにより、収集ごみ及び直接搬入ごみに分類します。

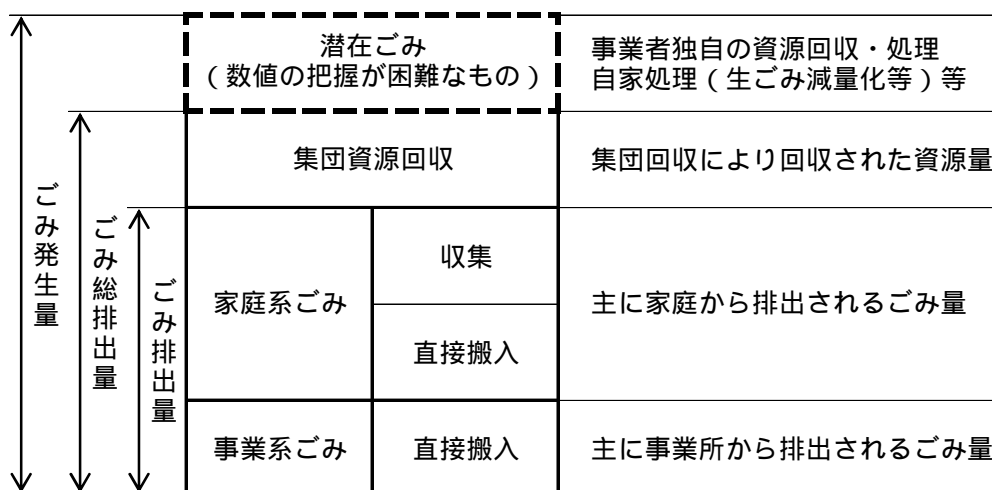


図17 ごみ区分の定義

ごみ総排出量の推移

本市における過去5年間のごみ総排出量の推移は、表17に示すとおりです。

表17 ごみ総排出量の推移

項目	t/年				
	H15	H16	H17	H18	H19
収集ごみ	6,917.2	7,182.5	7,431.7	7,608.7	7,835.4
可燃ごみ(西濃環境整備組合搬入分)	6,026.3	6,046.9	6,347.6	6,500.0	6,644.8
不燃ごみ(中間処理するもの)	545.7	814.6	755.5	747.4	804.0
粗大ごみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
資源ごみ	345.2	321.0	328.6	361.3	386.7
プラスチック製容器	97.6	58.4	67.0	65.4	69.0
PETボトル	0.0	5.7	6.2	5.2	4.9
その他のプラスチック製容器包装	97.6	52.8	60.8	60.2	64.1
カン類(飲料用以外)	0.0	19.3	15.8	13.1	11.9
スチール缶	0.0	17.0	14.3	10.6	9.7
アルミ缶	0.0	2.3	1.5	2.6	2.2
飲料用びん	247.5	243.4	245.8	282.8	305.8
白(無色透明)ガラスびん	109.8	109.7	108.4	129.9	140.8
茶色ガラスびん	105.7	101.5	103.7	114.5	121.3
その他のガラスびん	32.1	32.2	33.7	38.5	43.7
直接搬入ごみ	7,068.6	7,488.4	7,960.2	8,030.5	8,081.6
可燃ごみ(西濃環境整備組合搬入分)	5,706.4	5,781.8	6,188.4	6,134.8	6,281.7
粗大ごみ	1,356.9	1,298.8	1,272.3	1,355.0	1,219.3
資源ごみ	0.0	401.9	493.4	535.3	569.1
PETボトル(回収機による)	0.0	105.3	122.5	144.9	176.4
カン類(飲料用・回収機による)	0.0	140.7	134.3	143.8	145.9
スチール缶	0.0	70.3	64.3	71.0	68.1
アルミ缶	0.0	70.4	69.9	72.8	77.8
古紙(ダンボール・新聞紙・雑誌・牛乳パック・チラシ)	0.0	155.9	236.7	246.6	246.8
有害ごみ(蛍光管、乾電池など)	5.3	5.9	6.2	5.4	11.5
集団回収	1,616.0	1,656.5	1,723.0	1,690.0	1,097.8
古紙	1,374.0	1,433.6	1,480.3	1,446.8	936.4
布類	58.7	39.6	48.9	60.3	43.7
飲料用紙パック	6.1	6.9	7.8	10.0	4.0
段ボール	174.7	175.3	184.4	170.3	113.4
ピン	2.6	1.2	1.5	2.3	0.2
缶類	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2
ごみ総排出量	15,602	16,327	17,115	17,329	17,015

1人1日ごみ総排出量の推移

本市における過去5年間の1人1日ごみ総排出量の推移は、表18及び図18に示すとおりです。

表18 1人1日ごみ総排出量の推移

年度	15	16	17	18	19
計画収集人口 (人)	48,273	48,744	49,435	49,820	50,620
人口1人あたりごみ量 (g/人・日)	885	915	949	953	921
可燃ごみ (t)	11,733	11,829	12,536	12,635	12,926
不燃ごみ (t)	546	815	755	747	804
粗大ごみ (t)	1,357	1,299	1,272	1,355	1,219
資源ごみ (t)	345	723	822	897	956
有害ごみ (t)	5	6	6	5	12
集団回収量 (t)	1,616	1,657	1,723	1,690	1,098
ごみ総排出量 (t)	15,602	16,327	17,115	17,329	17,015

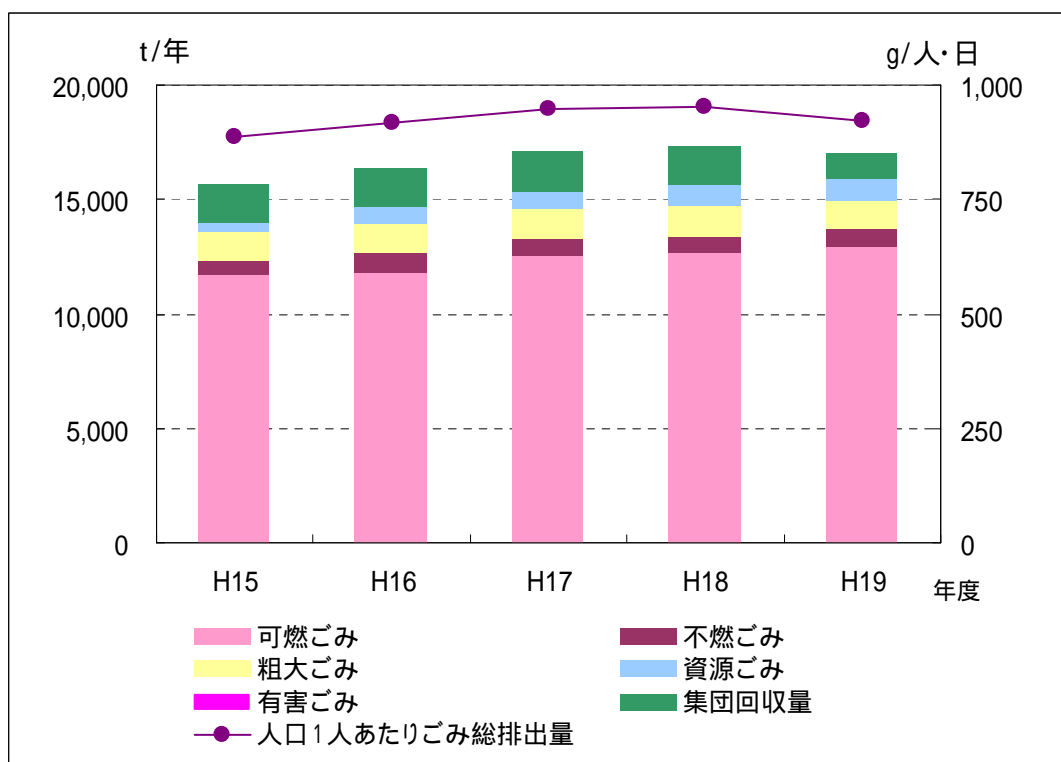


図18 1人1日ごみ総排出量の推移

資源化量及びリサイクル率の推移

本市における過去5年間の資源化量及びリサイクル率の推移は、表19及び図19に示すとおりです。

表19 資源化量及びリサイクル率の推移

t/年

項目	H15	H16	H17	H18	H19
本市によるごみの資源化量	345.2	722.9	822.0	896.5	955.7
古紙(ダンボール・新聞紙・雑誌・牛乳パック・チラシ)	0.0	155.9	236.7	246.6	246.8
プラスチック製容器	97.6	163.7	189.5	210.2	245.3
PETボトル	0.0	110.9	128.7	150.1	181.2
その他のプラスチック製容器包装	97.6	52.8	60.8	60.2	64.1
カン類(飲料用)	0.0	140.7	134.3	143.8	145.9
スチール缶	0.0	70.3	64.3	71.0	68.1
アルミ缶	0.0	70.4	69.9	72.8	77.8
カン類(飲料用以外)	0.0	19.3	15.8	13.1	11.9
スチール缶	0.0	17.0	14.3	10.6	9.7
アルミ缶	0.0	2.3	1.5	2.6	2.2
ガラスびん	247.5	243.4	245.8	282.8	305.8
白(無色透明)ガラスびん	109.8	109.7	108.4	129.9	140.8
茶色ガラスびん	105.7	101.5	103.7	114.5	121.3
その他のガラスびん	32.1	32.2	33.7	38.5	43.7
集団回収量	1,616.0	1,656.5	1,723.0	1,690.0	1,097.8
古紙	1,374.0	1,433.6	1,480.3	1,446.8	936.4
布類	58.7	39.6	48.9	60.3	43.7
飲料用紙パック	6.1	6.9	7.8	10.0	4.0
段ボール	174.7	175.3	184.4	170.3	113.4
ビン	2.6	1.2	1.5	2.3	0.2
缶類	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2
焼却処理による資源化量	0.0	650.6	756.6	774.7	803.6
合計	1,961.2	3,030.0	3,301.6	3,361.3	2,857.1
ごみ総排出量	15,601.8	16,327.4	17,114.9	17,329.2	17,014.7
リサイクル率	12.6	18.6	19.3	19.4	16.8

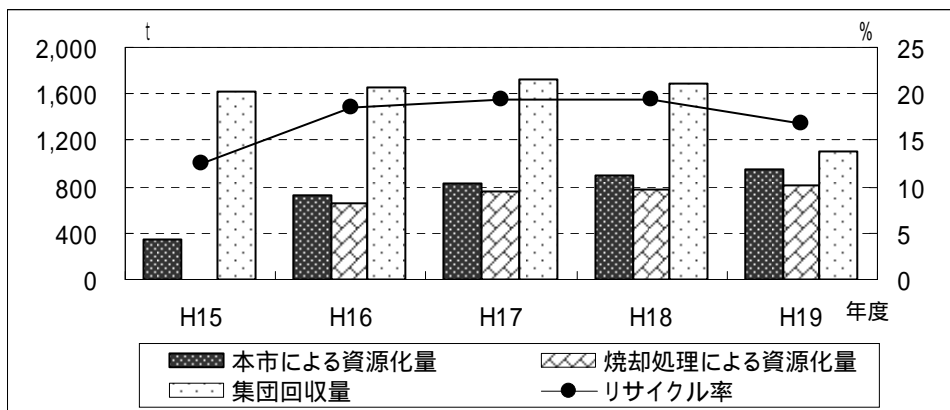


図19 資源化量及びリサイクル率の推移

焼却処理の実績

西濃環境整備組合西濃環境保全センターにおける過去5年間の焼却処理の実績は、表20及び図20に示すとおりです。

表20 西濃環境保全センター焼却実績

年度	単位	H15	H16	H17	H18	H19
総搬入量	t	49,838	56,529	55,458	55,646	55,337
うち瑞穂市分搬入量	t	11,733	11,829	12,536	12,635	12,926
スラグ搬出量	t	0	2,770	3,018	3,040	3,067
メタル搬出量	t	0	339	329	372	373
焼却残渣埋立量	t	3,418	2,033	1,924	1,771	1,726
焼却残渣率	%	6.9	3.6	3.5	3.2	3.1
総余熱利用量	MJ	3,545,136	6,954,192	6,585,264	6,688,080	6,568,128
購入電力量	kWh	12,485,232	15,704,820	15,430,608	15,483,600	14,924,592
灯油使用量	kL	61	95	130	98	97
A重油使用量	kL	68	108	72	79	71

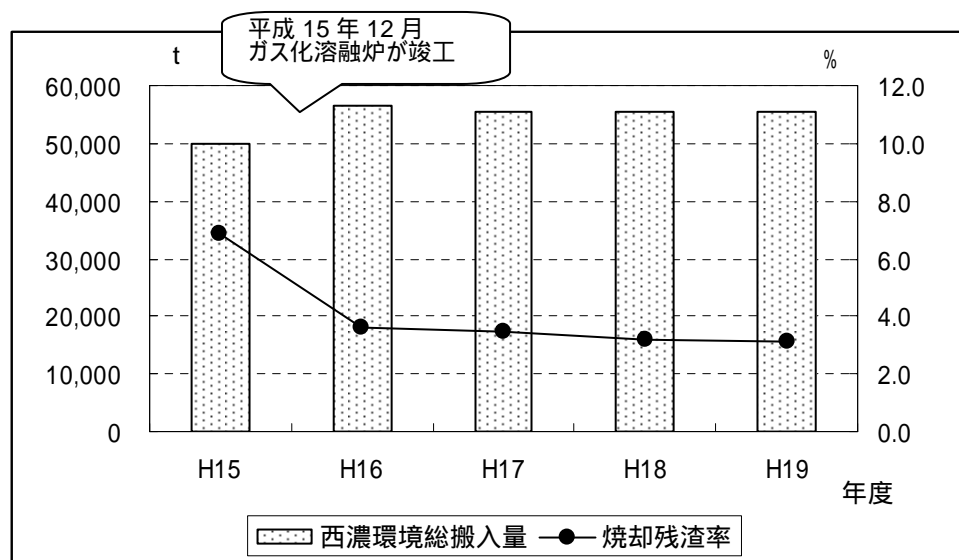


図20 搬入量と焼却残渣率の推移

最終処分の実績

当市の保有する一般廃棄物最終処分場は、表16に示すように残余容量がほとんど無いため、過去5年間の埋立実績はありません。粗大ごみのうち分別不可能ごみについては民間に処理委託しており、西濃環境保全センターから排出される焼却残渣のうち、本市割り当て分も委託処理を行っています。

ごみの性状

西濃環境整備組合西濃環境保全センターに搬入される可燃ごみのごみ質測定結果を表 21 に示します。

低位発熱量は、6,190 kJ/kg ~ 11,200 kJ/kg と季節による変動が見られます。

表 2 1 可燃ごみ質分析結果

項目	平成 15 年度			平成 16 年度			平成 17 年度			平成 18 年度			平成 19 年度			平均	最高	最低					
	H15.5	H15.8	H15.11	H16.2	H16.5	H16.8	H16.11	H17.2	H17.5	H17.8	H17.11	H18.2	H18.5	H18.8	H18.11				H19.2	H19.4	H19.8	H19.11	H20.2
紙、布類	55.6	64.3	57.4	58.0	45.5	64.6	61.3	31.0	64.9	51.5	50.7	52.2	54.3	44.2	37.8	54.0	34.7	43.6	54.4	49.1	51.5	64.9	31.0
ビニール・合成樹脂、ゴム、皮革類	17.8	14.9	17.0	10.8	28.7	21.2	17.3	18.5	12.6	17.5	21.5	26.0	21.3	22.8	23.5	28.2	43.0	28.4	33.1	24.0	22.4	43.0	10.8
木、竹、ワラ類	6.4	1.7	10.1	3.5	14.5	5.0	2.9	2.8	12.8	15.9	8.8	2.6	4.5	20.9	16.5	1.1	4.2	5.4	5.6	3.5	7.4	20.9	1.1
ちゅう芥類	18.1	17.8	12.9	20.9	3.6	4.5	4.0	13.2	1.7	4.6	8.0	10.5	6.9	5.3	11.4	7.9	13.0	17.9	2.0	4.8	9.5	20.9	1.7
不燃物類	1.4	0.5	0.9	2.9	2.9	1.9	6.2	15.5	3.4	3.2	3.7	2.6	6.4	4.1	3.5	4.0	3.2	0.3	1.3	10.0	3.9	15.5	0.3
その他	0.7	0.8	1.7	3.9	4.8	2.8	8.3	19.0	4.6	7.3	7.3	6.1	6.6	2.7	7.3	4.8	1.9	4.5	3.5	8.7	5.4	19.0	0.7
単位容積従量	246	285	129	310	131	190	213	243	379	193	213	220	167	219	131	199	143	158	172	130	204	379	129
水分	54.3	55.9	38.3	44.3	47.6	44.4	39.0	40.7	53.9	47.0	31.2	46.2	43.9	46.1	37.6	40.7	43.9	47.1	49.0	31.9	44.2	55.9	31.2
灰分	3.7	3.9	12.5	16.5	6.9	5.2	13.1	16.9	8.9	8.0	15.2	9.5	19.7	16.8	17.7	15.3	10.6	7.5	8.7	14.6	11.6	19.7	3.7
可燃分	42.0	40.2	49.2	39.2	45.5	50.4	47.9	42.4	37.2	45.0	53.6	44.3	36.4	37.1	44.7	44.0	45.5	45.4	42.3	53.5	44.3	53.6	36.4
低位発熱量(計算値)	6,550	6,170	8,310	6,270	7,380	8,380	8,040	6,960	5,650	7,300	9,310	7,180	5,750	5,830	7,480	7,270	7,470	7,370	6,740	9,280	7,235	9,310	5,650
乾燥発熱量	20,400	18,600	16,500	14,800	19,600	21,000	16,600	16,500	18,200	17,700	17,600	22,800	16,800	17,700	21,000	19,300	20,300	17,800	20,500	17,400	18,555	22,800	14,800
高位発熱量	9,300	8,220	10,200	8,240	10,300	11,700	10,100	9,790	8,380	9,360	12,100	12,200	9,440	9,560	13,100	11,500	11,400	9,410	10,400	11,900	10,330	13,100	8,220
低位発熱量	7,460	6,190	8,450	6,540	8,210	9,630	8,140	8,040	6,920	7,430	10,400	10,200	7,710	8,400	11,200	9,520	9,380	7,350	8,450	10,000	8,481	11,200	6,190

温室効果ガス排出量の状況

廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量の算定については、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル 平成18年11月 環境省・経済産業省」に基づいて算出を行いました。

その結果は表22及び図21に示すとおりです。

温室効果ガス排出量のほとんどが中間処理（焼却処理）過程で発生しており、年間約14,600tの温室効果ガスが排出され、人口1人1日あたり排出量は約789gとなります。

表22 廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量（平成19年度）

排出源	活動量		二酸化炭素		メタン		一酸化二窒素	
	使用量	単位	排出係数 (kg-CO ₂ /単位)	排出量 (kg)	排出係数 (kg-CH ₄ /単位)	排出量 (kg)	排出係数 (kg-N ₂ O/単位)	排出量 (kg)
電気使用量	3,615,205	kWh	0.555	2,006,439	-	-	-	-
燃料使用量	ガソリン	58	L	2.321660	134	-	-	-
	軽油	65,240	L	2.619247	170,880	-	-	-
	灯油	23,088	L	2.489483	57,477	0.00035	8	0.000021
	A重油	133,655	L	2.709630	362,156	-	-	-
	液化石油ガス（LPG）	124	kg	3.000287	371	0.00023	0	0.0000045
	都市ガス	0	m ³	2.079660	0	0.00018	0	0.0000036
自動車の走行距離	138,449	km	-	-	車種により変動	2	車種により変動	2
一般廃棄物の焼却量	4,358	t	2,695	11,745,063	0.075	15	0.0712	14
各温室効果ガスの排出量		kg		14,342,521		29		747
二酸化炭素換算値		kg-CO ₂		-		604		231,458
温室効果ガスの総排出量		kg-CO ₂						14,574,583

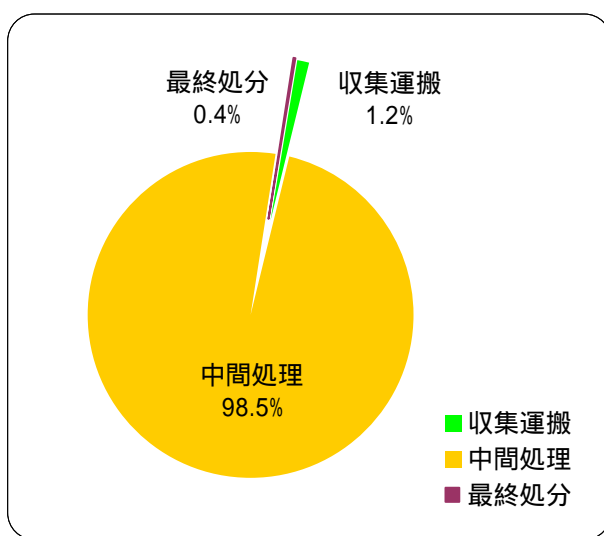


図21 処理工程別温室効果ガス排出量

（４）ごみ処理の評価

本市における一般廃棄物処理システムについて、環境負荷を出来るだけ低減する「循環型社会づくり」という面から見た処理システムの水準、住民に対する「公共サービス」という面から見た処理システムの水準及び処理システムの「費用対効果」から評価を行いました。

特に、「循環型社会づくりという面から見た処理システムの水準」に係る評価軸については、循環基本計画において社会におけるものの流れ全体を把握する物質フロー指標として3つの指標（資源生産性、循環利用率及び最終処分量）が設けられていること及び廃棄物処理法基本方針において減量化の目標として3つの目標値（排出量、再生利用量及び最終処分量）が設けられていること、さらには「地球温暖化防止」のための京都議定書目標達成計画において、廃棄物分野に関係する施策及び対策が盛り込まれていることを考慮しました。

客観的な評価の方法は、標準的な評価項目について数値化し、当該数値について、「国の目標値を基準値とした比較による評価」及び「全国又は都道府県における平均値や類似団体の平均値を基準値とした比較による評価」のいずれかを評価項目の基準値としました。

なお、基準値の算出は環境省の行っている「一般廃棄物処理事業実態調査（平成18年度）」よりデータを抽出し、平均値の算出に際しては、廃棄物の処理量や人口などを加味した加重平均を用いています。

当市の評価値は、評価項目の基準値を100としたときの指標値の比率（指数）で表しています。

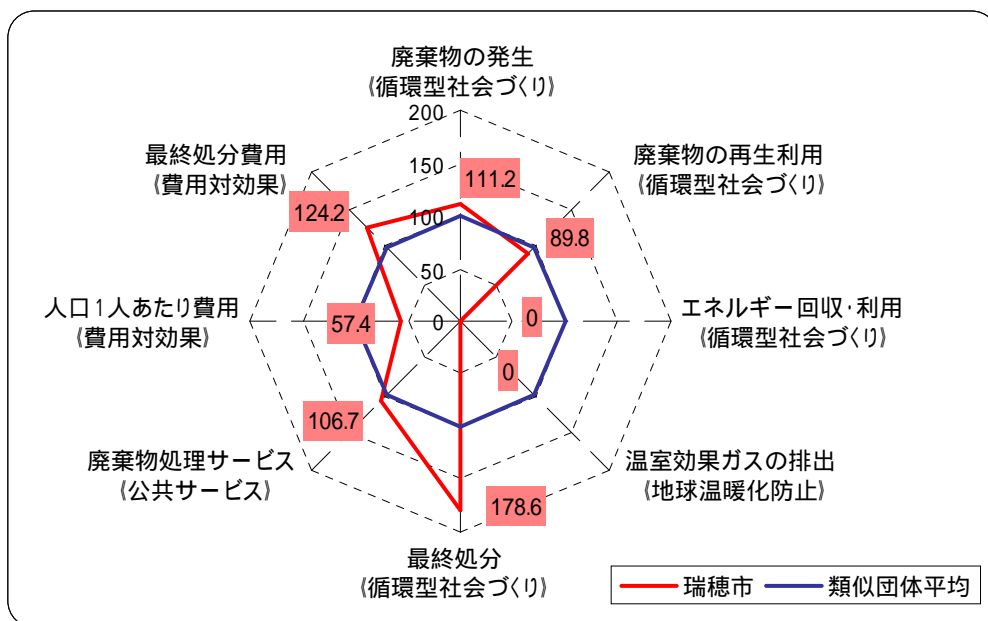


図 22 一般廃棄物処理システムの評価

廃棄物の発生 《 循環型社会づくり 》

本市における人口1人1日あたりごみ総排出量は、全国平均、岐阜県の平均、西濃環境管内の平均のどの値より下回っており、平成22年度における国の目標値である1.056kg/人・日もすでに下回っています。

西濃環境管内の平均値1.073kg/人・日を基準値とした評価値は111.2でした。

表 23 人口1人1日あたりごみ総排出量の比較

単位:kg/人・日

年度	H15	H16	H17	H18	
瑞穂市	0.885	0.915	0.949	0.953	
西濃環境管内	大垣市	1.302	1.380	1.303	1.321
	墨俣町	0.796	0.767	大垣市と合併	
	本巣市	0.733	0.744	0.797	0.900
	神戸町	1.187	0.928	0.955	1.067
	輪之内町	0.557	0.575	0.635	0.828
	安八町	0.773	0.808	0.843	0.908
	大野町	0.621	0.732	0.632	0.653
	池田町	0.704	0.736	0.745	0.743
	北方町	1.221	1.130	1.114	1.082
	揖斐川町	0.645	0.587	0.638	0.627
	谷汲村	0.611	揖斐川町と合併		
	春日村	0.489			
	久瀬村	0.447			
	藤橋村	1.247			
坂内村	0.679				
平均	1.026	1.050	1.035	1.073	
同規模人口	瑞浪市	1.107	1.081	1.142	1.169
	美濃加茂市	1.107	1.072	1.076	1.072
	郡上市	0.789	0.811	0.761	0.876
	下呂市	1.113	1.084	1.149	1.476
	海津市	-	0.679	0.689	0.758
	平均	1.020	0.944	0.959	1.063
岐阜県	1.047	1.057	1.048	1.062	
全国	1.163	1.146	1.131	1.115	

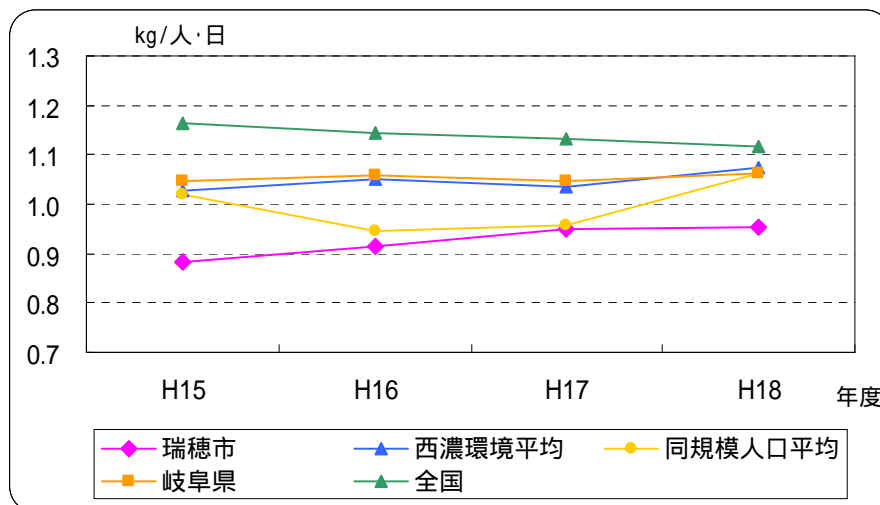


図 23 人口1人1日あたりごみ総排出量の比較

廃棄物の再生利用 《 循環型社会づくり 》

本市におけるリサイクル率は、全国平均、岐阜県の平均、西濃環境管内の平均のどの値より下回っています。平成 22 年度における国の目標値である 24%を達成するために、さらなるリサイクル率の向上が求められます。

西濃環境管内の平均値 20.6%を基準値とした評価値は **89.8** でした。

表 24 リサイクル率の比較

単位：%

年 度	H15	H16	H17	H18	
瑞穂市	12.6	17.9	18.5	18.5	
西濃環境管内	大垣市	17.0	15.9	15.6	19.1
	墨俣町	23.4	23.3	大垣市と合併	
	本巣市	8.3	22.7	23.9	23.6
	神戸町	14.3	18.8	19.9	19.0
	輪之内町	36.7	36.5	34.1	28.4
	安八町	24.0	23.3	22.4	21.1
	大野町	11.4	12.5	26.2	25.8
	池田町	27.0	27.3	28.0	29.6
	北方町	10.6	14.0	18.2	20.4
	揖斐川町	29.8	29.4	22.3	17.2
	谷汲村	27.6	揖斐川町と合併		
	春日村	50.5			
	久瀬村	22.4			
	藤橋村	32.8			
坂内村	47.4				
平均	17.3	18.2	18.7	20.6	
同規模人口	瑞浪市	20.9	20.8	19.6	20.4
	美濃加茂市	22.3	19.1	18.5	18.2
	郡上市	17.5	17.6	19.9	23.9
	下呂市	16.9	16.5	15.6	12.1
	海津市	-	23.4	23.6	22.7
	平均	19.6	19.2	19.0	18.8
岐阜県	22.2	22.0	22.0	27.0	
全国	16.8	17.6	19.0	19.6	

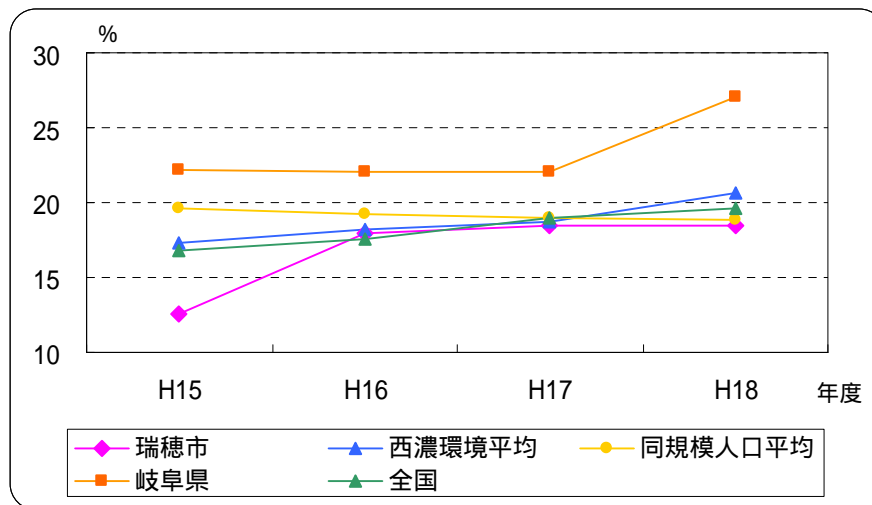


図 24 リサイクル率の比較

エネルギーの回収・利用 《 循環型社会づくり 》

廃棄物からのエネルギー回収率の算出は、以下の式に基づいて行いました。

$$\text{エネルギー回収率} = \text{エネルギー回収量（正味）[MJ]} \div \text{ごみ総排出量}$$

正味のエネルギー回収量は、エネルギー回収量とそのエネルギーを回収するために投入した電気や燃料などのエネルギー使用量、そのときのごみ処理量より、以下の式に基づいて算出しました。

$$\text{エネルギー回収量（正味）[MJ]} = \text{発電以外のエネルギー回収量（所内利用 + 所外利用）[MJ]} - \text{エネルギー使用量 [MJ]}$$

$$\text{発電以外のエネルギー回収量} = \text{総余熱利用量}$$

$$\text{エネルギー使用量 [MJ]} = (\text{施設での購入電力量[kWh]} \times 3.6[\text{MJ/kWh}] + \text{燃料の種類ごとの消費量} \times \text{燃料の種類毎の発熱量[MJ/単位]})$$

本市の可燃ごみは西濃環境整備組合のごみ処理施設において、焼却処理が行われているため、西濃環境整備組合におけるエネルギー回収量を算出しました。

西濃環境整備組合では、ごみ焼却時のエネルギー（余熱）を回収して併設する屋内温水プール「ゆ～みんぐ」や焼却施設内の冷暖房に使用しています。

しかしながら、総余熱利用量以上に電気や燃料などのエネルギー使用量が大きいため、エネルギー回収率はマイナスとなり、**評価値は0**となります。

なお、基準値は「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール（平成18年度実績版）」より本市と同規模の都市の平均値、272 MJ/t を採用しました。

表 25 西濃環境整備組合におけるエネルギー回収率

項目	単位	H15	H16	H17	H18	H19
総余熱利用量	MJ	3,545,136	6,954,192	6,585,264	6,688,080	6,568,128
購入電力量	kWh	12,485,232	15,704,820	15,430,608	15,483,600	14,924,592
灯油使用量	KL	61	95	130	98	97
A重油使用量	KL	68	108	72	79	71
エネルギー使用量	MJ	40,049,335	48,828,052	47,963,989	49,047,640	47,376,500
エネルギー回収量	MJ	-36,504,199	-41,873,860	-41,378,725	-42,359,560	-40,808,372
総搬入量	t	49,838	56,529	55,458	55,646	55,337
エネルギー回収率	MJ/t	-732	-741	-746	-761	-737

最終処分 《 循環型社会づくり 》

本市における廃棄物のうち最終処分されるものの割合（最終処分率）は、全国平均、岐阜県の平均、西濃環境管内の平均のどの値より下回っており、中間処理における減量が適切に実施されています。

西濃環境管内の平均値 0.14 t/t を基準値とした評価値は **178.6** でした。

表 26 最終処分率の比較

年度		H15	H16	H17	H18
瑞穂市		0.05	0.03	0.03	0.03
西濃環境管内	大垣市	0.16	0.16	0.13	0.17
	墨俣町	0.06	0.04	大垣市と合併	
	本巣市	0.07	0.03	0.03	0.04
	神戸町	0.35	0.19	0.20	0.26
	輪之内町	0.06	0.04	0.04	0.19
	安八町	0.16	0.12	0.08	0.11
	大野町	0.07	0.06	0.04	0.04
	池田町	0.07	0.04	0.00	0.04
	北方町	0.07	0.05	0.03	0.03
	揖斐川町	0.09	0.08	0.09	0.10
	谷汲村	0.06	揖斐川町と合併		
	春日村	0.07			
	久瀬村	0.14			
	藤橋村	0.05			
坂内村	0.04				
平均	0.15	0.13	0.11	0.14	
同規模人口	瑞浪市	0.19	0.16	0.21	0.21
	美濃加茂市	0.10	0.11	0.08	0.13
	郡上市	0.07	0.09	0.08	0.05
	下呂市	0.21	0.19	0.25	0.40
	海津市	-	0.20	0.19	0.19
	平均	0.14	0.15	0.16	0.21
岐阜県	0.11	0.11	0.10	0.10	
全国	0.16	0.15	0.14	0.13	

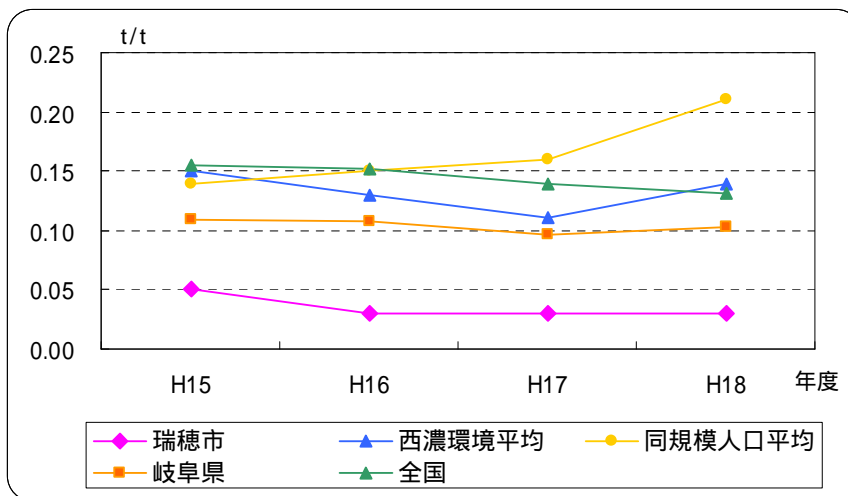


図 25 最終処分率の比較

温室効果ガスの排出 《 地球温暖化防止 》

平成19年度における廃棄物処理に伴い排出された人口1人1日あたり温室効果ガス排出量は0.789kg-CO₂でした。京都議定書目標達成計画で示されている0.313kg-CO₂(基準値)を大きく上回っており、**評価値は0**となりました。

廃棄物処理サービス 《 公共サービス 》

廃棄物処理サービスについて、ごみ分別意識調査(住民満足度アンケート調査)を平成20年11月に実施しました。

4つの設問ごとの平均得点を算出した結果は「3.2点」でした。平均得点が3点(基準値)以上の場合、評価が良いと判断できることから、概ね廃棄物処理サービスに満足していると考えられ、**評価値は106.7**となりました。

しかしながら、「廃棄物や3R情報の公開・提供に満足していますか?」の設問においては、旧2町ともに悪い評価となっており、ごみ分別カレンダーの全戸配布を実施するなど、早急な対策が必要です。

【概要】 調査票配布数：500件 調査方法：郵送
有効回答数：292件(58.4%) 調査対象：無作為抽出

【集計方法】 そう思う5点・ややそう思う4点・あまりそう思わない2点・そう思わない1点と設定し、平均点を算出しました。

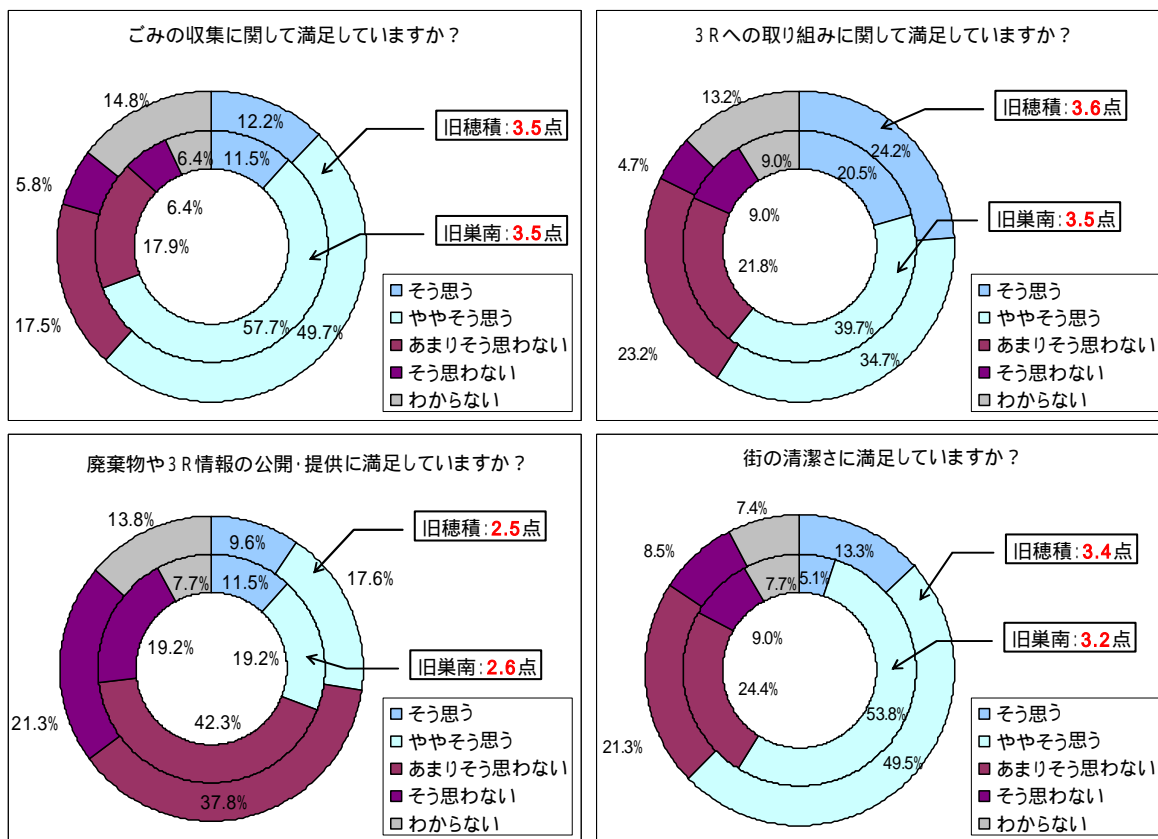


図26 住民満足度アンケート調査結果

人口1人1日あたりの処理費用《費用対効果》

本市における人口1人1日あたりの処理費用は、同じような処理方式である西濃環境管内の平均より上回っています。なお、平成16年度の増加はストックヤード建設工事に伴うものです。

西濃環境管内の平均値 10,228 円を基準値とした評価値は 57.4 でした。

表 27 人口1人1日あたりの処理費用の比較

単位:円

年度	H15	H16	H17	H18	
瑞穂市	10,509	16,700	14,487	14,588	
西濃環境管内	大垣市	8,730	10,149	8,689	9,372
	墨俣町	11,649	11,088	大垣市と合併	
	本巣市	12,327	10,919	12,389	12,312
	神戸町	10,070	10,541	10,312	10,574
	輪之内町	6,677	6,612	6,902	6,714
	安八町	5,918	8,423	6,539	7,049
	大野町	9,401	12,106	11,809	9,438
	池田町	14,203	15,823	12,762	11,683
	北方町	21,723	33,768	14,080	13,575
	揖斐川町	12,394	9,158	11,378	12,753
	谷汲村	11,682	揖斐川町と合併		
	春日村	7,784			
	久瀬村	8,148			
	藤橋村	56,761			
坂内村	20,793				
平均	10,527	11,830	10,050	10,228	
同規模人口	瑞浪市	29,249	25,854	12,637	13,219
	美濃加茂市	11,516	12,784	12,701	11,460
	郡上市	12,141	31,272	31,384	11,356
	下呂市	12,753	11,782	12,199	12,458
	海津市	-	11,881	10,733	12,029
	平均	16,086	19,104	16,454	12,049
岐阜県	12,036	12,869	11,994	11,698	
全国	15,400	15,200	15,000	14,600	

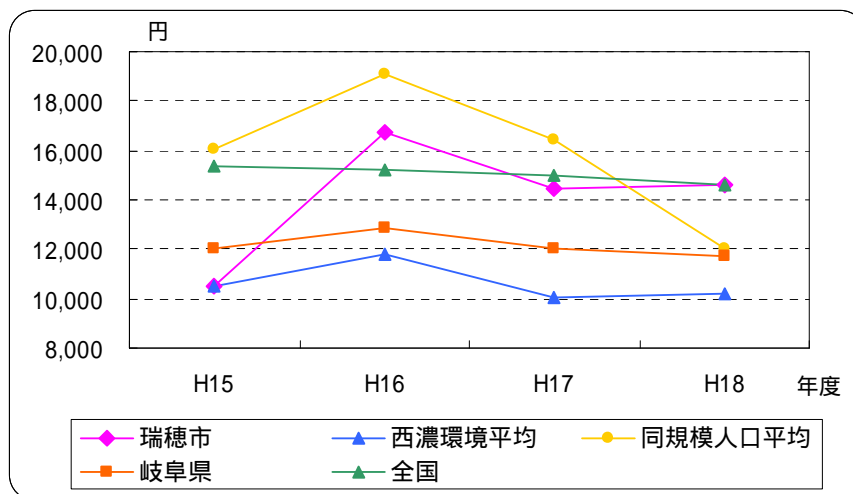


図 27 人口1人1日あたりの処理費用の比較

最終処分減量に要する費用《費用対効果》

本市における最終処分減量に要する費用は、24,795 円/t でした。

「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール（平成18年度実績版）」より抽出した、本市と同規模の都市の平均値 32,714 円/t を基準値とした評価値は **124.2** となりました。

$$\text{最終処分減量に要する費用} = \frac{\text{最終処分減量に要する総費用}}{(\text{年間収集量} + \text{年間直接搬入量} + \text{集団回収量} - \text{最終処分量})}$$

表 28 最終処分減量に要する費用の比較 単位:円/t

市町村名	人口	平成18年度	
瑞穂市	49,820	24,795	
同規模の都市	H県H市	54,795	43,045
	K県M市	44,128	31,511
	N県M市	43,433	30,478
	T県K市	43,150	26,314
	I県K市	35,434	33,846
	I県N市	47,917	25,888
	Y県F市	53,842	26,806
	N県O市	54,529	22,693
	N県S市	52,286	20,700
	G県M市	52,891	32,222
	S県S市	53,074	36,499
	A県T市	40,666	36,014
	M県K市	49,368	49,653
	M県I市	46,494	27,079
	S県Y市	49,551	66,155
	S県K市	53,165	30,959
	H県A市	52,154	16,460
	H県N市	43,620	30,983
	H県O市	49,783	28,469
	H県K市	50,266	22,945
N県K市	35,574	29,739	
O県B市	41,106	34,802	
H県F市	46,016	49,169	
平均	47,532	32,714	

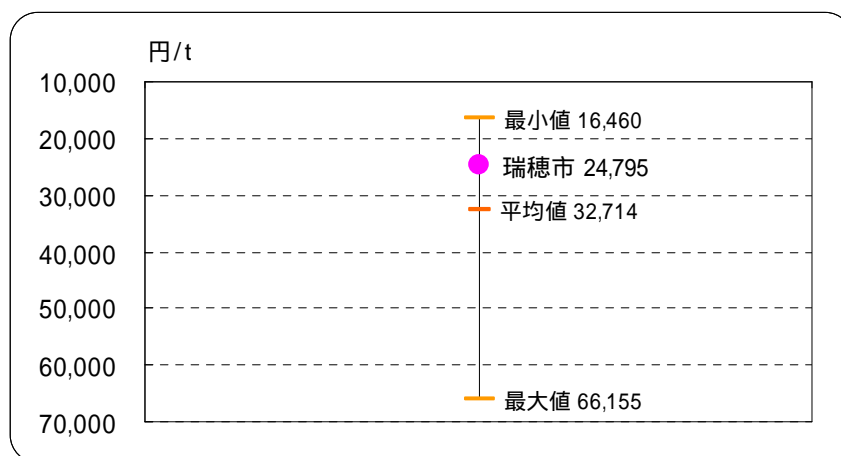


図 28 最終処分減量に要する費用の比較

(5) ごみ処理の課題

ごみ処理基本体系

本市では旧 2 町で実施されていたごみの分別方法が統一されておらず、ごみの排出区分、排出方法、排出場所に違いが見られており、住民サービス公平性の観点から考えると、これらを統一する必要があります。

なお、穂積地区においては、不燃ごみの分別区分が徹底されていないために、粗大ごみに類するものまでが不燃ごみとして排出されています。

排出抑制

本市の平成 19 年度における人口 1 人あたりごみ総排出量は 921g/人・日となっており、人口規模 3 万～5 万人の都市における地域の人口 1 人あたりごみ総排出量（985g/人・日：平成 18 年度実績）と比較すると本市の方が少ない状況ですが、その値は増加傾向にあります。

国においては、平成 22 年度（対平成 9 年度比）までに約 5%のごみ排出量の削減を目指し、ごみの減量化を推進していることから、本市においても発生・排出抑制に努める必要があります。

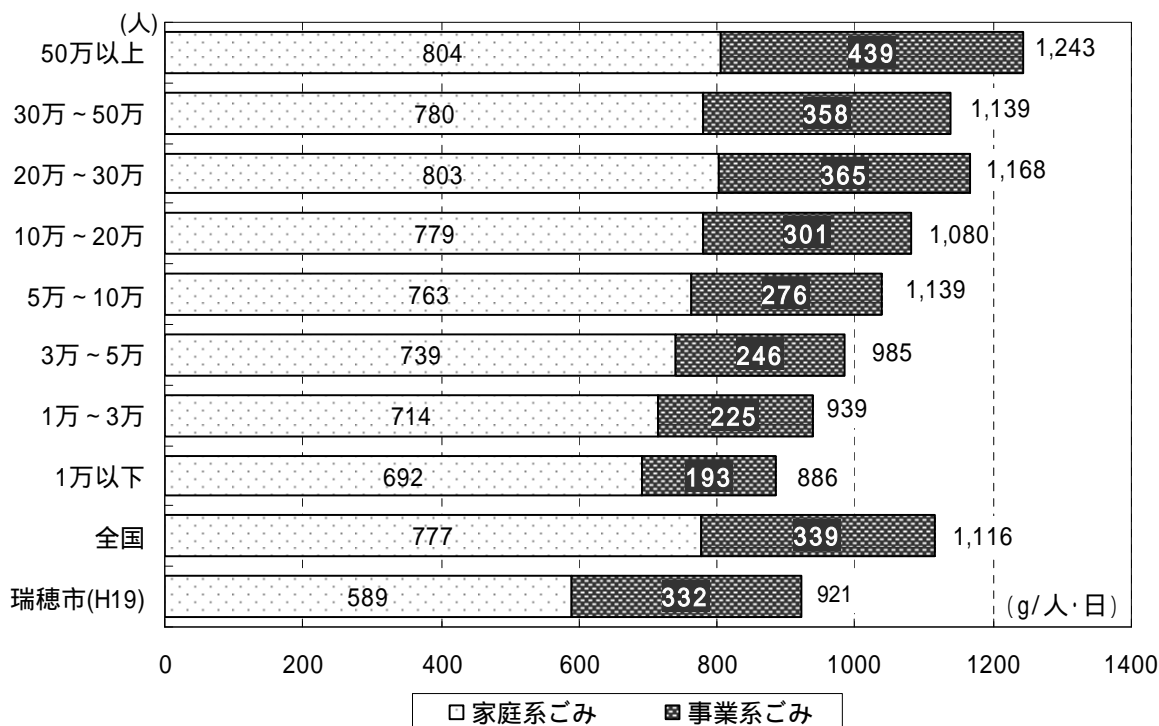


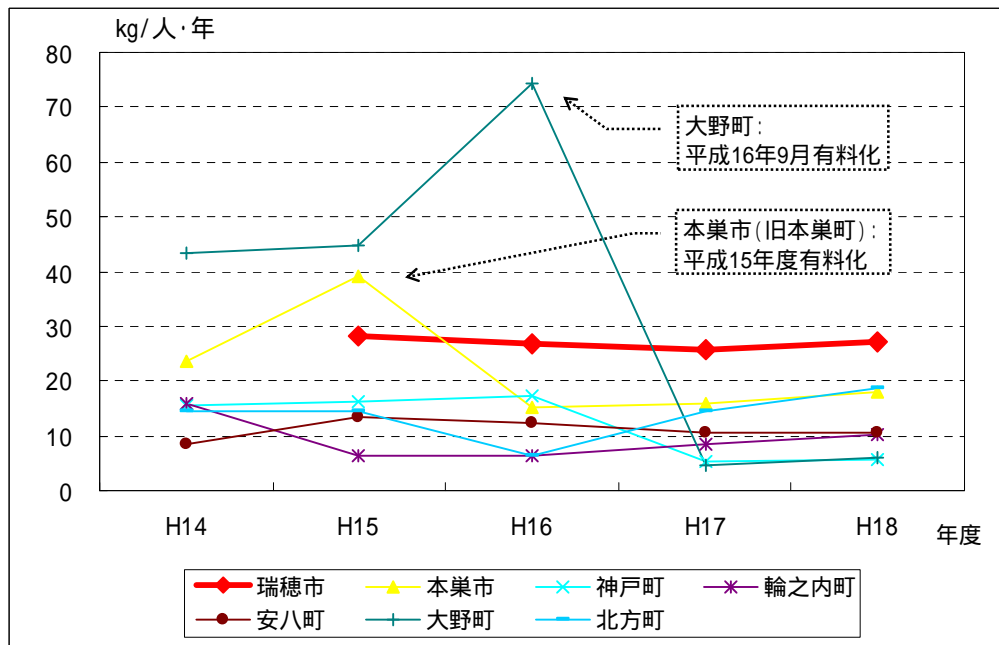
図 29 市町村の人口規模別 1 人 1 日当たりごみ排出量（平成 18 年度実績）

本市の粗大ごみ処理料金は廃タイヤとスプリングマットを除いて自己搬入の場合は無料です。しかしながら、周辺の自治体はほとんどが有料であるために

他市町の住民による粗大ごみの搬入が懸念されます。

図 30 に示すように、本市の平成 18 年度人口 1 人あたり粗大ごみ発生量は 27.2kg/人・年であり、周辺の市町と比較すると大きく上回っています。

このことから、粗大ごみの排出抑制対策が必要です。



出典：「一般廃棄物処理事業実態調査」環境省より作成

図 30 人口 1 人あたり粗大ごみ発生量

収集・運搬

本市の世帯数は増加傾向にあり、これに伴って設置されているごみステーションも増加が見込まれます。このため、ステーションの新規設置だけでなく統廃合も含めた効率的なごみ収集の方法・体制を検討する必要があります。

中間処理

当市の可燃ごみを処理する西濃環境整備組合の施設(90t/24h×3 炉)のうち 1 炉は、平成 15 年度にガス化溶融炉に更新しました。旧炉(90t/24h×2 炉 平成 3 年 3 月竣工)の更新時期が課題としてあげられます。

また、不燃ごみ・粗大ごみは美来の森において分別後、業者による処理と廃プラスチック類の一部は美来の森に付随する一般廃棄物焼却施設において焼却処理が行われています。

資源ごみは、ストックヤードに保管された後に業者によって資源化が行われていますが、さらなる資源化推進のためには市営のリサイクルセンター建設と、焼却処理を行っている廃プラスチック類の資源化が課題としてあげられます。

最終処分

当市の一般廃棄物最終処分場は残余容量が極めて少なく、民間業者に委託処分しています。地域内処分の原則や、安定した最終処分場の確保等から、単独もしくは広域で最終処分場の建設を検討する必要があります。

不法投棄対策

穂積地区においては、不燃ごみの分別が徹底されていないために、不燃ごみ収集日には不法投棄現場のようなステーションも存在します。また、家電リサイクル品目の追加や地上デジタル放送の開始に伴うテレビの大量廃棄が予想されるために、不法投棄対策が必要になります。

情報発信と具体的な行動

ごみ分別意識調査結果でも明らかなように、多くの市民の方はごみに関する情報提供に満足されていません。

本市では、ごみに関する情報は、ごみカレンダーの他、ホームページならびに広報に掲載をしていますが、ごみ処理の流れや処理コストなど、ごみ処理行政に関する情報が不足しています。

市民への説明責任を果たし、環境意識の高揚を図るため、ごみカレンダーの全戸配布を実施するなど、ごみに関する情報の内容及び量の充実を早急に図る必要があります。

6. ごみ処理行政の動向

平成19年6月に「21世紀環境立国戦略」が閣議決定され、我が国は低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の3つの社会からなる持続可能な社会を構築すべきとされており、循環型社会形成に向けた統合的な取り組みが推進されています。

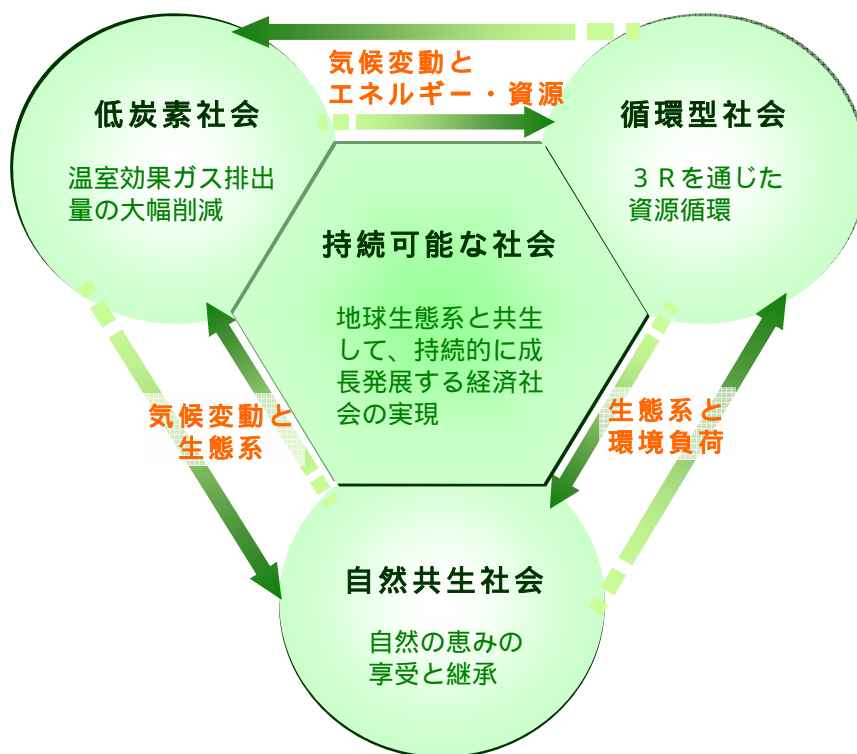


図31 持続可能な社会に向けた総合的な取り組み

また、環境保全是人類の生存基盤に関わる極めて重大な課題となっていることをふまえて、環境省において平成20年3月には循環型社会形成推進基本法に基づく循環型社会形成推進基本計画が改定されました。この計画では以下に示す7つの内容を充実・強化し、循環型社会の形成が一層推進されています。

第2次循環型社会形成推進基本計画のポイント

- 環境の保全を前提とした循環型社会の形成
- 循環型社会と低炭素社会・自然共生社会への取り組みの統合
- 地域再生にも寄与する「地域循環圏」の構築
- 数値目標の拡充に加え、補助目標やモニタリング指標を導入
- 各主体が連携・協働した3Rの取り組み
- 3Rの技術とシステムの高度化
- 国際的な循環型社会形成に向けた我が国の主導的な役割

市町村における一般廃棄物の処理においても、平成 20 年 6 月に環境省廃棄物対策課より出されたごみ処理基本計画策定通知では、平成 19 年 6 月に提示された「一般廃棄物会計基準」、「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針」及び「一般廃棄物有料化の手引き」を活用し、地域住民への情報開示を行い、理解と協力を得ながら 3 R 化改革を進めるべきであるとされており、以下の 3 つのポイントが示されています。

ごみ処理基本計画策定通知のポイント

環境保全の重要性

廃棄物処理法の目的は「生活環境の保全と公衆衛生の向上」であり、市町村の一般廃棄物行政においても環境保全を前提とし、国民の安全・安心が確保されることを軸としての循環型社会の形成を推進する。

市町村一般廃棄物処理責任の性格

市町村は一般廃棄物の処理において統括的な責任を有し、自ら処理を行う場合はもとより、他社に委託して処理を行わせる場合でも、その行為の責任は引き続き市町村が有する。

一般廃棄物処理計画の策定及び適用

ごみ排出量の傾向や環境保全の重要性等も踏まえ、一般廃棄物処理計画策定及び適用にあたっては長期的展望を持って対処するとともに、区域内のごみ排出量の見込みに対応した適正規模の処理施設や体制とする。

廃棄物の減量化・資源化は、このような「循環型社会の形成」を通じて、現代社会の最大の問題の 1 つである気候変動の原因である二酸化炭素の削減、あるいは地方行政の課題の 1 つである財政支出の削減に寄与するものであり、これらの観点からもそれぞれの地域において自立的な「循環型社会の形成」が求められています。

地方自治体におけるごみ処理行政においては、国や都道府県の設定した削減目標を視野に入れつつも、市民や事業者とともに対話に基づいて施策方針を立て、計画策定段階だけでなく、計画の実施段階や評価段階においても住民や事業者とともにこれを推進し、行政・市民・事業者の間に信頼関係を構築し、協働によるごみ排出抑制等の取り組みを進めていくことが必要です。

第3章 ごみ処理基本計画

1. 基本の方針

「この地球は私たちの祖先から受け取ったものではありません。未来の子供たちから預かっているのです。」私たちが未来の子供たちに豊かな環境を届けるためには、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される循環型社会を構築しなければなりません。

今後は、限りある自然・資源、環境と共生できる資源循環型・環境保全型の都市を構築していくという市民・事業者・行政の共通目標を確認し、循環型社会システムを実現するため、以下の基本的原則を設けます。

【廃棄物処理の優先順位】

- I. できる限り廃棄物を出さない。(Reduce)
- II. 同じ形状のまま再利用する。(Reuse)
- III. 物質として再資源化し、再生品を優先利用する。(Material Recycle)
- IV. エネルギーを回収して利用する。(Thermal Recycle)
- V. やむを得ず排出される廃棄物は適正に処理する。

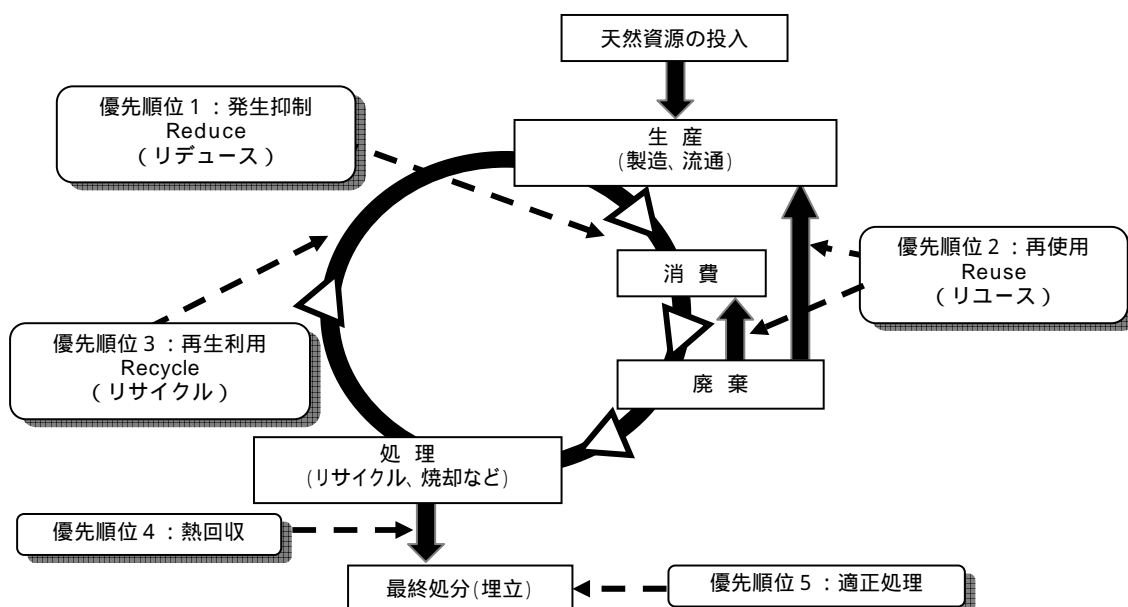


図 32 循環型社会のイメージ

2. ごみの排出抑制・再資源化に関する目標

(1) ごみ排出量の削減目標

我が国の第2次循環型社会形成基本計画では、人口1人1日あたり排出量を平成12年度実績に対して平成27年度で10%削減（年間約0.7%削減）を目標に掲げています。

また、岐阜県廃棄物処理計画では毎年度1%の削減を目標に掲げています。

このため、本計画では第1次目標年次である平成25年度までに年1%削減し、人口1人1日あたりごみ総排出量を875g/人・日とし、その後、目標年次である平成35年度までは年0.7%削減し、人口1人1日あたりごみ総排出量を811g/人・日とします。

人口1人1日あたりごみ総排出量を、平成19年度実績921gと比べ、
平成25年度において、5%削減し875gとし、
平成35年度において、12%削減し811gとします。

(2) リサイクル率の目標

リサイクル率に関する国の方針としては、廃棄物処理法に基づく「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」（平成13年5月7日 環境省告示第34号）において、平成9年度の約11%を平成22年度に約24%に増加（年1%増）の目標を掲げています。

本市の平成19年度実績は16.8%ですが、平成18年度実績においては19%を超えていることから、本計画では第1次目標年次である平成25年度までに年1%の増加率でリサイクル率24%を目標とし、その後、目標年次である平成35年度までに年0.7%の増加率で、リサイクル率30%以上を目標とします。

リサイクル率を 平成25年度において、24%とし、
平成35年度において、30%以上とします。

3. ごみの発生量及び処理量の見込み

(1) 人口の将来予測

過去10年の実績を元に、将来における本市の外国人居住者を含む人口を予測しました。予測方法は5種類の推計式を用いて行い、そのうち現状の傾向に最も即している「ロジスティック式」による推計値を採用しました。

なお、国立社会法人・人口研究所による国勢調査を元にコーホート要因法で推計した本市の人口（外国人居住者を除く）も、同様の増加傾向を示しています。

また、計画収集人口は行政区域内人口とし、自家処理人口はないものとした。

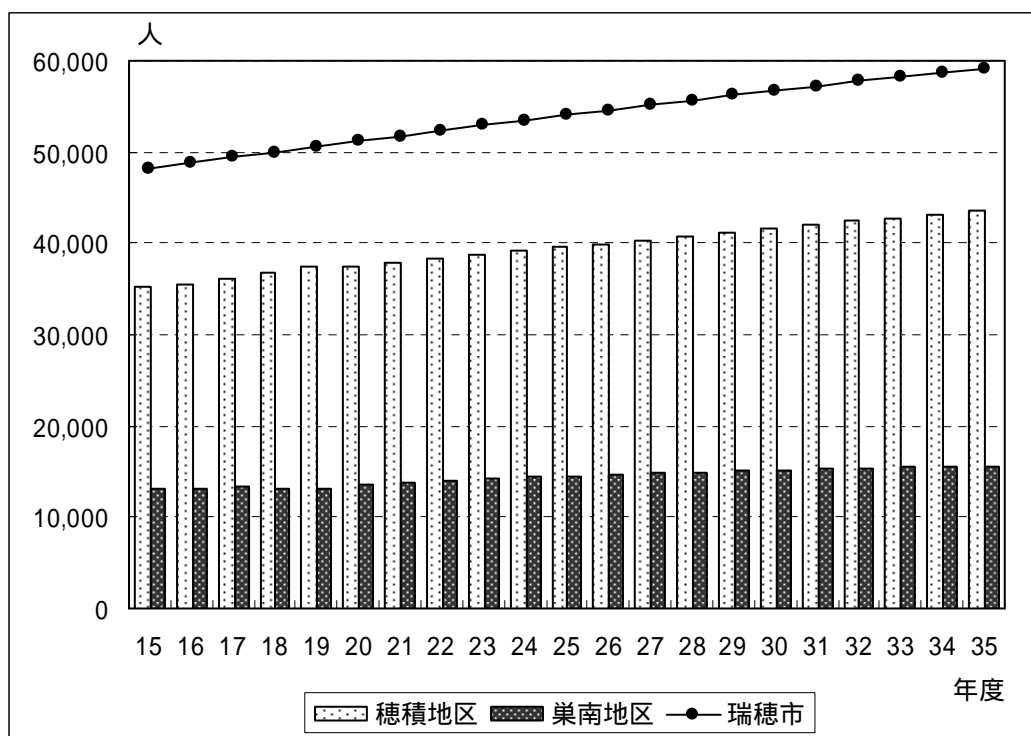


図 33 将来人口の予測

(2) ごみ総排出量と人口1人1日あたりごみ総排出量の将来予測

ごみ総排出量の推計は、ごみの排出区分毎に、家庭系ごみは1人1日あたり、事業系ごみは1日あたりの原単位量を、過去5年間の実績値（実績がない場合、不明な場合は最大限）から、表29に示すトレンド推計式を用いて推計を行いました。ごみ処理の実績及び予測は資料1に、排出区分毎の予測は、資料2～資料4に示します。

表29 トренд推計式

一次傾向式： $y = a + b$	y ：ごみ量
二次傾向式： $y = a + b + c^2$	：経過年数
一次指数式： $y = a \cdot b$	k ：飽和係数
べき乗式： $y = y_0 + a \cdot b$	a, b, c ：係数
ロジスティック式： $y = k \div (1 + e^{(b-a)})$	y_0 ：基準年量

【トレンド推計式の説明】

- 一次傾向式：トレンドを直接に置き換えたときの推計式です。式の b はこの勾配の値で、 b が正符号のとき上昇傾向となり、 b が負符号のとき下降傾向となる。推計値が少なく出る傾向があります。
- 二次傾向式：トレンドを放物線に置き換えたときの推計式です。徐々に増加又は減少を示す曲線です。
- 一次指数式：過去のデータの伸びを一定の比率で増加又は減少させる公式です。増加あるいは減少傾向は急激になります。過去のデータが同比率的な傾向のときにあてはめやすい。
- べき乗式：過去のデータの伸びを徐々に増加させる公式です。実績値が増加し続ける条件で、最もあてはまりが良い。
- ロジスティック式：増加又は減少傾向を加速度的に伸ばした後、徐々に鈍化させ一定の値で飽和に達する推計式です。

5式の予測式より、5つの推計値が得られます。これらの中から1つの推計値を選定する際に、相関係数が最も高い推計式の推計値を用いる手法が一般的です。

しかしながら、相関係数が最も高い推計式を用いた場合、推計値が実績値からあまりにも乖離してしまう危険性がある場合があるため、予測式の採用にあたっては、過去の推移を反映し、今後の傾向を最も示している推計式としました。

なお、予測の結果、推計値を用いることが妥当でないと判断される場合はその都度状況を勘案し推計値を決定しました。

ごみ総排出量と人口1人1日あたりごみ総排出量の予測は、表30及び図34に示すとおりです。

ごみ排出量の予測値は52頁「4.ごみ排出抑制のための方策に関する事項」に記載されている「分別収集区分の統一」と「粗大ごみ処理料金の有料化」を実施した場合の効果を含めて記載しています。

表30 ごみ総排出量と人口1人1日あたりごみ総排出量の予測

項目	単位	実績					予測	
		15	16	17	18	19	25	35
年度	-	15	16	17	18	19	25	35
計画収集人口(瑞穂市全体)	人	48,273	48,744	49,435	49,820	50,620	54,060	59,223
可燃ごみ	t	11,733	11,829	12,536	12,635	12,926	14,545	16,885
不燃ごみ	t	546	815	755	747	804	0	0
粗大ごみ	t	1,357	1,299	1,272	1,355	1,219	858	891
資源ごみ	t	345	723	822	897	956	1,765	2,340
有害ごみ	t	5	6	6	5	12	14	15
集団回収量	t	1,616	1,657	1,723	1,690	1,098	1,370	1,370
人口1人あたりごみ量(予測)	g/人・日	885	915	949	953	921	940	995
人口1人あたりごみ量(目標)	g/人・日	-	-	-	-	-	875	811

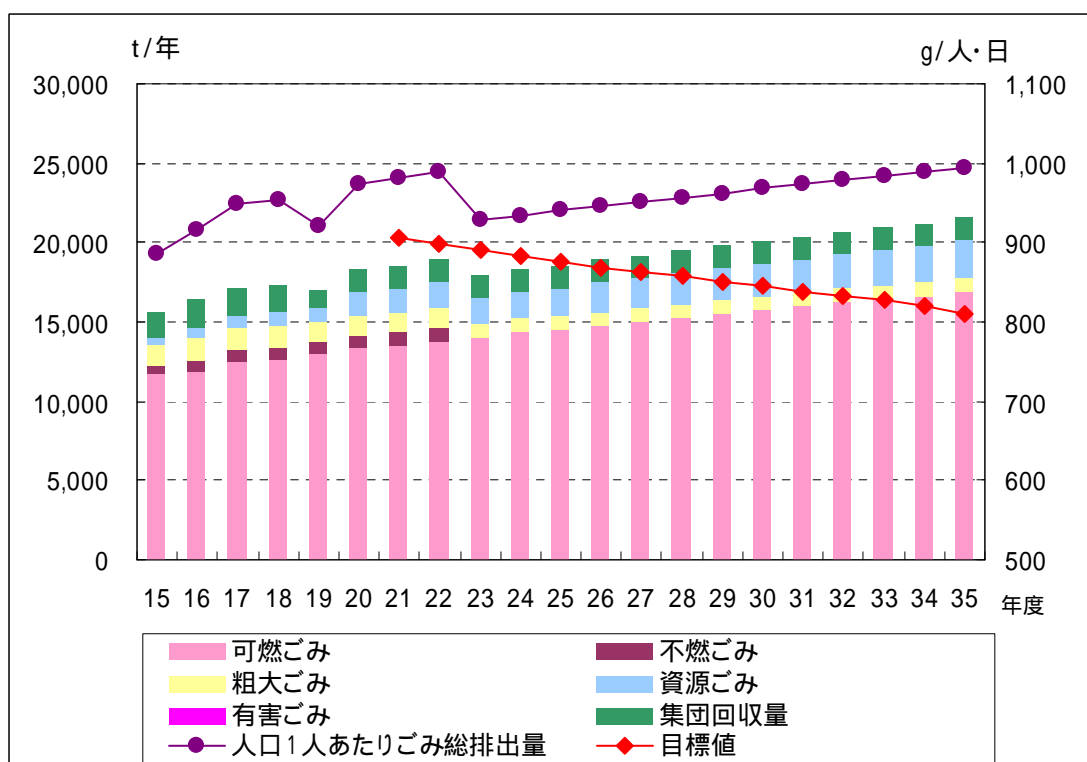


図34 ごみ総排出量と人口1人1日あたりごみ総排出量の予測

(3) 資源化率の将来予測

資源化量の将来予測は表 31 及び図 35 に示すとおりです。

表 31 資源化量の将来予測

項目	単位	実績					予測	
		15	16	17	18	19	25	35
年度	-							
集団回収量	t	1,616	1,657	1,723	1,690	1,098	1,370	1,370
資源ごみ回収量	t	345	723	822	897	956	1,765	2,340
焼却処理による資源化量	t	0	651	757	775	804	868	1,008
総資源化率(予測)	%	12.6	18.6	19.3	19.4	16.8	21.6	21.9
総資源化率(目標値)	%	-	-	-	-	-	24.0	31.0

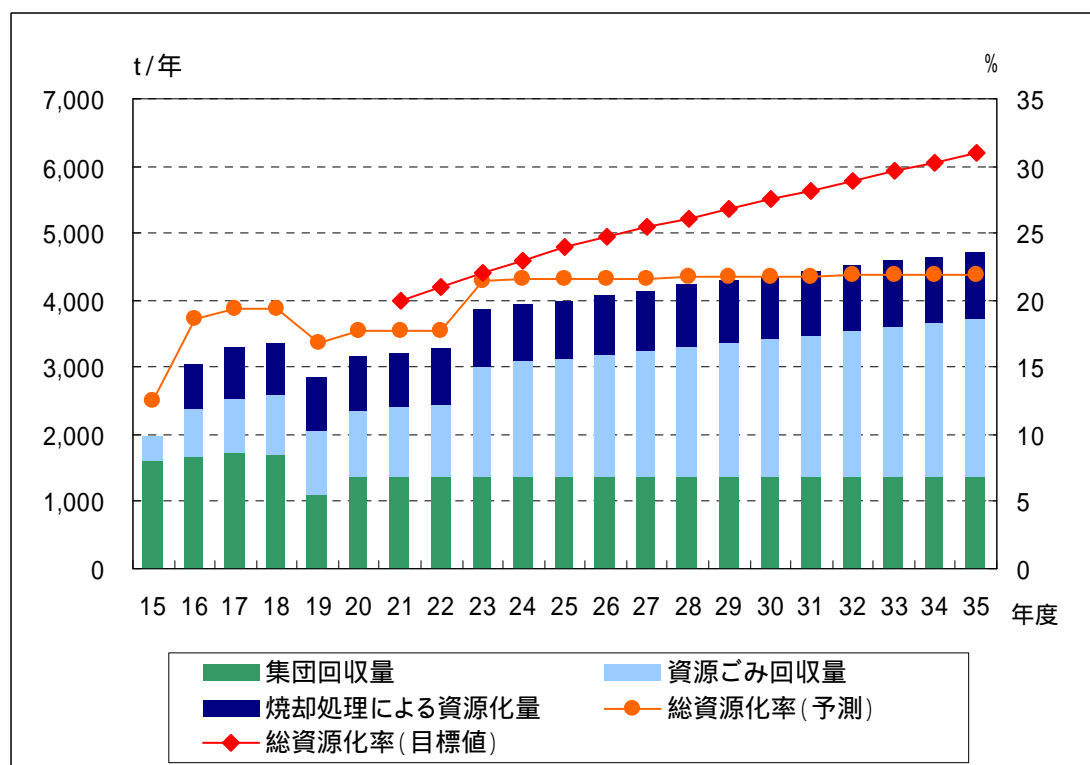


図 35 資源化率の将来予測

(4) 最終処分量の将来予測

埋立対象物は、可燃ごみの焼却によって発生する焼却残渣、不燃物及び粗大ごみ中の分別不能ごみであり、将来の発生量の将来予測は表 32 及び図 36 に示すとおりです。

表 32 最終処分量の将来予測

項目	単位	実績					予測	
		15	16	17	18	19	25	35
年度	-	15	16	17	18	19	25	35
焼却灰埋立量	t	805	425	435	402	403	486	564
分別不能ごみ	t	0	0	51	50	82	43	43
ライター	t	0	0	0	0	0	0	0
最終処分率	%	5.2	2.6	2.8	2.6	2.9	2.9	2.8

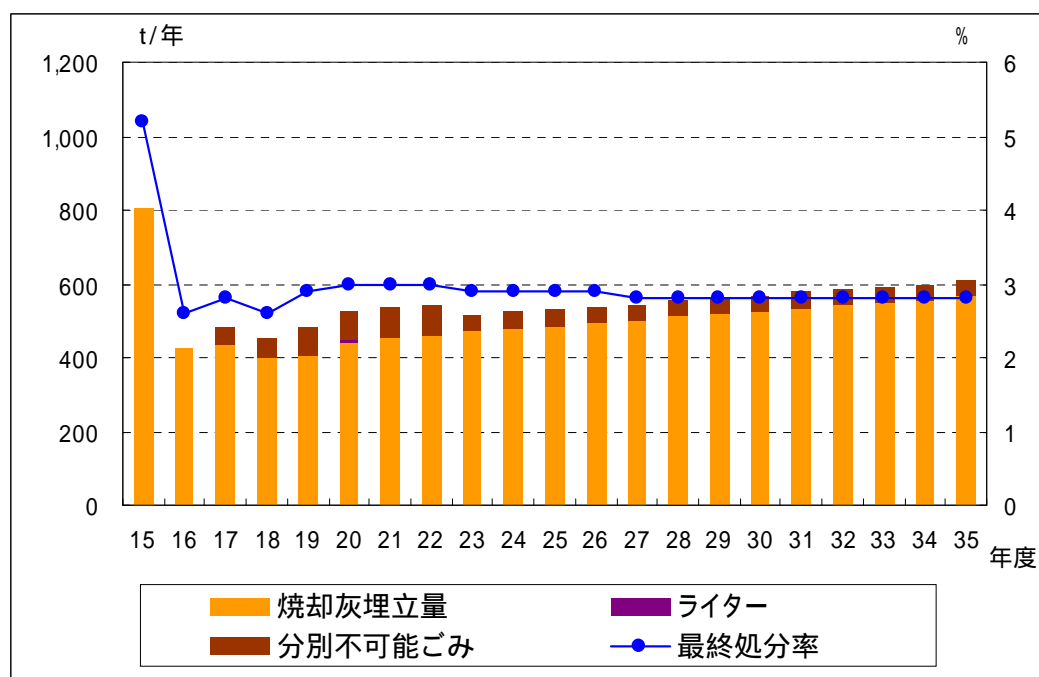


図 36 最終処分量の将来予測

4. ごみの排出抑制のための方策に関する事項

基本の方針にも示すように、廃棄物については、できる限り排出を抑制し、不適正処理の防止その他環境への負荷の低減に配慮しつつ、再使用、再生利用、熱回収の順にできる限り循環的な利用を行い、なお、適正な循環的利用が行われな
いものについては、適正な処分を行うこととされており、ごみの排出抑制は最優先に検討されるものです。

廃棄物の排出を抑制し、循環的利用を促進するためには、市民、事業者、行政が適切な役割分担の下でそれぞれが積極的な取組を図ることが重要となります。

(1) 行政の役割

旧 2 町におけるごみ分別方法の統一と、粗大ごみ処理料金の有料化を早急
に実施するとともに、ごみの排出抑制に関し、適切に普及啓発や情報提供、環境教育等を行うことにより市民の自主的な取り組みを促進します。

分別収集区分の統一

巢南地区におけるごみの分別方法を基本として、旧 2 町のごみ分別方法の統一を早急に実施します。

不燃ごみの分別区分を廃止し、資源ごみとしてカン類、ペットボトル、プラスチック製容器包装に分類し、その他のごみは粗大ごみに区分します。

【現状（穂積地区）】

可燃ごみ
不燃ごみ（金物）
不燃ごみ（プラスチック類）
不燃ごみ（その他）

【統一後】

可燃ごみ、プラスチック製容器包装
カン類
ペットボトル、プラスチック製容器包装
粗大ごみ

粗大ごみ処理料金の有料化

本市の粗大ごみ処理料金は、廃タイヤとスプリングマットを除いて自己搬入の場合は無料です。41 頁の図 30 にも示したように人口 1 人あたりの粗大ごみ発生量は有料の周辺市町と比較すると大きく上回っています。

処理料金の有料化は、経済的インセンティブによって粗大ごみの発生抑制が強く働き、図 37 に示すように発生量が大きく減少することが予測されます。

このことから、粗大ごみの処理料金の有料化を早急に検討し、実施に向けた準備を進めます。

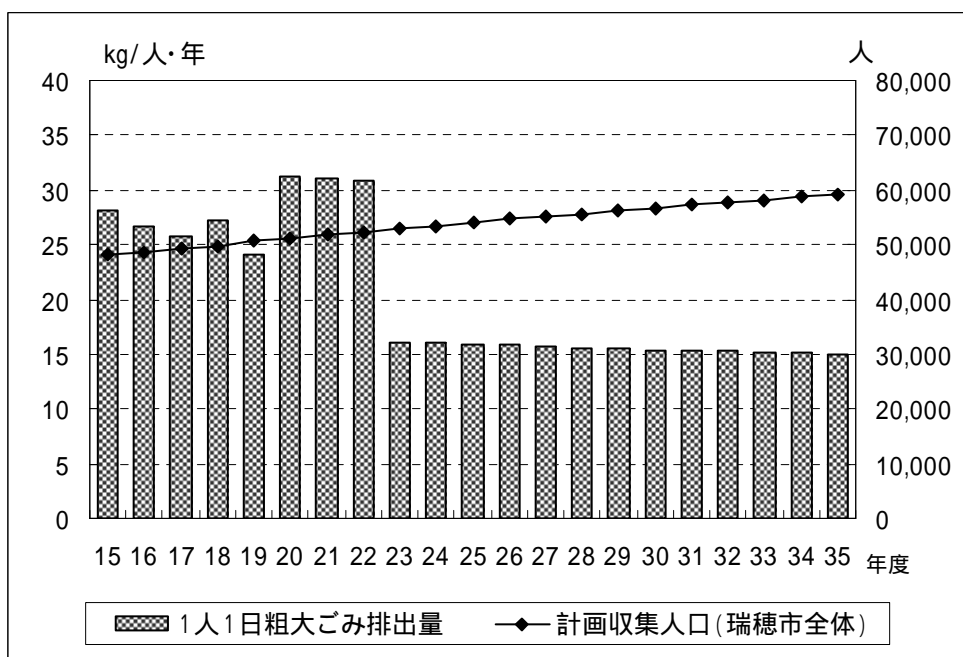


図 37 有料化後の粗大ごみ発生量の予測

環境教育、普及啓発の充実

住民、事業者に対してごみの減量化・再生利用、さらにはごみの適切な分別に関する適切な啓発や情報提供を行います。

また、ごみの減量化に関する社会意識を育むため、学校や地域社会の場において、副読本の活用やごみ処理施設の見学などを通じた環境教育に積極的に取り組みます。

多量の一般廃棄物排出事業者に対する減量化指導の徹底

事業者に対する減量化計画の策定指導を徹底するなど計画的な事業系ごみの排出抑制対策を講じます。

容器包装廃棄物の排出抑制

廃棄物減量等推進審議会等の場を利用して、消費者、販売事業者、行政の連携・協働による地域レベルでのレジ袋の撤廃、過剰包装の抑制、リターナブル容器の利用促進に向けた方策について検討するとともに、消費者、販売事業者に対する普及・啓発に努めます。

環境物品等の使用促進

市町村自らも事業者としてグリーン購入・契約など循環型社会の形成に向けた行動を率先して実行します。

（２）市民の役割

市民は、商品の購入にあたって、容器包装廃棄物の排出の少ない商品、繰り返し使用できる商品、耐久性に優れた商品及び再生品の選択に努めるとともに、使用にあたっては、故障時の修理の励行等によりなるべく長時間使用することに努め、自ら排出するごみの排出抑制の取り組みを推進します。

住民団体による集団回収の促進等

子供会、PTAや自治体など住民団体による集団回収を促進します。行政は、資源類集団分別回収奨励金交付要綱による奨励金の交付、回収機材の貸与によって、集団回収を支援します。

容器包装廃棄物の排出抑制

商品の購入に当たっては、自ら買い物袋やマイバッグ、リターナブル容器等を持参し、また、簡易包装化されている商品及び詰め替え可能な商品を用いている商品等を選択すること等によって、できる限り容器包装廃棄物の排出の抑制に取り組みます。

環境物品等の使用促進、使い捨て品の使用抑制等

再生品を使用するとともに、使い捨て品の使用を抑制します。また、可能な限り、ものを無駄に消費しない生活スタイルを心がけ、環境への負荷の少ないグリーン製品・サービスを選択します。

(3) 事業者の役割

発生源における排出抑制

ごみの発生抑制は経費削減につながります。原材料の選択や製造工程を工夫する等により、自ら排出するごみの排出抑制に努めます。

過剰包装の抑制

物の製造、加工、販売等に際して、その製品や容器等がごみとなった場合に適正な循環的利用及び処分が円滑に実施できるよう、容器包装の簡易化、繰り返し使用できる商品及び耐久性に優れた商品の製造又は販売、修繕体制の整備、建物の長寿命化、適正な処理が困難とならない商品の製造又は販売、必要な情報の提供に努めます。

流通包装廃棄物の排出抑制、リターナブル容器の利用・回収の促進と使い捨て容器の使用抑制

容器包装の利用、製造等に当たっては、リターナブル容器による惣菜の量り売り等を推進することにより容器包装廃棄物の発生の抑制に努めるとともに、容器包装の規格化や材料、構造面における工夫を行い、内容物の詰め替え方式を採用すること等により容器包装の減量に積極的に努めます。

環境物品等の使用促進、使い捨て品の使用抑制等

トイレットペーパー等に再生品を使用するよう努めるとともに、使い捨て品の使用を抑制する。また、可能な限り、ものを無駄に費消しない生活スタイルを心がけ、環境への負荷の少ないグリーン製品・サービスを選択します。

食品廃棄物の排出抑制住民団体による集団回収の促進等

一般廃棄物となる食品廃棄物を排出する食品小売業においては、消費期限前に商品棚から商品を撤去・廃棄する等の商慣行を見直し、売れ残りを減らす仕入れの工夫や、消費期限が近づいている商品の値引き販売等、食品が廃棄物とならないよう販売方法を工夫することが望まれます。

外食産業においては、メニュー、盛り付けの工夫や食べ残しがなかった場合にメリットを付不する等のサービスを通じて、食べ残しの削減に積極的に取り組むとともに、食品小売業や外食産業においては、このような自らの取組を適切に情報提供すること等により、消費者の理解の促進に努めます。

5. 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分

第1次目標年次におけるごみの分別収集は、図38に示すとおりであり、県南地区において行われている分別区分に統一します。

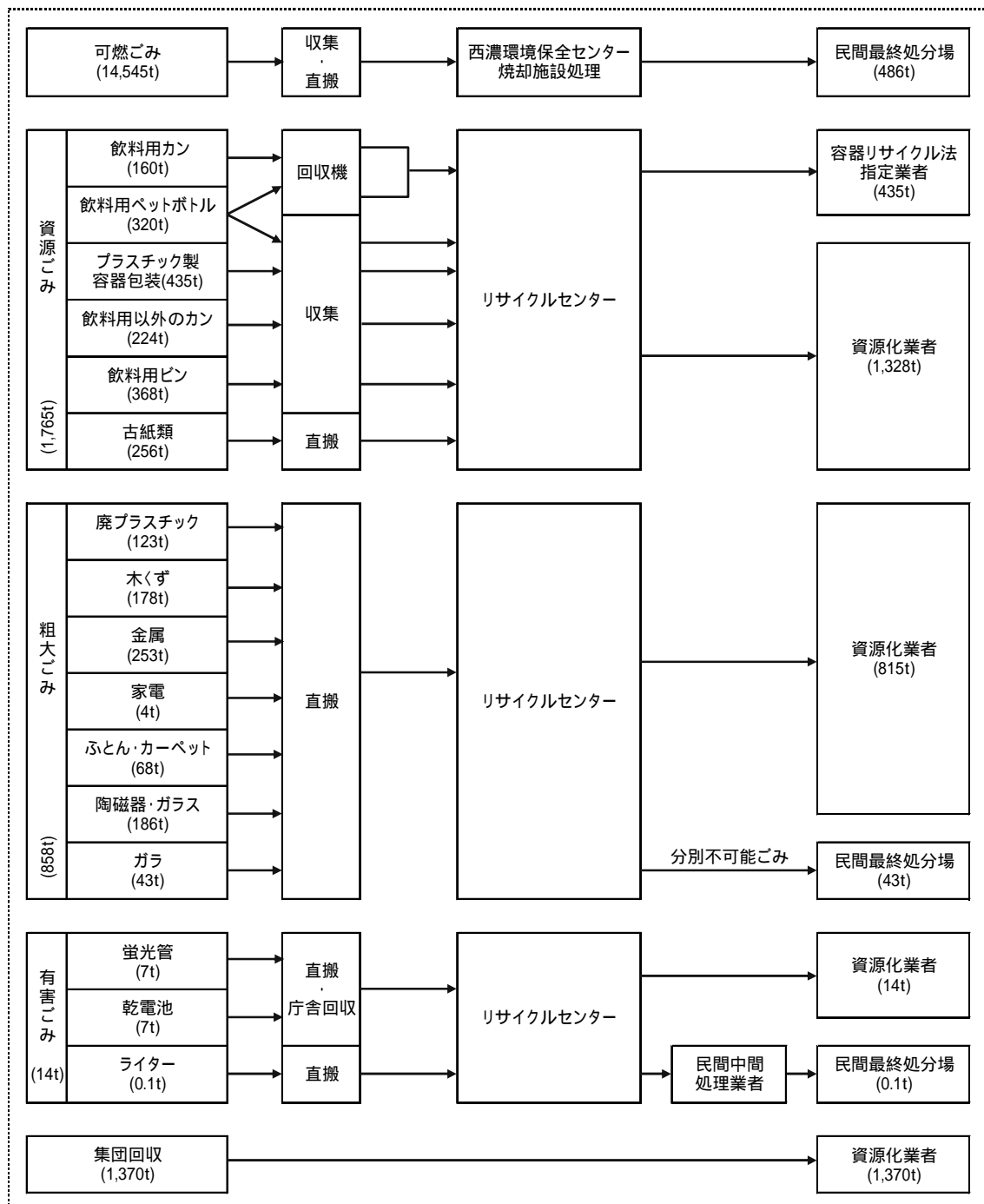


図38 第1次目標年次のごみ処理フロー

6. ごみの適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的事項

(1) 収集・運搬計画

収集・運搬は、ごみ処理における市民との接点であり、ごみの排出方法や分別方法及び収集方法によっては、環境や衛生面の影響が大きく重要な部門です。

市民のニーズに合わせながら、今後の社会状況の変化に合わせた効率的かつ環境・衛生面に留意した収集を行い、中間処理を行う施設へのより効率的な運搬に努めていきます。

収集形態、収集回数

家庭系ごみについては、表33に示すとおりとし、事業系一般ごみについても現状と同様自己搬入または許可業者による処理とし、回数は随時とします。

また、飲料用カン及びペットボトルの回収機の運用方法を検討します。

表33 収集頻度と収集形態の将来計画

項目	収集形態	収集方法	収集頻度	収集容器	
可燃ごみ	委託	ステーション	週3回	指定袋	
資源ごみ	ビン	委託	ステーション	月1回	コンテナ
	缶	直営・委託	ステーション 回収機	月1回	コンテナ 回収機
	ペットボトル	直営・委託	ステーション 回収機	月1回	コンテナ 回収機
	プラスチック 製容器包装	委託	ステーション	月2回	コンテナ
粗大ごみ	-	直接搬入 個別回収	月5、6回 月4、5回	-	

排出禁止物

ごみの適正かつ効率的な処理のため、以下に示すものを排出禁止物とします。

- A) 有毒性のある物
農薬、劇薬とその容器、バッテリー、その他有害性のあるもの。
- B) 感染性のある物
鋭利な物（注射器、注射針）、血液、血液製剤等、その他感染の恐れがある物。
- C) 危険性・引火性のある物
火薬類、ガスボンベ、塗料、その他危険性のあるもの。消火器、ガソリ

ン、廃油（食用油を除く）灯油、その他引火性のあるもの。

D) 著しく悪臭を発する物やその他処理が困難な物

分別していないごみ、タイヤ、家電リサイクル6品目等、オートバイ・スクーター、自動車、パソコン本体、ノートパソコン。

在宅医療廃棄物

在宅医療廃棄物については、感染性を有していないものについてのみ市で収集運搬するものとします。

なお、注射器やカテーテルなどの感染性を有しているものについては、排出事業者や医師会や薬剤師会等と連絡を密に取りながら、かかりつけの病院または使用済み注射針等の回収を行っている薬局に処理を依頼するよう市民に指導していきます。

収集・運搬体制

- A) 自治会等が設置・管理するステーション回収方式を継続します。
- B) 住民ニーズに対応するため、委託収集を継続します。
- C) 委託業者と連携を図りながら、迅速な収集の促進を図ります。
- D) 環境面・衛生面に留意しながら、業務の効率化を図ります。
- E) 排出量に応じた負担の公平化と、排出抑制を一層推進するため、可燃ごみ処理手数料の見直しを随時行います。

(2) 中間処理計画

中間処理の方法

当市における第1次計画目標年度の中間処理方法は、以下に示すとおりです。

A) 可燃ごみ

当市から排出される可燃ごみは、現在、西濃環境整備組合の焼却施設で処理しています。焼却施設の1炉については、平成15年度に新炉に更新しましたが、残りの2炉については、今後更新の検討が必要です。

B) 資源ごみ(飲料用ビン)

収集後、リサイクルセンターにて保管した後、資源再生業者に引き渡します。

C) 資源ごみ(カン)

収集もしくは回収機により集められたものをリサイクルセンターにて選別・圧縮した後、資源再生業者に引き渡します。

D) 資源ごみ(ペットボトル)

収集したものはリサイクルセンターにて選別・圧縮した後、資源再生業者に引き渡します。また、回収機により集められたものはリサイクルセンターにて保管した後、資源再生業者に引き渡します。

E) 資源ごみ(プラスチック製容器包装)

収集後、リサイクルセンターにて選別・圧縮した後、容器リサイクル法指定業者に引き渡します。

F) 粗大ごみ

リサイクルセンターにて破砕・選別・保管後、資源再生業者へ引き渡し、分別不可能ごみについては民間業者に委託し埋立処分を行います。

G) 有害ごみ

蛍光灯、乾電池については、リサイクルセンターにて保管後、資源再生業者に引き渡します。ライターについては、リサイクルセンターにて保管後、民間業者に委託しプラスチック部分は焼却処理、残りは埋立処分を行います。

循環システムモデル事業の検討

スーパーで惣菜販売時にリターナブル容器の使用推進や古紙の独自回収方式など、事業者と連携した地域独自の循環システムモデル事業を検討します。

（３）最終処分計画

当市の一般廃棄物最終処分場は残余容量が極めて少なく、民間業者に委託しているのが現状です。最終処分量は減少傾向を示していますが、埋立物はなくなることから今後も最終処分場は必要な状況です。

また、地域内処分の原則や、安定した最終処分場の確保等から、市（組合）が有する最終処分場の整備の検討が必要です。

７．ごみ処理施設の整備に関する事項

資源ごみ及び粗大ごみ等の選別処理の徹底を図り、廃棄物の減量と限りある資源の有効利用を促進するために、リサイクルセンターの建設を検討します。

８．その他ごみ処理に関し必要な事項

（１）廃棄物減量等推進審議会

市における廃棄物の減量化対策を実効あるものとするため、廃棄物減量等推進議会の積極的活用を推進します。

（２）災害対策

「震災廃棄物対策指針」（平成 10 年 10 月）及び「水害廃棄物対策指針」（平成 17 年 6 月）を踏まえ、「瑞穂市地域防災計画」（平成 18 年 5 月）の第 3 章第 6 項第 13 節「清掃計画」に定めています。

（３）不適正排出対策及び不法投棄防止対策

不適正排出については、ごみの分別やごみ収集日などのごみ排出ルールがまだ完全に浸透していないことから、ごみの適正排出適正処理に向けた啓発を推進します。

不法投棄については、違法行為であることや環境の汚染につながることを啓発するとともに、不法投棄に向けた活動や指導をさらに推進します。

第4章 計画の推進

1. 地球温暖化防止への配慮

平成21年3月に策定の、本市の「地球温暖化防止対策実行計画」では本市の事務・事業に係る温室効果ガスの排出量を、平成25年までに平成19年の数値から6%削減することを目標としています。

日本における平成19年度の温室効果ガス排出量のうち、廃棄物部門からの排出量は約3%を占めており、基準年(1990年)から比較すると約44%と大きく増加しています。

京都議定書により約束された第1約束期間の6%削減と、それ以降のさらなる削減に向けて、今後より一層の“循環型社会形成”を推進し、温室効果ガス排出量の積極的な削減に努めます。

2. 計画のスケジュール

本計画に示されている排出抑制に関する事項のスケジュールは以下に示すとおりです。リサイクルセンターの検討と併せて、平成23年をめどに分別収集区分の統一と粗大ごみの有料化を実施します。環境教育、減量化の指導、容器包装の排出抑制は随時行い、グリーン購入については現状と同様に継続して実施します。

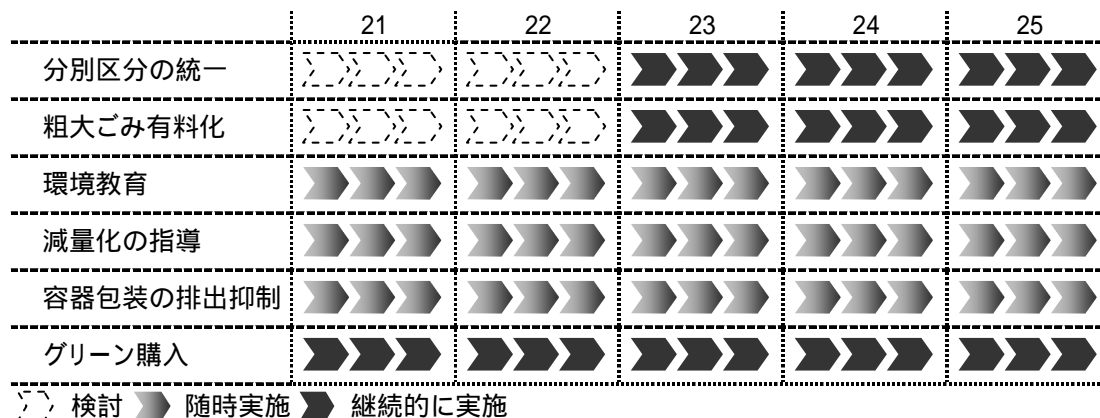


図39 計画のスケジュール

3. 計画の推進と公表

本計画の推進には、市民・事業者・行政の協働が必要です。住民や事業者の意見・要望を反映させ本計画を効率的に推進していくために、廃棄物減量等推審議会によって進捗状況の管理と長期的展望に立ったシステムの選択を行い、「計画」(Plan)・「実行」(Do)・「評価」(Check)・「見直し」(Action)のいわゆるPDCAサイクルで継続的に本計画の点検・見直し・評価を実施します。

また、本計画を広く周知するため、ホームページ等で公開するとともに、「広報みずほ」等により情報提供を行います。

資 料 編

資料 1	ごみ処理の実績及び予測	6 3
資料 2	人口 1 人 1 日あたり収集ごみ量の予測	6 5
資料 3	人口 1 人 1 日あたり直接搬入量ごみの予測	7 6
資料 4	人口 1 人 1 日あたり集団回収量の予測	9 4
資料 5	ごみ分別意識調査結果	1 0 1
資料 6	諮問・答申	1 0 8
資料 7	廃棄物減量等推進審議会	1 1 3

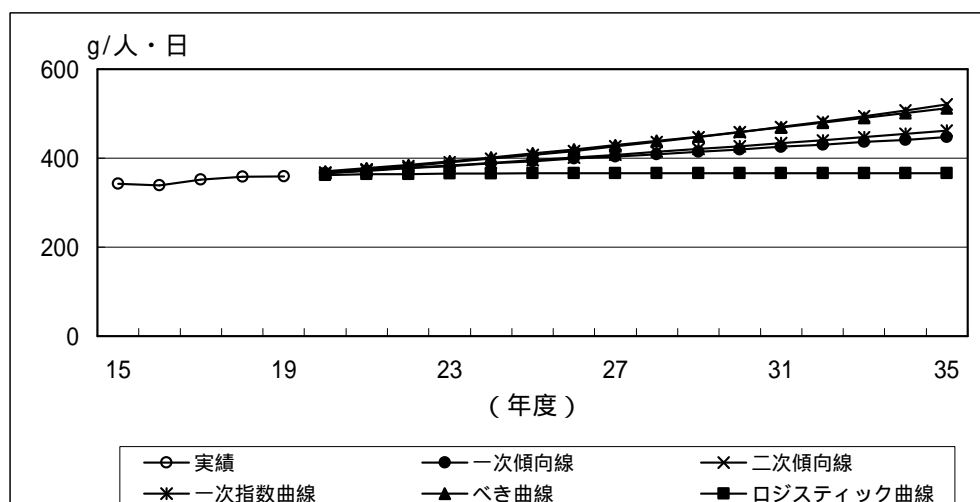
資料 2 人口 1 人 1 日あたり収集ごみ量の予測

資料 2 - 1

瑞穂市 収集可燃ごみ

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	342.00	-	342.00	-	342.00	-	342.00	-	342.00	-	342.00
16	339.00	-3.00	339.00	-3.00	339.00	-3.00	339.00	-3.00	339.00	-3.00	339.00
17	351.80	12.80	351.80	12.80	351.80	12.80	351.80	12.80	351.80	12.80	351.80
18	357.40	5.60	357.40	5.60	357.40	5.60	357.40	5.60	357.40	5.60	357.40
19	359.60	2.20	359.60	2.20	359.60	2.20	359.60	2.20	359.60	2.20	359.60
20	366.04	6.44	367.64	8.04	366.32	6.72	369.56	9.96	361.77	2.17	349.96
21	371.40	5.36	374.60	6.96	371.98	5.66	377.02	7.46	363.30	1.53	
22	376.76	5.36	382.02	7.42	377.72	5.74	384.89	7.87	364.35	1.05	
23	382.12	5.36	389.89	7.87	383.55	5.83	393.11	8.22	365.09	0.74	
24	387.48	5.36	398.22	8.33	389.47	5.92	401.66	8.55	365.59	0.50	
25	392.84	5.36	407.01	8.79	395.49	6.02	410.52	8.86	365.94	0.35	
26	398.20	5.36	416.26	9.25	401.59	6.10	419.66	9.14	366.18	0.24	
27	403.56	5.36	425.96	9.70	407.79	6.20	429.07	9.41	366.35	0.17	
28	408.92	5.36	436.12	10.16	414.09	6.30	438.72	9.65	366.46	0.11	
29	414.28	5.36	446.74	10.62	420.48	6.39	448.62	9.90	366.54	0.08	
30	419.64	5.36	457.81	11.07	426.98	6.50	458.73	10.11	366.59	0.05	
31	425.00	5.36	469.34	11.53	433.57	6.59	469.06	10.33	366.63	0.04	
32	430.36	5.36	481.33	11.99	440.26	6.69	479.60	10.54	366.66	0.03	
33	435.72	5.36	493.78	12.45	447.06	6.80	490.33	10.73	366.68	0.02	
34	441.08	5.36	506.68	12.90	453.96	6.90	501.25	10.92	366.69	0.01	
35	446.44	5.36	520.04	13.36	460.97	7.01	512.35	11.10	366.70	0.01	
採 用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$					
	a =	258.84	324.44	269.64	3.33	3.18					
	b =	5.36	-2.41	1.02	1.31	0.37					
	c =		0.23								
	$Y_0 =$					342.00					
	$t_0 =$					15.00					
K =						366.71					
r =	0.925857	0.927035	0.926349	0.917715	0.892425						

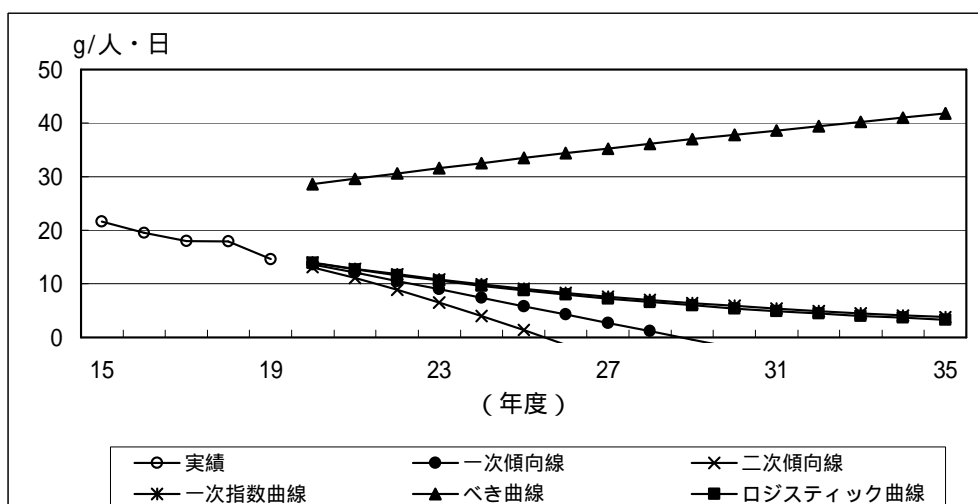


資料2 - 2

旧穂積地区 収集 不燃ごみ(金物)

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成 15	21.60	-	21.60	-	21.60	-	21.60	-	21.60	-	21.60	
実 績	16	19.50	-2.10	19.50	-2.10	19.50	-2.10	19.50	-2.10	19.50	-2.10	19.50
	17	18.00	-1.50	18.00	-1.50	18.00	-1.50	18.00	-1.50	18.00	-1.50	18.00
	18	17.90	-0.10	17.90	-0.10	17.90	-0.10	17.90	-0.10	17.90	-0.10	17.90
	19	14.60	-3.30	14.60	-3.30	14.60	-3.30	14.60	-3.30	14.60	-3.30	14.60
	20	13.64	-0.96	13.14	-1.46	14.00	-0.60	28.58	13.98	13.95	-0.65	18.32
見 通 し	21	12.08	-1.56	11.08	-2.06	12.84	-1.16	29.63	1.05	12.74	-1.21	
	22	10.52	-1.56	8.88	-2.20	11.77	-1.07	30.63	1.00	11.62	-1.12	
	23	8.96	-1.56	6.53	-2.35	10.79	-0.98	31.60	0.97	10.59	-1.03	
	24	7.40	-1.56	4.04	-2.49	9.89	-0.90	32.55	0.95	9.64	-0.95	
	25	5.84	-1.56	1.41	-2.63	9.07	-0.82	33.47	0.92	8.78	-0.86	
	26	4.28	-1.56	-1.36	-2.77	8.31	-0.76	34.37	0.90	7.98	-0.80	
	27	2.72	-1.56	-4.28	-2.92	7.62	-0.69	35.25	0.88	7.25	-0.73	
	28	1.16	-1.56	-7.34	-3.06	6.99	-0.63	36.11	0.86	6.58	-0.67	
	29	-0.40	-1.56	-10.54	-3.20	6.41	-0.58	36.96	0.85	5.98	-0.60	
	30	-1.96	-1.56	-13.89	-3.35	5.87	-0.54	37.79	0.83	5.42	-0.56	
	31	-3.52	-1.56	-17.38	-3.49	5.38	-0.49	38.61	0.82	4.92	-0.50	
	32	-5.08	-1.56	-21.01	-3.63	4.94	-0.44	39.42	0.81	4.46	-0.46	
	33	-6.64	-1.56	-24.78	-3.77	4.52	-0.42	40.21	0.79	4.04	-0.42	
	34	-8.20	-1.56	-28.70	-3.92	4.15	-0.37	41.00	0.79	3.66	-0.38	
	35	-9.76	-1.56	-32.76	-4.06	3.80	-0.35	41.78	0.78	3.31	-0.35	
採 用												
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²	a · b ^t	Yo + a(t-to) ^b	K / (1 + EXP(a-bt))						
	a =	44.84	24.34	79.61	2.04	-0.02						
	b =	-1.56	0.87	0.92	0.77	-0.10						
	c =		-0.07									
	Yo =				21.60							
	to =				15.00							
	K =					119.74						
r =	0.962523	0.963934	0.959059	-0.288693	0.959846							

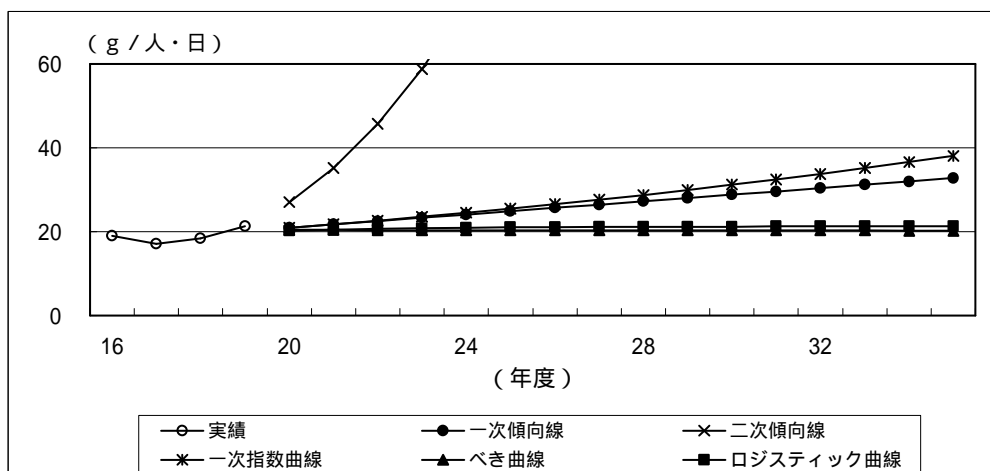


資料 2 - 3

旧穂積地区 収集 不燃ごみ(プラスチック類)

単位: g / 人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 16	19.100	-	19.100	-	19.100	-	19.100	-	19.100	-	19.10
17	17.100	-2.00	17.100	-2.00	17.100	-2.00	17.100	-2.00	17.100	-2.00	17.10
18	18.400	1.30	18.400	1.30	18.400	1.30	18.400	1.30	18.400	1.30	18.40
19	21.300	2.90	21.300	2.90	21.300	2.90	21.300	2.90	21.300	2.90	21.30
20	20.950	-0.35	27.075	5.78	20.906	-0.39	20.460	-0.84	20.191	-1.11	18.98
21	21.740	0.79	35.215	8.14	21.760	0.85	20.434	-0.03	20.478	0.29	
22	22.530	0.79	45.805	10.59	22.649	0.89	20.413	-0.02	20.693	0.22	
23	23.320	0.79	58.845	13.04	23.574	0.93	20.396	-0.02	20.853	0.16	
24	24.110	0.79	74.335	15.49	24.537	0.96	20.381	-0.02	20.971	0.12	
25	24.900	0.79	92.275	17.94	25.539	1.00	20.369	-0.01	21.059	0.09	
26	25.690	0.79	112.665	20.39	26.582	1.04	20.357	-0.01	21.123	0.06	
27	26.480	0.79	135.505	22.84	27.668	1.09	20.347	-0.01	21.171	0.05	
28	27.270	0.79	160.795	25.29	28.798	1.13	20.338	-0.01	21.205	0.03	
29	28.060	0.79	188.535	27.74	29.974	1.18	20.329	-0.01	21.231	0.03	
30	28.850	0.79	218.725	30.19	31.198	1.22	20.321	-0.01	21.249	0.02	
31	29.640	0.79	251.365	32.64	32.473	1.28	20.314	-0.01	21.263	0.01	
32	30.430	0.79	286.455	35.09	33.799	1.33	20.308	-0.01	21.273	0.01	
33	31.220	0.79	323.995	37.54	35.180	1.38	20.301	-0.01	21.280	0.01	
34	32.010	0.79	363.985	39.99	36.616	1.44	20.295	-0.01	21.286	0.01	
35	32.800	0.79	406.425	42.44	38.112	1.50	20.290	-0.01	21.289	0.00	
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²			a · b ^t	Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	5.15	378.77			9.39	1.53		3.37		
	b =	0.79	-42.08			1.04	-0.09		0.31		
	c =		1.22								
	Yo =						19.10				
	to =						16.00				
K =								21.30			
r =	0.580271	0.992173	0.594170			-0.029887	0.487883				

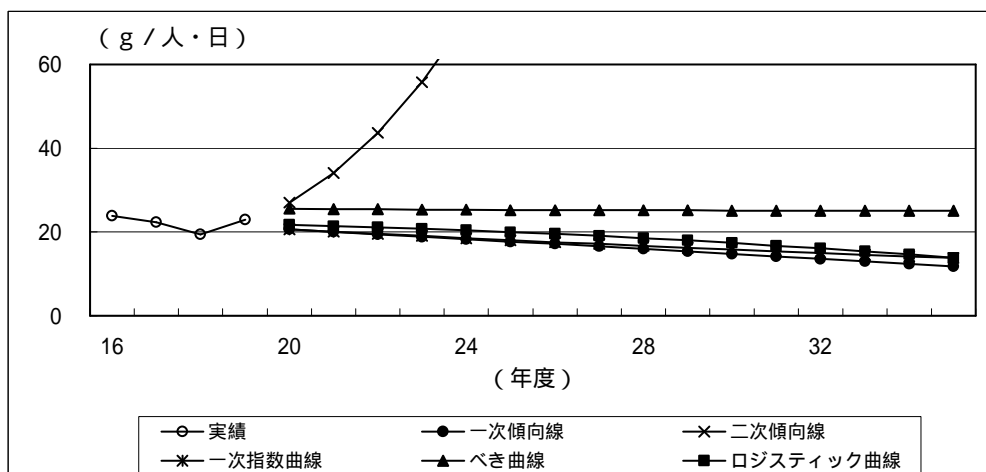


資料2 - 4

旧穂積地区 収集 不燃ごみ(その他)

単位: g / 人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 16	23.900	-	23.900	-	23.900	-	23.900	-	23.900	-	23.90
17	22.300	-1.60	22.300	-1.60	22.300	-1.60	22.300	-1.60	22.300	-1.60	22.30
18	19.400	-2.90	19.400	-2.90	19.400	-2.90	19.400	-2.90	19.400	-2.90	19.40
19	22.900	3.50	22.900	3.50	22.900	3.50	22.900	3.50	22.900	3.50	22.90
20	20.650	-2.25	27.025	4.13	20.632	-2.27	25.522	2.62	21.672	-1.23	22.13
21	20.060	-0.59	34.085	7.06	20.087	-0.55	25.444	-0.08	21.394	-0.28	22.13
22	19.470	-0.59	43.695	9.61	19.557	-0.53	25.383	-0.06	21.087	-0.31	22.13
23	18.880	-0.59	55.855	12.16	19.041	-0.52	25.333	-0.05	20.748	-0.34	22.13
24	18.290	-0.59	70.565	14.71	18.538	-0.50	25.291	-0.04	20.374	-0.37	22.13
25	17.700	-0.59	87.825	17.26	18.049	-0.49	25.256	-0.04	19.965	-0.41	22.13
26	17.110	-0.59	107.635	19.81	17.572	-0.48	25.224	-0.03	19.518	-0.45	22.13
27	16.520	-0.59	129.995	22.36	17.108	-0.46	25.197	-0.03	19.033	-0.48	22.13
28	15.930	-0.59	154.905	24.91	16.657	-0.45	25.172	-0.02	18.509	-0.52	22.13
29	15.340	-0.59	182.365	27.46	16.217	-0.44	25.150	-0.02	17.946	-0.56	22.13
30	14.750	-0.59	212.375	30.01	15.789	-0.43	25.129	-0.02	17.346	-0.60	22.13
31	14.160	-0.59	244.935	32.56	15.372	-0.42	25.111	-0.02	16.709	-0.64	22.13
32	13.570	-0.59	280.045	35.11	14.966	-0.41	25.094	-0.02	16.038	-0.67	22.13
33	12.980	-0.59	317.705	37.66	14.571	-0.40	25.078	-0.02	15.336	-0.70	22.13
34	12.390	-0.59	357.915	40.21	14.186	-0.39	25.063	-0.02	14.609	-0.73	22.13
35	11.800	-0.59	400.675	42.76	13.812	-0.37	25.049	-0.01	13.860	-0.75	22.13
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	32.45	421.33		35.23		2.20		-4.88		
	b =	-0.59	-45.22		0.97		-0.22		-0.13		
	c =		1.28								
	Yo =						23.90				
	to =						16.00				
	K =								23.90		
r =	0.394078	0.857607		0.401453		-0.014585		0.319339			

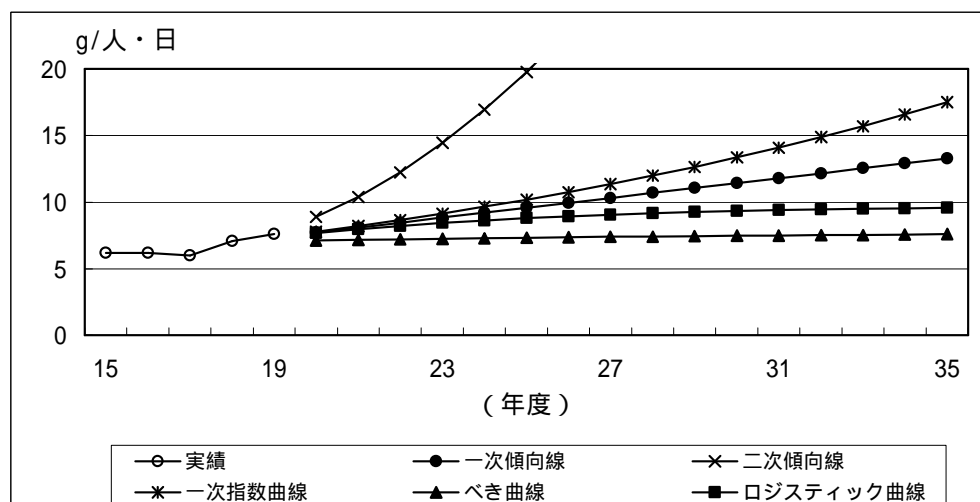


資料 2 - 5

瑞穂市 収集 資源ごみ 飲料用ビン(無色)

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	6.20	-	6.20	-	6.20	-	6.20	-	6.20	-	6.20
16	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20
17	6.00	-0.20	6.00	-0.20	6.00	-0.20	6.00	-0.20	6.00	-0.20	6.00
18	7.10	1.10	7.10	1.10	7.10	1.10	7.10	1.10	7.10	1.10	7.10
19	7.60	0.50	7.60	0.50	7.60	0.50	7.60	0.50	7.60	0.50	7.60
20	7.73	0.13	8.88	1.28	7.76	0.16	7.11	-0.49	7.69	0.09	6.62
21	8.10	0.37	10.40	1.52	8.19	0.43	7.16	0.05	7.97	0.28	
22	8.47	0.37	12.25	1.85	8.65	0.46	7.21	0.05	8.22	0.25	
23	8.84	0.37	14.43	2.18	9.13	0.48	7.25	0.04	8.44	0.22	
24	9.21	0.37	16.93	2.50	9.64	0.51	7.29	0.04	8.63	0.19	
25	9.58	0.37	19.77	2.84	10.18	0.54	7.32	0.03	8.80	0.17	
26	9.95	0.37	22.93	3.16	10.74	0.56	7.35	0.03	8.94	0.14	
27	10.32	0.37	26.42	3.49	11.34	0.60	7.39	0.04	9.07	0.13	
28	10.69	0.37	30.24	3.82	11.98	0.64	7.41	0.02	9.17	0.10	
29	11.06	0.37	34.39	4.15	12.64	0.66	7.44	0.03	9.26	0.09	
30	11.43	0.37	38.87	4.48	13.35	0.71	7.47	0.03	9.33	0.07	
31	11.80	0.37	43.67	4.80	14.09	0.74	7.49	0.02	9.40	0.07	
32	12.17	0.37	48.81	5.14	14.88	0.79	7.52	0.03	9.45	0.05	
33	12.54	0.37	54.27	5.46	15.71	0.83	7.54	0.02	9.49	0.04	
34	12.91	0.37	60.06	5.79	16.58	0.87	7.56	0.02	9.53	0.04	
35	13.28	0.37	66.18	6.12	17.51	0.93	7.59	0.03	9.56	0.03	
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$					
	a =	0.33	47.48	2.62	0.56	2.37					
	b =	0.37	-5.22	1.06	0.30	0.19					
	c =		0.16								
	$Y_0 =$				6.20						
	$t_0 =$				15.00						
K =						9.72					
r =	0.842652	0.952912	0.856575	0.513312	0.822853						

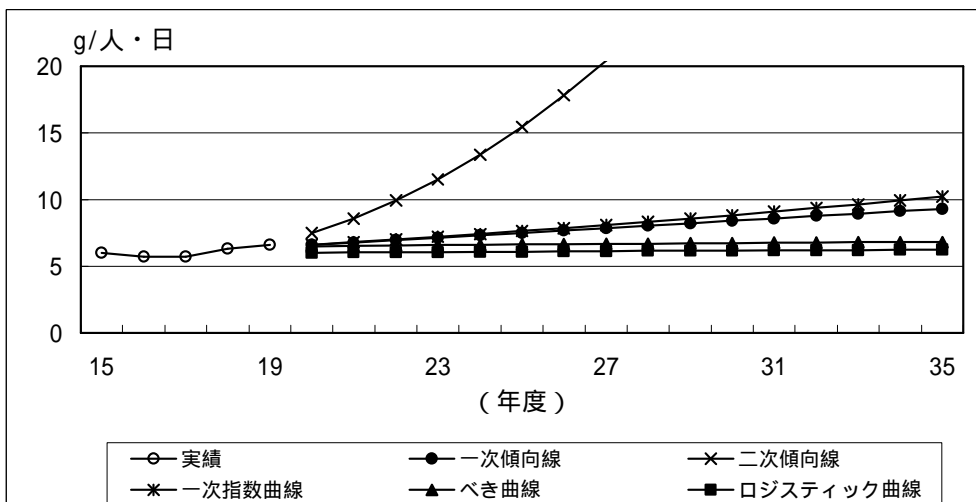


資料2 - 6

瑞穂市 収集 資源ごみ 飲料用ビン(茶色)

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	6.00	-	6.00	-	6.00	-	6.00	-	6.00	-	6.00
16	5.70	-0.30	5.70	-0.30	5.70	-0.30	5.70	-0.30	5.70	-0.30	5.70
17	5.70	0.00	5.70	0.00	5.70	0.00	5.70	0.00	5.70	0.00	5.70
18	6.30	0.60	6.30	0.60	6.30	0.60	6.30	0.60	6.30	0.60	6.30
19	6.60	0.30	6.60	0.30	6.60	0.30	6.60	0.30	6.60	0.30	6.60
20	6.60	0.00	7.50	0.90	6.60	0.00	6.49	-0.11	6.00	-0.60	6.06
21	6.78	0.18	8.58	1.08	6.80	0.20	6.52	0.03	6.02	0.02	
22	6.96	0.18	9.92	1.34	7.00	0.20	6.55	0.03	6.04	0.02	
23	7.14	0.18	11.51	1.59	7.20	0.20	6.58	0.03	6.05	0.01	
24	7.32	0.18	13.36	1.85	7.42	0.22	6.61	0.03	6.07	0.02	
25	7.50	0.18	15.47	2.11	7.63	0.21	6.63	0.02	6.09	0.02	
26	7.68	0.18	17.84	2.37	7.86	0.23	6.65	0.02	6.11	0.02	
27	7.86	0.18	20.46	2.62	8.09	0.23	6.68	0.03	6.12	0.01	
28	8.04	0.18	23.34	2.88	8.33	0.24	6.70	0.02	6.14	0.02	
29	8.22	0.18	26.48	3.14	8.58	0.25	6.72	0.02	6.15	0.01	
30	8.40	0.18	29.87	3.39	8.83	0.25	6.74	0.02	6.17	0.02	
31	8.58	0.18	33.52	3.65	9.09	0.26	6.75	0.01	6.18	0.01	
32	8.76	0.18	37.43	3.91	9.36	0.27	6.77	0.02	6.20	0.02	
33	8.94	0.18	41.60	4.17	9.63	0.27	6.79	0.02	6.21	0.01	
34	9.12	0.18	46.02	4.42	9.92	0.29	6.80	0.01	6.23	0.02	
35	9.30	0.18	50.70	4.68	10.21	0.29	6.82	0.02	6.24	0.01	
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$					
	a =	3.00	39.90	3.69	0.26	-1.56					
	b =	0.18	-4.19	1.03	0.38	0.04					
	c =		0.13								
	$Y_0 =$				6.00						
	$t_0 =$				15.00						
K =						6.60					
r =	0.727607	0.952647	0.737128	0.251863	0.179624						

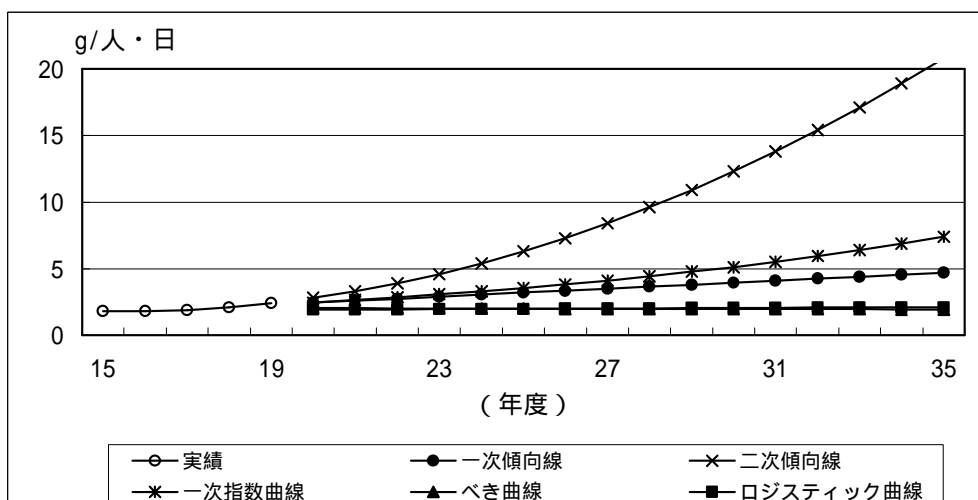


資料 2 - 7

瑞穂市 収集 資源ごみ 飲料用ビン(その他の色)

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 15	1.80	-	1.80	-	1.80	-	1.80	-	1.80	-	1.80
16	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80
17	1.90	0.10	1.90	0.10	1.90	0.10	1.90	0.10	1.90	0.10	1.90
18	2.10	0.20	2.10	0.20	2.10	0.20	2.10	0.20	2.10	0.20	2.10
19	2.40	0.30	2.40	0.30	2.40	0.30	2.40	0.30	2.40	0.30	2.40
20	2.45	0.05	2.80	0.40	2.47	0.07	2.06	-0.34	1.92	-0.48	2.00
21	2.60	0.15	3.30	0.50	2.66	0.19	2.05	-0.01	1.94	0.02	
22	2.75	0.15	3.90	0.60	2.86	0.20	2.03	-0.02	1.95	0.01	
23	2.90	0.15	4.60	0.70	3.08	0.22	2.02	-0.01	1.97	0.02	
24	3.05	0.15	5.40	0.80	3.31	0.23	2.01	-0.01	1.98	0.01	
25	3.20	0.15	6.30	0.90	3.56	0.25	2.00	-0.01	1.99	0.01	
26	3.35	0.15	7.30	1.00	3.83	0.27	1.99	-0.01	2.01	0.02	
27	3.50	0.15	8.40	1.10	4.12	0.29	1.99	0.00	2.02	0.01	
28	3.65	0.15	9.60	1.20	4.43	0.31	1.98	-0.01	2.03	0.01	
29	3.80	0.15	10.90	1.30	4.77	0.34	1.97	-0.01	2.05	0.02	
30	3.95	0.15	12.30	1.40	5.13	0.36	1.97	0.00	2.06	0.01	
31	4.10	0.15	13.80	1.50	5.52	0.39	1.97	0.00	2.07	0.01	
32	4.25	0.15	15.40	1.60	5.94	0.42	1.96	-0.01	2.08	0.01	
33	4.40	0.15	17.10	1.70	6.39	0.45	1.96	0.00	2.09	0.01	
34	4.55	0.15	18.90	1.80	6.87	0.48	1.95	-0.01	2.10	0.01	
35	4.70	0.15	20.80	1.90	7.39	0.52	1.95	0.00	2.11	0.01	
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0 + a(t-t_0)^b$		$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$		
	a =	-0.55	13.80		0.58		0.50		-0.59		
	b =	0.15	-1.55		1.08		-0.40		0.04		
	c =		0.05								
	Y ₀ =						1.80				
	t ₀ =						15.00				
	K =								2.40		
	r =	0.930261	1.000000		0.944444		-0.240663		0.177741		

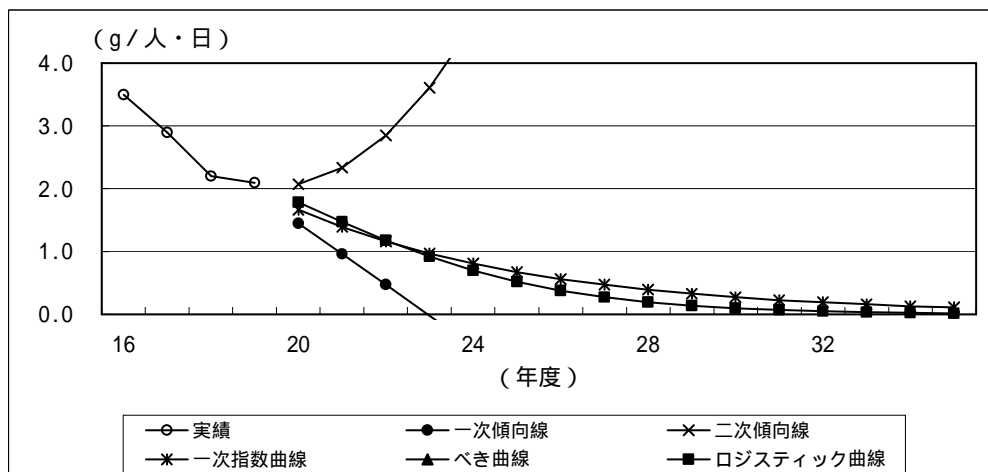


資料2 - 8

旧巢南地区 収集 飲料用以外のカン類(スチール)

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 16	3.500	-	3.500	-	3.500	-	3.500	-	3.500	-	3.50
17	2.900	-0.60	2.900	-0.60	2.900	-0.60	2.900	-0.60	2.900	-0.60	2.90
18	2.200	-0.70	2.200	-0.70	2.200	-0.70	2.200	-0.70	2.200	-0.70	2.20
19	2.100	-0.10	2.100	-0.10	2.100	-0.10	2.100	-0.10	2.100	-0.10	2.10
20	1.450	-0.65	2.075	-0.02	1.665	-0.44	5.449	3.35	1.787	-0.31	2.68
21	0.960	-0.49	2.335	0.26	1.389	-0.28	5.834	0.39	1.475	-0.31	
22	0.470	-0.49	2.845	0.51	1.160	-0.23	6.204	0.37	1.180	-0.30	
23	-0.020	-0.49	3.605	0.76	0.968	-0.19	6.563	0.36	0.917	-0.26	
24	-0.510	-0.49	4.615	1.01	0.808	-0.16	6.912	0.35	0.695	-0.22	
25	-1.000	-0.49	5.875	1.26	0.674	-0.13	7.253	0.34	0.517	-0.18	
26	-1.490	-0.49	7.385	1.51	0.562	-0.11	7.587	0.33	0.378	-0.14	
27	-1.980	-0.49	9.145	1.76	0.469	-0.09	7.914	0.33	0.273	-0.11	
28	-2.470	-0.49	11.155	2.01	0.392	-0.08	8.236	0.32	0.195	-0.08	
29	-2.960	-0.49	13.415	2.26	0.327	-0.07	8.552	0.32	0.138	-0.06	
30	-3.450	-0.49	15.925	2.51	0.273	-0.05	8.864	0.31	0.098	-0.04	
31	-3.940	-0.49	18.685	2.76	0.228	-0.05	9.172	0.31	0.069	-0.03	
32	-4.430	-0.49	21.695	3.01	0.190	-0.04	9.476	0.30	0.048	-0.02	
33	-4.920	-0.49	24.955	3.26	0.159	-0.03	9.776	0.30	0.034	-0.01	
34	-5.410	-0.49	28.465	3.51	0.132	-0.03	10.072	0.30	0.024	-0.01	
35	-5.900	-0.49	32.225	3.76	0.110	-0.02	10.366	0.29	0.017	-0.01	
採 用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + EXP(a - bt))$					
	a =	11.25	49.38	62.01	0.64	-7.22					
	b =	-0.49	-4.87	0.83	0.81	-0.36					
	c =		0.13								
	$Y_0 =$				3.50						
	$t_0 =$				16.00						
	K =					3.50					
r =	0.965623	0.990440	0.979638	-0.321612	0.796278						

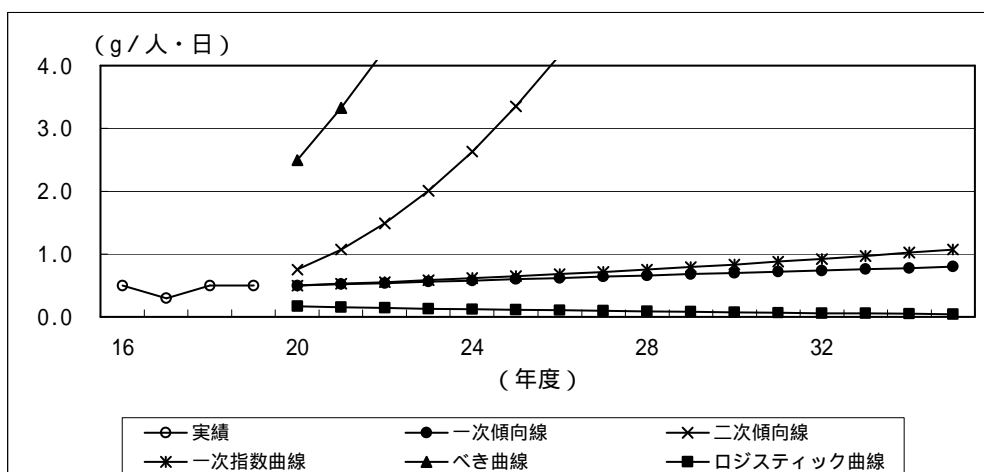


資料 2 - 9

旧巢南地区 収集 飲料用以外のカン類(アルミ)

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 16	0.500	-	0.500	-	0.500	-	0.500	-	0.500	-	0.50
17	0.300	-0.20	0.300	-0.20	0.300	-0.20	0.300	-0.20	0.300	-0.20	0.30
18	0.500	0.20	0.500	0.20	0.500	0.20	0.500	0.20	0.500	0.20	0.50
19	0.500	0.00	0.500	0.00	0.500	0.00	0.500	0.00	0.500	0.00	0.50
20	0.500	0.00	0.750	0.25	0.500	0.00	2.498	2.00	0.167	-0.33	0.45
21	0.520	0.02	1.070	0.32	0.526	0.03	3.329	0.83	0.155	-0.01	
22	0.540	0.02	1.490	0.42	0.554	0.03	4.257	0.93	0.143	-0.01	
23	0.560	0.02	2.010	0.52	0.583	0.03	5.277	1.02	0.132	-0.01	
24	0.580	0.02	2.630	0.62	0.613	0.03	6.381	1.10	0.122	-0.01	
25	0.600	0.02	3.350	0.72	0.645	0.03	7.564	1.18	0.112	-0.01	
26	0.620	0.02	4.170	0.82	0.679	0.03	8.824	1.26	0.103	-0.01	
27	0.640	0.02	5.090	0.92	0.715	0.04	10.156	1.33	0.094	-0.01	
28	0.660	0.02	6.110	1.02	0.752	0.04	11.557	1.40	0.086	-0.01	
29	0.680	0.02	7.230	1.12	0.792	0.04	13.025	1.47	0.078	-0.01	
30	0.700	0.02	8.450	1.22	0.833	0.04	14.557	1.53	0.071	-0.01	
31	0.720	0.02	9.770	1.32	0.877	0.04	16.151	1.59	0.065	-0.01	
32	0.740	0.02	11.190	1.42	0.923	0.05	17.806	1.66	0.059	-0.01	
33	0.760	0.02	12.710	1.52	0.971	0.05	19.520	1.71	0.054	-0.01	
34	0.780	0.02	14.330	1.62	1.022	0.05	21.290	1.77	0.048	-0.01	
35	0.800	0.02	16.050	1.72	1.076	0.05	23.117	1.83	0.044	-0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²	a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a - b!))			
	a =	0.10	15.35	0.18		0.23		-1.50			
	b =	0.02	-1.73	1.05		1.56		-0.11			
	c =		0.05			0.50					
	Yo =					16.00					
	to =							0.50			
r =	0.258199	0.632456	0.254998		0.236640		-0.014897				

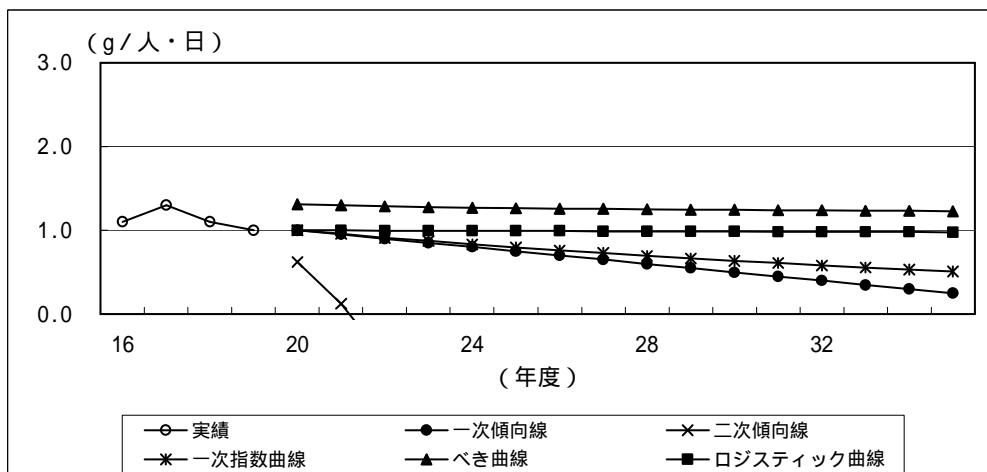


資料2 - 10

旧巢南地区 収集 ペットボトル

単位：g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 16	1.100	-	1.100	-	1.100	-	1.100	-	1.100	-	1.10
17	1.300	0.20	1.300	0.20	1.300	0.20	1.300	0.20	1.300	0.20	1.30
18	1.100	-0.20	1.100	-0.20	1.100	-0.20	1.100	-0.20	1.100	-0.20	1.10
19	1.000	-0.10	1.000	-0.10	1.000	-0.10	1.000	-0.10	1.000	-0.10	1.00
20	1.000	0.00	0.625	-0.38	1.000	0.00	1.312	0.31	1.000	0.00	1.13
21	0.950	-0.05	0.125	-0.50	0.956	-0.04	1.298	-0.01	0.999	-0.00	1.13
22	0.900	-0.05	-0.525	-0.65	0.913	-0.04	1.287	-0.01	0.997	-0.00	1.13
23	0.850	-0.05	-1.325	-0.80	0.873	-0.04	1.278	-0.01	0.996	-0.00	1.13
24	0.800	-0.05	-2.275	-0.95	0.834	-0.04	1.271	-0.01	0.994	-0.00	1.13
25	0.750	-0.05	-3.375	-1.10	0.797	-0.04	1.265	-0.01	0.993	-0.00	1.13
26	0.700	-0.05	-4.625	-1.25	0.762	-0.04	1.259	-0.01	0.992	-0.00	1.13
27	0.650	-0.05	-6.025	-1.40	0.728	-0.03	1.255	-0.00	0.990	-0.00	1.13
28	0.600	-0.05	-7.575	-1.55	0.696	-0.03	1.250	-0.00	0.989	-0.00	1.13
29	0.550	-0.05	-9.275	-1.70	0.665	-0.03	1.247	-0.00	0.987	-0.00	1.13
30	0.500	-0.05	-11.125	-1.85	0.636	-0.03	1.243	-0.00	0.986	-0.00	1.13
31	0.450	-0.05	-13.125	-2.00	0.608	-0.03	1.240	-0.00	0.985	-0.00	1.13
32	0.400	-0.05	-15.275	-2.15	0.581	-0.03	1.237	-0.00	0.983	-0.00	1.13
33	0.350	-0.05	-17.575	-2.30	0.555	-0.03	1.235	-0.00	0.982	-0.00	1.13
34	0.300	-0.05	-20.025	-2.45	0.530	-0.03	1.232	-0.00	0.980	-0.00	1.13
35	0.250	-0.05	-22.625	-2.60	0.507	-0.02	1.230	-0.00	0.979	-0.00	1.13
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a - bt))		
	a =	2.00	-20.87		2.47		0.33		-1.32		
	b =	-0.05	2.57		0.96		-0.31		-0.01		
	c =		-0.07								
	Yo =						1.10				
	to =						16.00				
K =								1.30			
r =	0.512989	0.858395		0.499901		0.150486		0.007066			

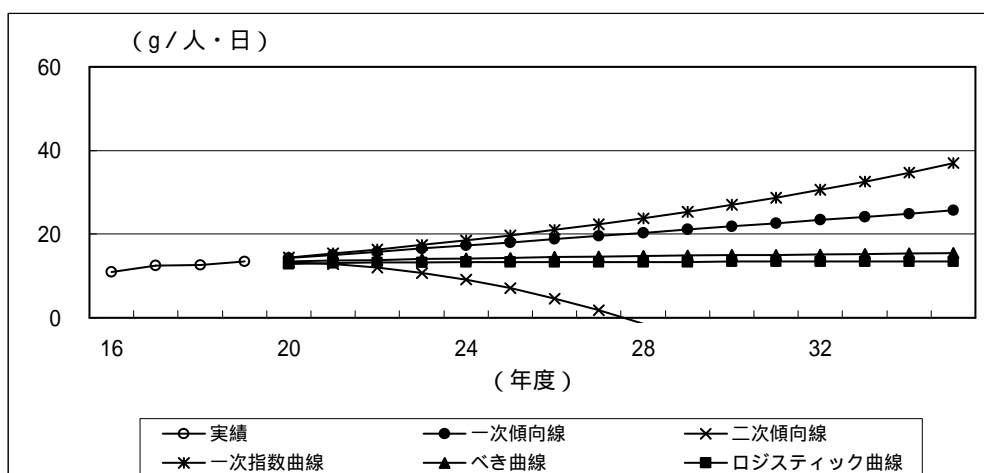


資料2 - 11

旧巢南地区 収集 プラスチック製容器包装

単位: g/人・日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値	
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 16		10.900	-	10.900	-	10.900	-	10.900	-	10.900	-	10.90
17	実 績	12.500	1.60	12.500	1.60	12.500	1.60	12.500	1.60	12.500	1.60	12.50
18		12.600	0.10	12.600	0.10	12.600	0.10	12.600	0.10	12.600	0.10	12.60
19		13.400	0.80	13.400	0.80	13.400	0.80	13.400	0.80	13.400	0.80	13.40
20		14.250	0.85	13.250	-0.15	14.407	1.01	13.441	0.04	12.894	-0.51	12.35
21	見 通 し	15.010	0.76	12.810	-0.44	15.340	0.93	13.660	0.22	13.039	0.15	
22		15.770	0.76	11.970	-0.84	16.333	0.99	13.854	0.19	13.143	0.10	
23		16.530	0.76	10.730	-1.24	17.391	1.06	14.028	0.17	13.218	0.07	
24		17.290	0.76	9.090	-1.64	18.517	1.13	14.188	0.16	13.271	0.05	
25		18.050	0.76	7.050	-2.04	19.716	1.20	14.335	0.15	13.309	0.04	
26		18.810	0.76	4.610	-2.44	20.993	1.28	14.472	0.14	13.336	0.03	
27		19.570	0.76	1.770	-2.84	22.352	1.36	14.601	0.13	13.355	0.02	
28		20.330	0.76	-1.470	-3.24	23.800	1.45	14.723	0.12	13.368	0.01	
29		21.090	0.76	-5.110	-3.64	25.341	1.54	14.838	0.11	13.377	0.01	
30		21.850	0.76	-9.150	-4.04	26.982	1.64	14.948	0.11	13.384	0.01	
31		22.610	0.76	-13.590	-4.44	28.729	1.75	15.054	0.11	13.389	0.00	
32		23.370	0.76	-18.430	-4.84	30.589	1.86	15.155	0.10	13.392	0.00	
33		24.130	0.76	-23.670	-5.24	32.570	1.98	15.252	0.10	13.394	0.00	
34		24.890	0.76	-29.310	-5.64	34.679	2.11	15.345	0.09	13.396	0.00	
35		25.650	0.76	-35.350	-6.04	36.925	2.25	15.435	0.09	13.397	0.00	
採 用												
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a - bt))			
	a =	-0.95	-61.95		4.11		1.52		3.75			
	b =	0.76	7.76		1.06		0.37		0.35			
	c =		-0.20									
	Yo =						10.90					
	to =						16.00					
	K =								13.40			
r =	0.936916	0.962519		0.930464		0.981240		0.890765				



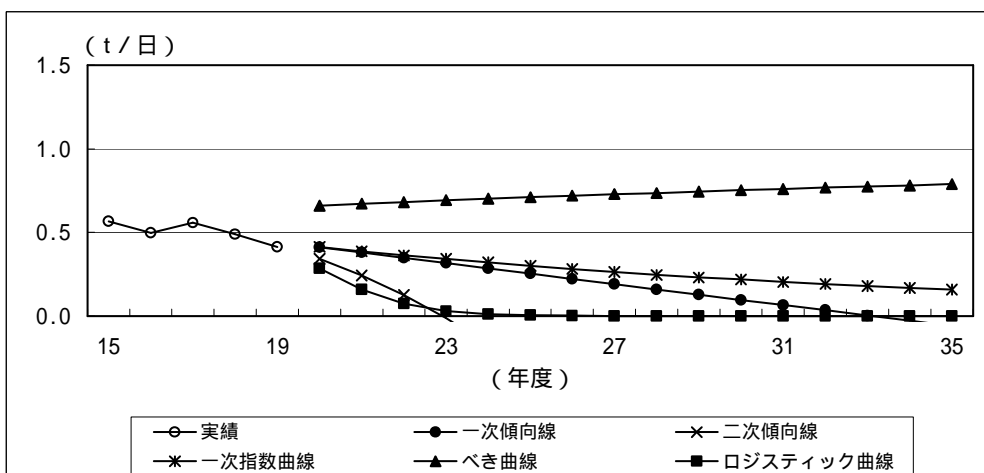
資料3 人口1人1日あたり直接搬入ごみ量の予測

資料3 - 1

直接搬入 可燃ごみ(家庭系)

単位: t/日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数	
平成 15	0.568	-	0.568	-	0.568	-	0.568	-	0.568	-	0.57
16	0.498	-0.07	0.498	-0.07	0.498	-0.07	0.498	-0.07	0.498	-0.07	0.50
17	0.557	0.06	0.557	0.06	0.557	0.06	0.557	0.06	0.557	0.06	0.56
18	0.490	-0.07	0.490	-0.07	0.490	-0.07	0.490	-0.07	0.490	-0.07	0.49
19	0.415	-0.08	0.415	-0.08	0.415	-0.08	0.415	-0.08	0.415	-0.08	0.42
20	0.411	-0.00	0.343	-0.07	0.414	-0.00	0.660	0.25	0.284	-0.13	0.51
21	0.380	-0.03	0.244	-0.10	0.388	-0.03	0.671	0.01	0.159	-0.13	0.51
22	0.349	-0.03	0.125	-0.12	0.364	-0.02	0.682	0.01	0.074	-0.09	0.51
23	0.317	-0.03	-0.013	-0.14	0.341	-0.02	0.692	0.01	0.031	-0.04	0.51
24	0.286	-0.03	-0.171	-0.16	0.320	-0.02	0.701	0.01	0.013	-0.02	0.51
25	0.254	-0.03	-0.348	-0.18	0.300	-0.02	0.710	0.01	0.005	-0.01	0.51
26	0.223	-0.03	-0.544	-0.20	0.281	-0.02	0.719	0.01	0.002	-0.00	0.51
27	0.192	-0.03	-0.760	-0.22	0.264	-0.02	0.728	0.01	0.001	-0.00	0.51
28	0.160	-0.03	-0.996	-0.24	0.247	-0.02	0.736	0.01	0.000	-0.00	0.51
29	0.129	-0.03	-1.251	-0.26	0.232	-0.02	0.744	0.01	0.000	0.00	0.51
30	0.097	-0.03	-1.525	-0.27	0.218	-0.01	0.752	0.01	0.000	0.00	0.51
31	0.066	-0.03	-1.819	-0.29	0.204	-0.01	0.760	0.01	0.000	0.00	0.51
32	0.035	-0.03	-2.132	-0.31	0.191	-0.01	0.767	0.01	0.000	0.00	0.51
33	0.003	-0.03	-2.464	-0.33	0.179	-0.01	0.774	0.01	0.000	0.00	0.51
34	-0.028	-0.03	-2.816	-0.35	0.168	-0.01	0.781	0.01	0.000	0.00	0.51
35	-0.060	-0.03	-3.188	-0.37	0.158	-0.01	0.788	0.01	0.000	0.00	0.51
採 用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0 + a(t-t_0)^b$		$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$		
	a =	1.04	-1.75		1.50		0.03		-18.89		
	b =	-0.03	0.30		0.94		0.63		-0.94		
	c =		-0.01								
	$Y_0 =$						0.57				
	$t_0 =$						15.00				
	K =								0.57		
r =	0.810502	0.861236		0.794614		-0.190545		0.877125			

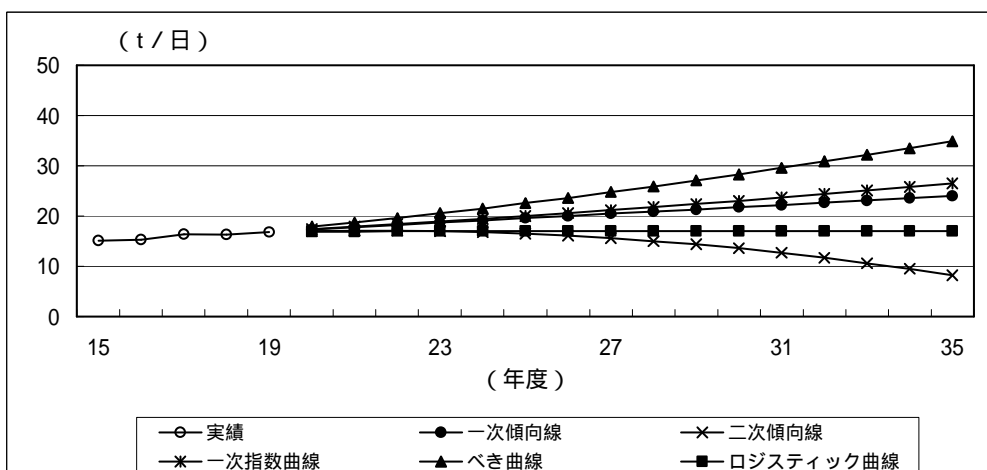


資料 3 - 2

直接搬入 可燃ごみ(事業系)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 15	15.066	-	15.066	-	15.066	-	15.066	-	15.066	-	15.07
16	15.299	0.23	15.299	0.23	15.299	0.23	15.299	0.23	15.299	0.23	15.30
17	16.397	1.10	16.397	1.10	16.397	1.10	16.397	1.10	16.397	1.10	16.40
18	16.318	-0.08	16.318	-0.08	16.318	-0.08	16.318	-0.08	16.318	-0.08	16.32
19	16.795	0.48	16.795	0.48	16.795	0.48	16.795	0.48	16.795	0.48	16.80
20	17.318	0.52	16.974	0.18	17.369	0.57	17.905	1.11	16.855	0.06	15.98
21	17.766	0.45	17.077	0.10	17.865	0.50	18.732	0.83	16.922	0.07	
22	18.213	0.45	17.082	0.00	18.375	0.51	19.617	0.89	16.961	0.04	
23	18.661	0.45	16.988	-0.09	18.901	0.53	20.555	0.94	16.983	0.02	
24	19.109	0.45	16.796	-0.19	19.441	0.54	21.541	0.99	16.995	0.01	
25	19.557	0.45	16.505	-0.29	19.996	0.56	22.572	1.03	17.003	0.01	
26	20.004	0.45	16.116	-0.39	20.568	0.57	23.645	1.07	17.007	0.00	
27	20.452	0.45	15.629	-0.49	21.155	0.59	24.759	1.11	17.009	0.00	
28	20.900	0.45	15.043	-0.59	21.760	0.61	25.911	1.15	17.011	0.00	
29	21.347	0.45	14.359	-0.68	22.382	0.62	27.099	1.19	17.012	0.00	
30	21.795	0.45	13.576	-0.78	23.021	0.64	28.321	1.22	17.012	0.00	
31	22.243	0.45	12.695	-0.88	23.679	0.66	29.577	1.26	17.012	0.00	
32	22.690	0.45	11.716	-0.98	24.356	0.68	30.865	1.29	17.012	0.00	
33	23.138	0.45	10.638	-1.08	25.052	0.70	32.184	1.32	17.012	0.00	
34	23.586	0.45	9.461	-1.18	25.768	0.72	33.533	1.35	17.013	0.00	
35	24.034	0.45	8.187	-1.27	26.504	0.74	34.910	1.38	17.013	0.00	
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	8.36	-5.76		9.89		0.30		6.46		
	b =	0.45	2.12		1.03		1.40		0.56		
	c =		-0.05								
	Yo =						15.07				
	to =						15.00				
	K =								17.01		
r =	0.943572	0.951350		0.941434		0.918390		0.938077			

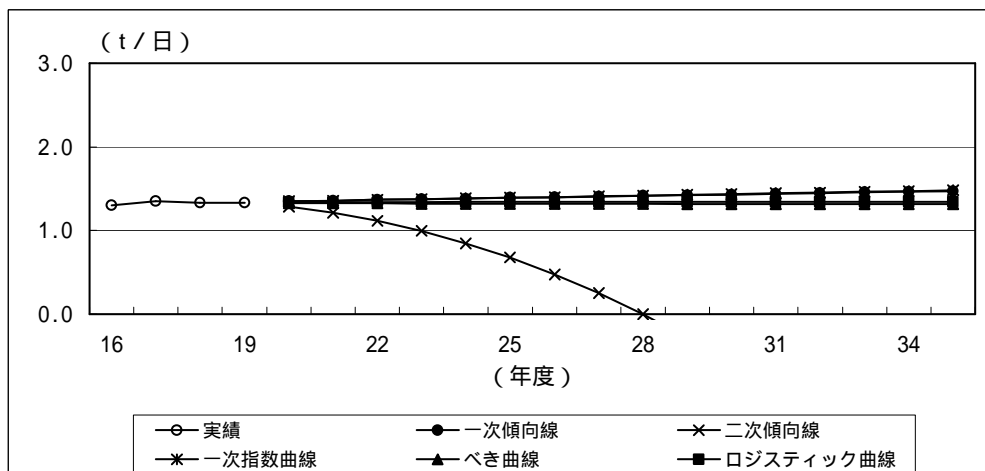


資料3 - 3

直接搬入 粗大ごみ(金属)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 16	1.300	-	1.300	-	1.300	-	1.300	-	1.300	-	1.30
17	1.349	0.05	1.349	0.05	1.349	0.05	1.349	0.05	1.349	0.05	1.35
18	1.335	-0.01	1.335	-0.01	1.335	-0.01	1.335	-0.01	1.335	-0.01	1.34
19	1.332	-0.00	1.332	-0.00	1.332	-0.00	1.332	-0.00	1.332	-0.00	1.33
20	1.350	0.02	1.285	-0.05	1.350	0.02	1.328	-0.00	1.340	0.01	1.33
21	1.358	0.01	1.215	-0.07	1.358	0.01	1.325	-0.00	1.341	0.00	
22	1.366	0.01	1.119	-0.10	1.367	0.01	1.324	-0.00	1.341	0.00	
23	1.374	0.01	0.997	-0.12	1.375	0.01	1.322	-0.00	1.341	0.00	
24	1.382	0.01	0.849	-0.15	1.384	0.01	1.321	-0.00	1.342	0.00	
25	1.391	0.01	0.676	-0.17	1.393	0.01	1.320	-0.00	1.342	0.00	
26	1.399	0.01	0.476	-0.20	1.401	0.01	1.319	-0.00	1.342	0.00	
27	1.407	0.01	0.250	-0.23	1.410	0.01	1.319	0.00	1.343	0.00	
28	1.415	0.01	-0.002	-0.25	1.419	0.01	1.318	-0.00	1.343	0.00	
29	1.423	0.01	-0.280	-0.28	1.428	0.01	1.317	-0.00	1.343	0.00	
30	1.431	0.01	-0.583	-0.30	1.437	0.01	1.317	0.00	1.344	0.00	
31	1.440	0.01	-0.913	-0.33	1.446	0.01	1.316	-0.00	1.344	0.00	
32	1.448	0.01	-1.269	-0.36	1.455	0.01	1.316	0.00	1.344	0.00	
33	1.456	0.01	-1.651	-0.38	1.464	0.01	1.316	0.00	1.344	0.00	
34	1.464	0.01	-2.059	-0.41	1.473	0.01	1.315	-0.00	1.345	0.00	
35	1.472	0.01	-2.492	-0.43	1.483	0.01	1.315	0.00	1.345	0.00	
採 用											
予 測 式	$Yt =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Yo + a(t-to)^b$		$K / (1 + EXP(a-bt))$		
	$a =$	1.19	-2.78		1.19		0.05		-4.08		
	$b =$	0.01	0.46		1.01		-0.40		0.04		
	$c =$		-0.01								
	$Yo =$						1.30				
	$to =$						16.00				
$K =$								1.35			
$r =$	0.511303		0.887122		0.535967		0.622625		0.044506		

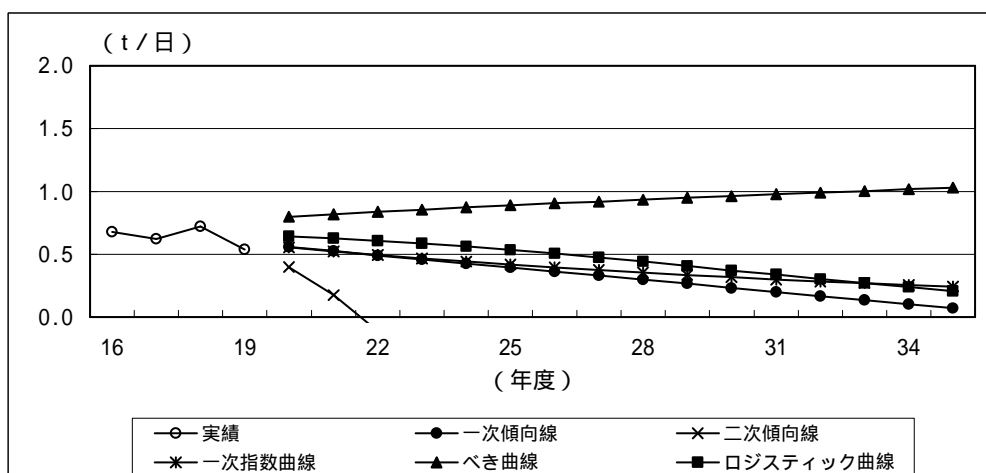


資料3 - 4

直接搬入 粗大ごみ(プラスチック)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 16	0.679	-	0.679	-	0.679	-	0.679	-	0.679	-	0.68
17	0.621	-0.06	0.621	-0.06	0.621	-0.06	0.621	-0.06	0.621	-0.06	0.62
18	0.722	0.10	0.722	0.10	0.722	0.10	0.722	0.10	0.722	0.10	0.72
19	0.537	-0.19	0.537	-0.19	0.537	-0.19	0.537	-0.19	0.537	-0.19	0.54
20	0.558	0.02	0.400	-0.14	0.554	0.02	0.800	0.26	0.641	0.10	0.64
21	0.526	-0.03	0.177	-0.22	0.524	-0.03	0.820	0.02	0.625	-0.02	0.64
22	0.493	-0.03	-0.110	-0.29	0.496	-0.03	0.839	0.02	0.607	-0.02	0.64
23	0.461	-0.03	-0.460	-0.35	0.469	-0.03	0.856	0.02	0.586	-0.02	0.64
24	0.428	-0.03	-0.873	-0.41	0.444	-0.03	0.873	0.02	0.562	-0.02	0.64
25	0.396	-0.03	-1.350	-0.48	0.420	-0.02	0.889	0.02	0.536	-0.03	0.64
26	0.363	-0.03	-1.891	-0.54	0.397	-0.02	0.905	0.02	0.507	-0.03	0.64
27	0.331	-0.03	-2.495	-0.60	0.376	-0.02	0.920	0.02	0.476	-0.03	0.64
28	0.298	-0.03	-3.162	-0.67	0.356	-0.02	0.935	0.02	0.443	-0.03	0.64
29	0.266	-0.03	-3.893	-0.73	0.337	-0.02	0.949	0.01	0.409	-0.03	0.64
30	0.233	-0.03	-4.688	-0.80	0.318	-0.02	0.963	0.01	0.373	-0.04	0.64
31	0.201	-0.03	-5.546	-0.86	0.301	-0.02	0.977	0.01	0.338	-0.04	0.64
32	0.168	-0.03	-6.467	-0.92	0.285	-0.02	0.990	0.01	0.303	-0.04	0.64
33	0.136	-0.03	-7.452	-0.99	0.270	-0.02	1.003	0.01	0.270	-0.03	0.64
34	0.103	-0.03	-8.501	-1.05	0.255	-0.02	1.016	0.01	0.238	-0.03	0.64
35	0.071	-0.03	-9.613	-1.11	0.242	-0.01	1.029	0.01	0.208	-0.03	0.64
採 用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$	$Y_0 + a(t-t_0)^b$	$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$					
	$a =$	1.21	-8.48	1.67	0.05	-5.85					
	$b =$	-0.03	1.08	0.95	0.68	-0.19					
	$c =$		-0.03								
	$Y_0 =$				0.68						
	$t_0 =$				16.00						
$K =$					0.73						
$r =$	0.528659	0.694536	0.516247	-0.173785	0.190322						

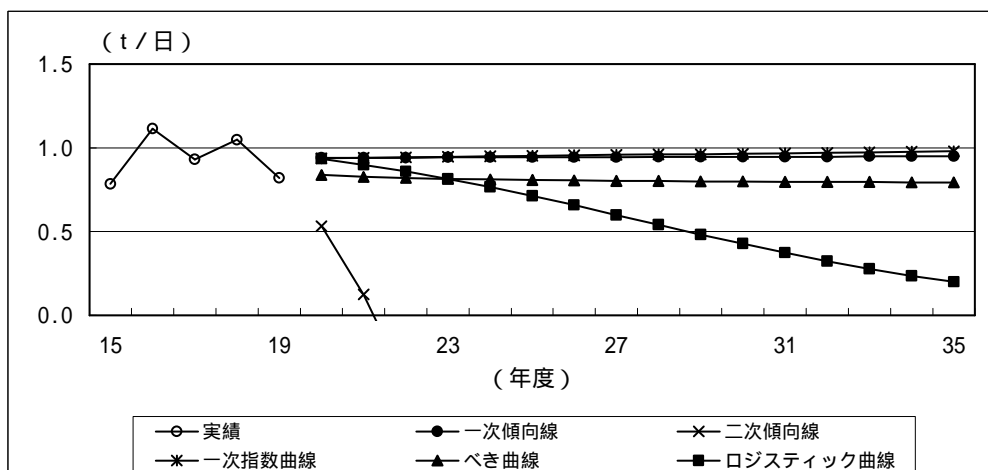


資料3 - 5

直接搬入 粗大ごみ(木くず)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 15	0.783	-	0.783	-	0.783	-	0.783	-	0.783	-	0.783
16	1.113	0.33	1.113	0.33	1.113	0.33	1.113	0.33	1.113	0.33	1.113
17	0.930	-0.18	0.930	-0.18	0.930	-0.18	0.930	-0.18	0.930	-0.18	0.930
18	1.047	0.12	1.047	0.12	1.047	0.12	1.047	0.12	1.047	0.12	1.047
19	0.819	-0.23	0.819	-0.23	0.819	-0.23	0.819	-0.23	0.819	-0.23	0.819
20	0.940	0.12	0.532	-0.29	0.938	0.12	0.838	0.02	0.933	0.11	0.938
21	0.941	0.00	0.125	-0.41	0.941	0.00	0.827	-0.01	0.898	-0.04	0.938
22	0.941	0.00	-0.399	-0.52	0.943	0.00	0.820	-0.01	0.858	-0.04	0.938
23	0.942	0.00	-1.040	-0.64	0.946	0.00	0.815	-0.01	0.814	-0.04	0.938
24	0.943	0.00	-1.797	-0.76	0.949	0.00	0.810	-0.00	0.766	-0.05	0.938
25	0.943	0.00	-2.671	-0.87	0.951	0.00	0.807	-0.00	0.713	-0.05	0.938
26	0.944	0.00	-3.661	-0.99	0.954	0.00	0.805	-0.00	0.658	-0.05	0.938
27	0.944	0.00	-4.768	-1.11	0.957	0.00	0.802	-0.00	0.600	-0.06	0.938
28	0.945	0.00	-5.991	-1.22	0.960	0.00	0.801	-0.00	0.542	-0.06	0.938
29	0.946	0.00	-7.331	-1.34	0.962	0.00	0.799	-0.00	0.483	-0.06	0.938
30	0.946	0.00	-8.788	-1.46	0.965	0.00	0.798	-0.00	0.427	-0.06	0.938
31	0.947	0.00	-10.361	-1.57	0.968	0.00	0.797	-0.00	0.373	-0.05	0.938
32	0.947	0.00	-12.050	-1.69	0.971	0.00	0.796	-0.00	0.323	-0.05	0.938
33	0.948	0.00	-13.857	-1.81	0.974	0.00	0.795	-0.00	0.277	-0.05	0.938
34	0.949	0.00	-15.779	-1.92	0.976	0.00	0.794	-0.00	0.236	-0.04	0.938
35	0.949	0.00	-17.819	-2.04	0.979	0.00	0.794	0.00	0.200	-0.04	0.938
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bi))		
	a =	0.93	-15.80		0.89		0.38		-5.79		
	b =	0.00	1.98		1.00		-1.20		-0.21		
	c =		-0.06								
	Yo =						0.78				
	to =						15.00				
	K =								1.12		
r =	0.038888	0.766789		0.004723		0.763235		0.025241			

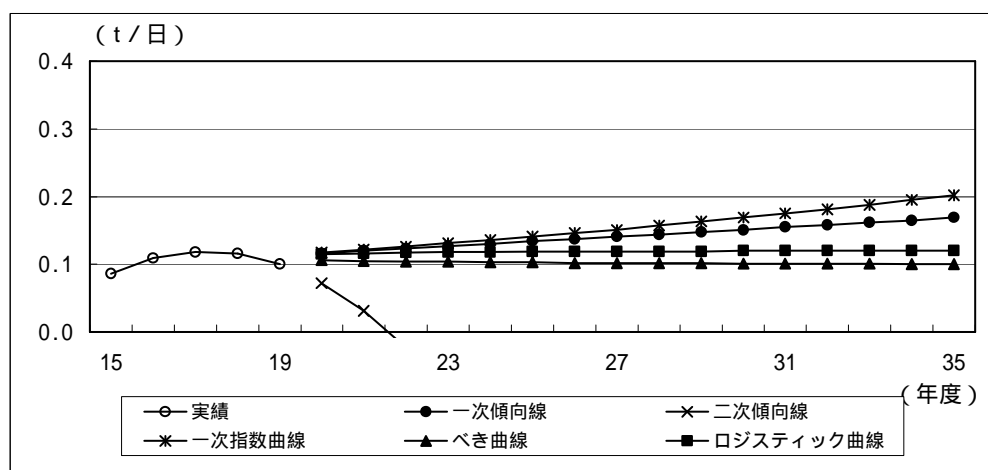


資料 3 - 6

直接搬入 粗大ごみ(陶磁器・ガラス)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 15	0.086	-	0.086	-	0.086	-	0.086	-	0.086	-	0.086
16	0.109	0.02	0.109	0.02	0.109	0.02	0.109	0.02	0.109	0.02	0.109
17	0.118	0.01	0.118	0.01	0.118	0.01	0.118	0.01	0.118	0.01	0.118
18	0.116	-0.00	0.116	-0.00	0.116	-0.00	0.116	-0.00	0.116	-0.00	0.116
19	0.100	-0.02	0.100	-0.02	0.100	-0.02	0.100	-0.02	0.100	-0.02	0.100
20	0.116	0.02	0.072	-0.03	0.117	0.02	0.106	0.01	0.115	0.02	0.106
21	0.120	0.00	0.031	-0.04	0.122	0.00	0.105	-0.00	0.116	0.00	
22	0.123	0.00	-0.023	-0.05	0.126	0.00	0.104	-0.00	0.117	0.00	
23	0.127	0.00	-0.089	-0.07	0.131	0.01	0.104	0.00	0.118	0.00	
24	0.130	0.00	-0.168	-0.08	0.136	0.01	0.103	-0.00	0.118	0.00	
25	0.134	0.00	-0.260	-0.09	0.141	0.00	0.103	0.00	0.119	0.00	
26	0.137	0.00	-0.365	-0.11	0.146	0.01	0.102	-0.00	0.119	0.00	
27	0.141	0.00	-0.482	-0.12	0.151	0.01	0.102	0.00	0.119	0.00	
28	0.144	0.00	-0.612	-0.13	0.157	0.01	0.102	0.00	0.119	0.00	
29	0.148	0.00	-0.755	-0.14	0.163	0.01	0.102	0.00	0.119	0.00	
30	0.151	0.00	-0.910	-0.16	0.169	0.01	0.101	-0.00	0.120	0.00	
31	0.155	0.00	-1.078	-0.17	0.175	0.01	0.101	0.00	0.120	0.00	
32	0.158	0.00	-1.259	-0.18	0.181	0.01	0.101	0.00	0.120	0.00	
33	0.162	0.00	-1.453	-0.19	0.188	0.01	0.101	0.00	0.120	0.00	
34	0.165	0.00	-1.659	-0.21	0.195	0.01	0.100	-0.00	0.120	0.00	
35	0.169	0.00	-1.878	-0.22	0.202	0.01	0.100	0.00	0.120	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a - bt))		
	a =	0.05	-1.78		0.06		0.03		1.69		
	b =	0.00	0.22		1.04		-0.23		0.24		
	c =		-0.01								
	Yo =						0.09				
	to =						15.00				
	K =								0.12		
r =	0.398165	0.999451		0.378260		0.274002		0.330598			

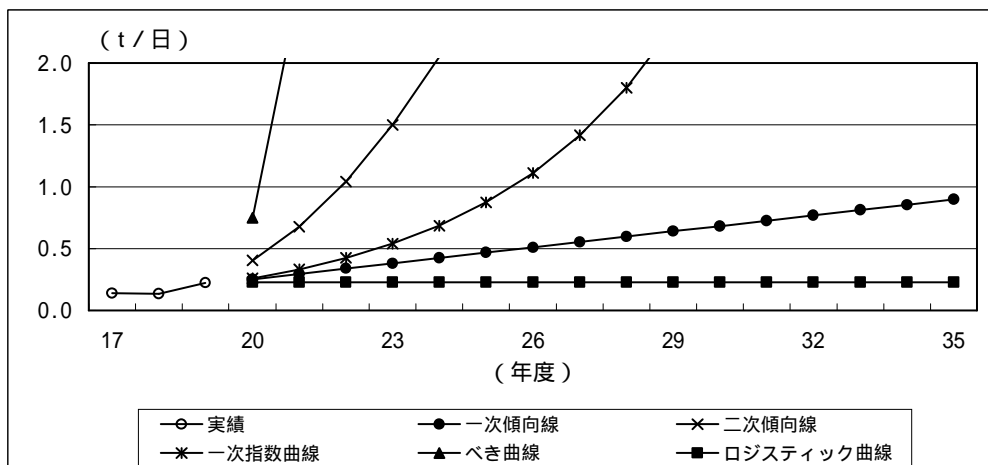


資料3 - 7

直接搬入 粗大ごみ(ガラ)

単位: t/日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 17	0.139	-	0.139	-	0.139	-	0.139	-	0.139	-	0.139
18 續	0.136	-0.00	0.136	-0.00	0.136	-0.00	0.136	-0.00	0.136	-0.00	0.136
19	0.225	0.09	0.225	0.09	0.225	0.09	0.225	0.09	0.225	0.09	0.225
20	0.253	0.03	0.406	0.18	0.262	0.04	0.751	0.53	0.228	0.00	0.167
21	0.296	0.04	0.679	0.27	0.334	0.07	2.604	1.85	0.230	0.00	
22	0.339	0.04	1.044	0.37	0.425	0.09	7.401	4.80	0.230	0.00	
23 見	0.382	0.04	1.501	0.46	0.540	0.12	17.693	10.29	0.230	0.00	
24	0.425	0.04	2.050	0.55	0.687	0.15	37.164	19.47	0.230	0.00	
25	0.468	0.04	2.691	0.64	0.874	0.19	70.812	33.65	0.230	0.00	
26	0.511	0.04	3.424	0.73	1.112	0.24	125.135	54.32	0.230	0.00	
27	0.554	0.04	4.249	0.83	1.415	0.30	208.312	83.18	0.230	0.00	
28 通	0.597	0.04	5.166	0.92	1.801	0.39	330.370	122.06	0.230	0.00	
29	0.640	0.04	6.175	1.01	2.291	0.49	503.366	173.00	0.230	0.00	
30	0.683	0.04	7.276	1.10	2.915	0.62	741.548	238.18	0.230	0.00	
31	0.726	0.04	8.469	1.19	3.708	0.79	1061.525	319.98	0.230	0.00	
32	0.769	0.04	9.754	1.29	4.718	1.01	1482.434	420.91	0.230	0.00	
33 し	0.812	0.04	11.131	1.38	6.003	1.29	2026.095	543.66	0.230	0.00	
34	0.855	0.04	12.600	1.47	7.637	1.63	2717.181	691.09	0.230	0.00	
35	0.898	0.04	14.161	1.56	9.716	2.08	3583.370	866.19	0.230	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	-0.61	14.27		0.00		0.00		28.91		
	b =	0.04	-1.61		1.27		4.84		1.69		
	c =		0.05								
	Yo =						0.14				
	to =						17.00				
	K =								0.23		
r =	0.850804	0.999967		0.881772		0.997303		0.690211			

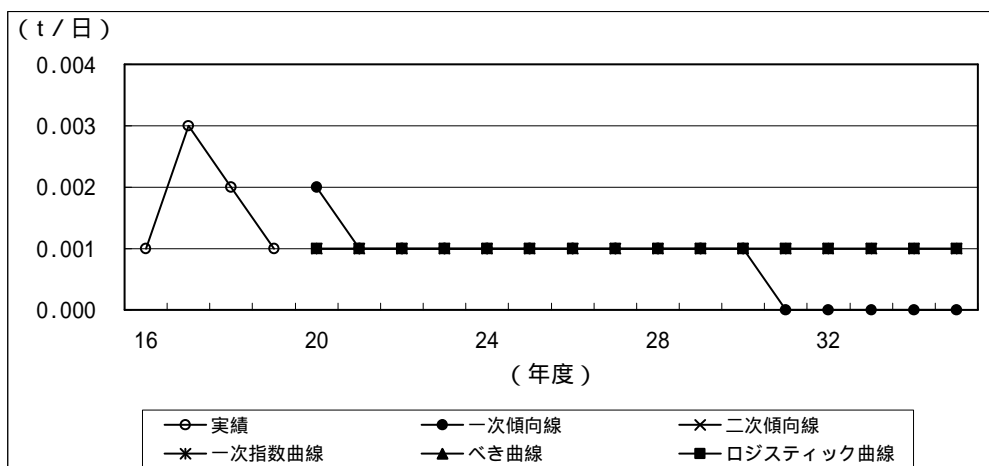


資料 3 - 8

直接搬入 粗大ごみ(ライター)

単位: t/日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 16	0.001	-	0.001	-	0.001	-	0.001	-	0.001	-	0.001
17	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003
18	0.002	-0.001	0.002	-0.001	0.002	-0.001	0.002	-0.001	0.002	-0.001	0.002
19	0.001	-0.001	0.001	-0.001	0.001	-0.001	0.001	-0.001	0.001	-0.001	0.001
20	0.002	0.001	-0.002	-0.003	0.001	0.000	0.622	0.621	0.001	0.000	0.002
21	0.001	-0.001	-0.007	-0.005	0.001	0.000	1.871	1.249	0.001	0.000	
22	0.001	0.000	-0.013	-0.006	0.001	0.000	4.604	2.733	0.001	0.000	
23	0.001	0.000	-0.021	-0.008	0.001	0.000	9.858	5.254	0.001	0.000	
24	0.001	0.000	-0.030	-0.009	0.001	0.000	19.066	9.208	0.001	0.000	
25	0.001	0.000	-0.040	-0.010	0.001	0.000	34.114	15.048	0.001	0.000	
26	0.001	0.000	-0.052	-0.012	0.001	0.000	57.408	23.294	0.001	0.000	
27	0.001	0.000	-0.066	-0.014	0.001	0.000	91.927	34.519	0.001	0.000	
28	0.001	0.000	-0.081	-0.015	0.001	0.000	141.292	49.365	0.001	0.000	
29	0.001	0.000	-0.098	-0.017	0.001	0.000	209.816	68.524	0.001	0.000	
30	0.001	0.000	-0.116	-0.018	0.001	0.000	302.573	92.757	0.001	0.000	
31	0.000	-0.001	-0.135	-0.019	0.001	0.000	425.448	122.875	0.001	0.000	
32	0.000	0.000	-0.156	-0.021	0.001	0.000	585.204	159.756	0.001	0.000	
33	0.000	0.000	-0.179	-0.023	0.001	0.000	789.535	204.331	0.001	0.000	
34	0.000	0.000	-0.203	-0.024	0.001	0.000	1047.126	257.591	0.001	0.000	
35	0.000	0.000	-0.229	-0.026	0.001	0.000	1367.711	320.585	0.001	0.000	
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt		a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a - bt))	
	a =	0.00		-0.23		0.00		0.00		0.71	
	b =	0.00		0.03		0.96		4.94		-0.05	
	c =			-0.00							
	Yo =							0.00			
	to =							16.00			
K =									0.01		
r =	0.000000		0.957427		0.452267		-0.426544		0.452267		

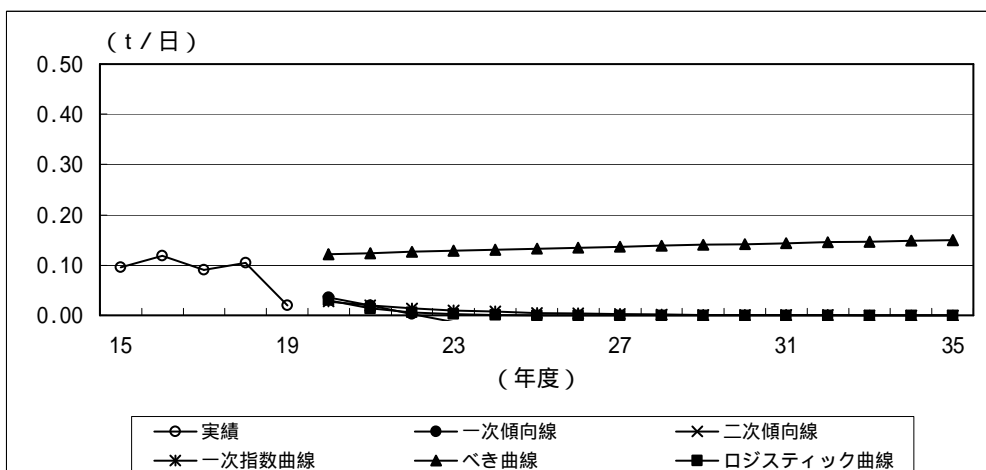


資料3 - 9

直接搬入 粗大ごみ(家電)

単位: t/日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 15	0.096	-	0.096	-	0.096	-	0.096	-	0.096	-	0.10
16	0.119	0.02	0.119	0.02	0.119	0.02	0.119	0.02	0.119	0.02	0.12
17	0.091	-0.03	0.091	-0.03	0.091	-0.03	0.091	-0.03	0.091	-0.03	0.09
18	0.105	0.01	0.105	0.01	0.105	0.01	0.105	0.01	0.105	0.01	0.11
19	0.020	-0.09	0.020	-0.09	0.020	-0.09	0.020	-0.09	0.020	-0.09	0.02
20	0.036	0.02	-0.051	-0.07	0.028	0.01	0.122	0.10	0.030	0.01	0.09
21	0.020	-0.02	-0.154	-0.10	0.020	-0.01	0.124	0.00	0.014	-0.02	
22	0.003	-0.02	-0.283	-0.13	0.014	-0.01	0.127	0.00	0.006	-0.01	
23	-0.013	-0.02	-0.436	-0.15	0.010	-0.00	0.129	0.00	0.003	-0.00	
24	-0.030	-0.02	-0.614	-0.18	0.008	-0.00	0.131	0.00	0.001	-0.00	
25	-0.047	-0.02	-0.817	-0.20	0.005	-0.00	0.133	0.00	0.000	-0.00	
26	-0.063	-0.02	-1.045	-0.23	0.004	-0.00	0.135	0.00	0.000	0.00	
27	-0.080	-0.02	-1.298	-0.25	0.003	-0.00	0.137	0.00	0.000	0.00	
28	-0.096	-0.02	-1.575	-0.28	0.002	-0.00	0.139	0.00	0.000	0.00	
29	-0.113	-0.02	-1.878	-0.30	0.001	-0.00	0.141	0.00	0.000	0.00	
30	-0.130	-0.02	-2.205	-0.33	0.001	0.00	0.142	0.00	0.000	0.00	
31	-0.146	-0.02	-2.557	-0.35	0.001	0.00	0.144	0.00	0.000	0.00	
32	-0.163	-0.02	-2.934	-0.38	0.001	0.00	0.146	0.00	0.000	0.00	
33	-0.179	-0.02	-3.336	-0.40	0.000	-0.00	0.147	0.00	0.000	0.00	
34	-0.196	-0.02	-3.763	-0.43	0.000	0.00	0.149	0.00	0.000	0.00	
35	-0.213	-0.02	-4.215	-0.45	0.000	0.00	0.150	0.00	0.000	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bi))		
	a =	0.37	-3.20		18.90		0.01		-16.53		
	b =	-0.02	0.41		0.72		0.53		-0.88		
	c =		-0.01								
	Yo =						0.10				
	to =						15.00				
	K =								0.12		
r =	0.688017	0.910880		0.557052		-0.163821		0.788322			

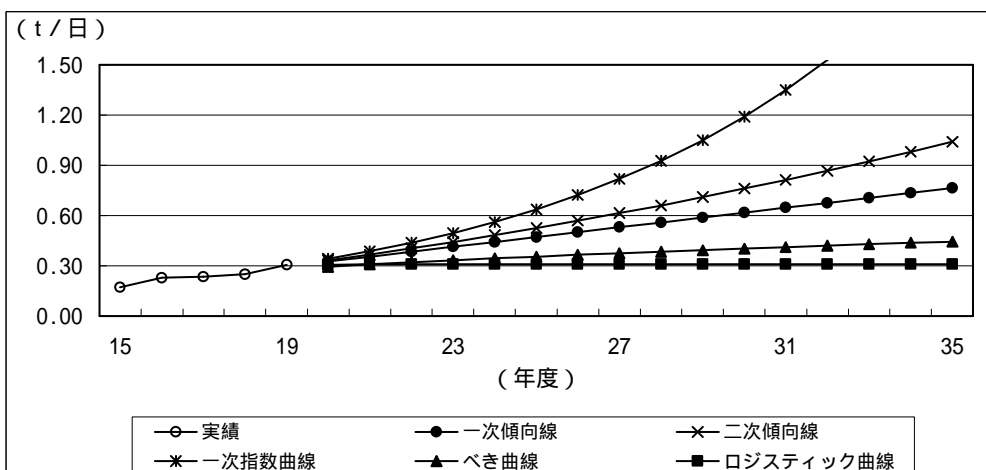


資料 3 - 10

直接搬入 粗大ごみ(ふとん・カーペット)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線 増減数		二次傾向線 増減数		一次指数曲線 増減数		べき曲線 増減数		ロジスティック曲線 増減数		実績の 平均値
平成 15	0.172	-	0.172	-	0.172	-	0.172	-	0.172	-	0.17
16	0.227	0.06	0.227	0.06	0.227	0.06	0.227	0.06	0.227	0.06	0.23
17	0.235	0.01	0.235	0.01	0.235	0.01	0.235	0.01	0.235	0.01	0.24
18	0.249	0.01	0.249	0.01	0.249	0.01	0.249	0.01	0.249	0.01	0.25
19	0.307	0.06	0.307	0.06	0.307	0.06	0.307	0.06	0.307	0.06	0.31
20	0.326	0.02	0.332	0.03	0.341	0.03	0.295	-0.01	0.306	-0.00	0.24
21	0.355	0.03	0.367	0.04	0.386	0.05	0.309	0.01	0.309	0.00	
22	0.384	0.03	0.404	0.04	0.437	0.05	0.322	0.01	0.309	0.00	
23	0.413	0.03	0.442	0.04	0.496	0.06	0.334	0.01	0.310	0.00	
24	0.442	0.03	0.483	0.04	0.562	0.07	0.345	0.01	0.310	0.00	
25	0.472	0.03	0.525	0.04	0.637	0.08	0.355	0.01	0.310	0.00	
26	0.501	0.03	0.569	0.04	0.722	0.09	0.366	0.01	0.310	0.00	
27	0.530	0.03	0.614	0.05	0.818	0.10	0.376	0.01	0.310	0.00	
28	0.559	0.03	0.661	0.05	0.927	0.11	0.385	0.01	0.310	0.00	
29	0.588	0.03	0.710	0.05	1.050	0.12	0.394	0.01	0.310	0.00	
30	0.618	0.03	0.761	0.05	1.190	0.14	0.403	0.01	0.310	0.00	
31	0.647	0.03	0.813	0.05	1.349	0.16	0.412	0.01	0.310	0.00	
32	0.676	0.03	0.867	0.05	1.529	0.18	0.421	0.01	0.310	0.00	
33	0.705	0.03	0.923	0.06	1.732	0.20	0.429	0.01	0.310	0.00	
34	0.734	0.03	0.980	0.06	1.963	0.23	0.437	0.01	0.310	0.00	
35	0.764	0.03	1.040	0.06	2.225	0.26	0.445	0.01	0.310	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	-0.26	-0.01		0.03		0.05		13.99		
	b =	0.03	0.00		1.13		0.57		0.92		
	c =		0.00								
	Yo =						0.17				
	to =						15.00				
	K =								0.31		
r =	0.954024	0.955623	0.954631		0.945450		0.945450		0.907883		

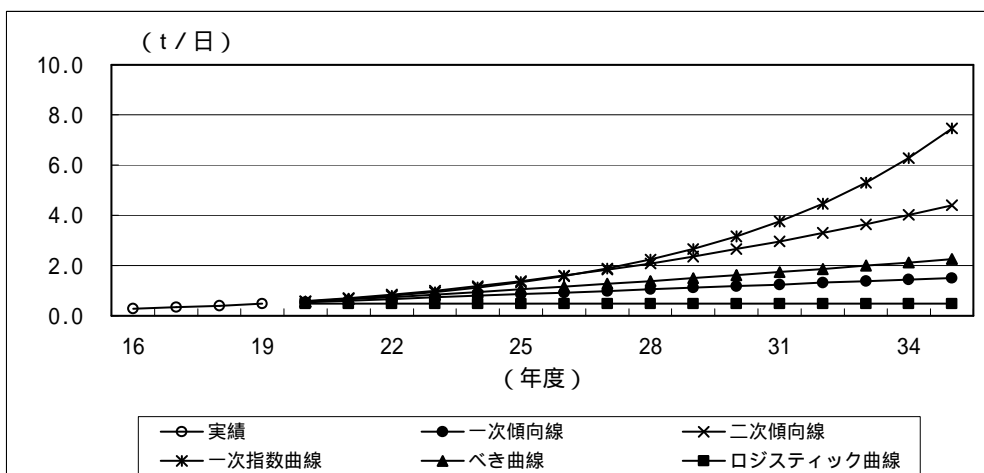


資料3 - 11

回収機 飲料用ペットボトル

単位：t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 16	0.288	-	0.288	-	0.288	-	0.288	-	0.288	-	0.288
17	0.336	0.05	0.336	0.05	0.336	0.05	0.336	0.05	0.336	0.05	0.336
18	0.397	0.06	0.397	0.06	0.397	0.06	0.397	0.06	0.397	0.06	0.397
19	0.483	0.09	0.483	0.09	0.483	0.09	0.483	0.09	0.483	0.09	0.483
20	0.538	0.06	0.585	0.10	0.567	0.08	0.561	0.08	0.486	0.00	0.376
21	0.602	0.06	0.707	0.12	0.673	0.11	0.651	0.09	0.489	0.00	
22	0.667	0.07	0.847	0.14	0.800	0.13	0.745	0.09	0.490	0.00	
23	0.731	0.06	1.007	0.16	0.949	0.15	0.843	0.10	0.490	0.00	
24	0.796	0.07	1.185	0.18	1.127	0.18	0.945	0.10	0.490	0.00	
25	0.861	0.06	1.383	0.20	1.339	0.21	1.051	0.11	0.490	0.00	
26	0.925	0.06	1.600	0.22	1.590	0.25	1.160	0.11	0.490	0.00	
27	0.990	0.06	1.835	0.24	1.888	0.30	1.272	0.11	0.490	0.00	
28	1.054	0.06	2.090	0.26	2.241	0.35	1.386	0.11	0.490	0.00	
29	1.119	0.06	2.363	0.27	2.662	0.42	1.504	0.12	0.490	0.00	
30	1.184	0.06	2.656	0.29	3.161	0.50	1.623	0.12	0.490	0.00	
31	1.248	0.06	2.968	0.31	3.753	0.59	1.745	0.12	0.490	0.00	
32	1.313	0.06	3.298	0.33	4.456	0.70	1.869	0.12	0.490	0.00	
33	1.377	0.06	3.648	0.35	5.292	0.84	1.995	0.13	0.490	0.00	
34	1.442	0.06	4.016	0.37	6.284	0.99	2.123	0.13	0.490	0.00	
35	1.507	0.06	4.404	0.39	7.461	1.18	2.253	0.13	0.490	0.00	
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²	a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a - b!))			
	a =	-0.75	2.14	0.02		0.05		19.84			
	b =	0.06	-0.27	1.19		1.27		1.23			
	c =		0.01			0.29					
	Yo =					16.00					
	to =							0.49			
r =	0.991344	0.999769	0.998452		0.998930		0.913099				

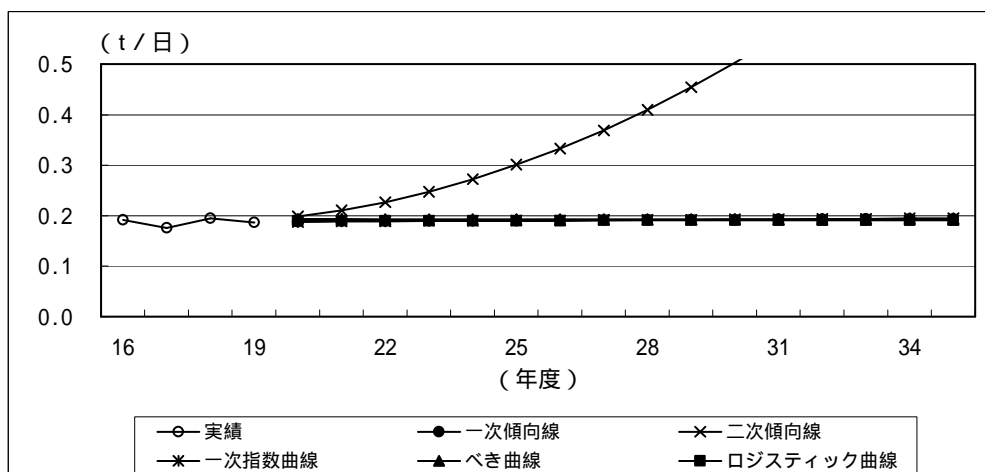


資料3 - 12

回収機 飲料用空きカン(スチール)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 16	0.192	-	0.192	-	0.192	-	0.192	-	0.192	-	0.192
17	0.176	-0.02	0.176	-0.02	0.176	-0.02	0.176	-0.02	0.176	-0.02	0.176
18	0.195	0.02	0.195	0.02	0.195	0.02	0.195	0.02	0.195	0.02	0.195
19	0.187	-0.01	0.187	-0.01	0.187	-0.01	0.187	-0.01	0.187	-0.01	0.187
20	0.188	0.00	0.199	0.01	0.188	0.00	0.194	0.01	0.190	0.00	0.188
21	0.189	0.00	0.211	0.01	0.189	0.00	0.194	0.00	0.190	0.00	
22	0.189	0.00	0.227	0.02	0.189	0.00	0.193	-0.00	0.190	0.00	
23	0.190	0.00	0.248	0.02	0.190	0.00	0.193	0.00	0.190	0.00	
24	0.190	0.00	0.272	0.02	0.190	0.00	0.193	0.00	0.190	0.00	
25	0.190	0.00	0.301	0.03	0.191	0.00	0.193	0.00	0.190	0.00	
26	0.191	0.00	0.333	0.03	0.191	0.00	0.193	0.00	0.190	0.00	
27	0.191	0.00	0.369	0.04	0.192	0.00	0.193	0.00	0.191	0.00	
28	0.192	0.00	0.410	0.04	0.192	0.00	0.193	0.00	0.191	0.00	
29	0.192	0.00	0.454	0.04	0.192	0.00	0.193	0.00	0.191	0.00	
30	0.192	0.00	0.503	0.05	0.193	0.00	0.193	0.00	0.191	0.00	
31	0.193	0.00	0.555	0.05	0.193	0.00	0.192	-0.00	0.191	0.00	
32	0.193	0.00	0.611	0.06	0.194	0.00	0.192	0.00	0.191	0.00	
33	0.194	0.00	0.672	0.06	0.194	0.00	0.192	0.00	0.191	0.00	
34	0.194	0.00	0.736	0.06	0.195	0.00	0.192	0.00	0.191	0.00	
35	0.194	0.00	0.805	0.07	0.195	0.00	0.192	0.00	0.191	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²	a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a - b!))			
	a =	0.18	0.79	0.18		0.01		-2.64			
	b =	0.00	-0.07	1.00		-1.20		0.01			
	c =		0.00								
	Yo =					0.19					
	to =					16.00					
K =							0.20				
r =	0.484200	0.385860	0.484200		-0.278190		-0.009592				

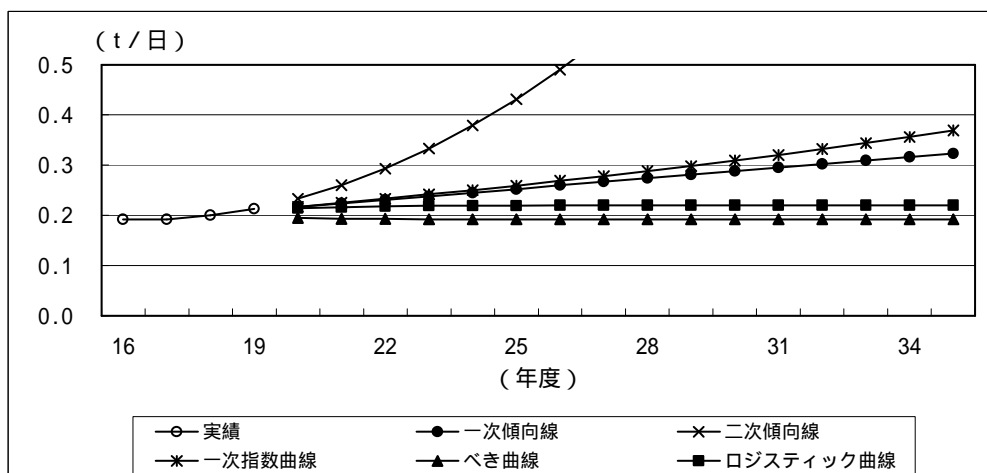


資料3 - 13

回収機 飲料用空き缶(アルミ)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 16	0.192	-	0.192	-	0.192	-	0.192	-	0.192	-	0.192
17	0.192	0.00	0.192	0.00	0.192	0.00	0.192	0.00	0.192	0.00	0.192
18	0.200	0.01	0.200	0.01	0.200	0.01	0.200	0.01	0.200	0.01	0.200
19	0.213	0.01	0.213	0.01	0.213	0.01	0.213	0.01	0.213	0.01	0.213
20	0.217	0.00	0.233	0.02	0.217	0.00	0.195	-0.02	0.214	0.00	0.199
21	0.224	0.01	0.260	0.03	0.225	0.01	0.193	-0.00	0.216	0.00	
22	0.231	0.01	0.293	0.03	0.233	0.01	0.193	0.00	0.218	0.00	
23	0.238	0.01	0.333	0.04	0.242	0.01	0.192	-0.00	0.219	0.00	
24	0.245	0.01	0.379	0.05	0.250	0.01	0.192	0.00	0.219	0.00	
25	0.252	0.01	0.431	0.05	0.259	0.01	0.192	0.00	0.219	0.00	
26	0.260	0.01	0.490	0.06	0.269	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
27	0.267	0.01	0.556	0.07	0.278	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
28	0.274	0.01	0.628	0.07	0.288	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
29	0.281	0.01	0.707	0.08	0.298	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
30	0.288	0.01	0.792	0.09	0.309	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
31	0.295	0.01	0.883	0.09	0.320	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
32	0.302	0.01	0.981	0.10	0.332	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
33	0.309	0.01	1.086	0.11	0.344	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
34	0.316	0.01	1.197	0.11	0.356	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
35	0.323	0.01	1.315	0.12	0.369	0.01	0.192	0.00	0.220	0.00	
採 用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$	$a \cdot b^t$		$Yo + a(t-to)^b$		$K / (1 + EXP(a-bt))$			
	a =	0.08	1.07	0.11		0.56		6.09			
	b =	0.01	-0.11	1.04		-3.89		0.48			
	c =		0.00								
	Yo =					0.19					
	to =					16.00					
	K =							0.22			
r =	0.924733	0.999576	0.924733		-0.418920		0.854200				

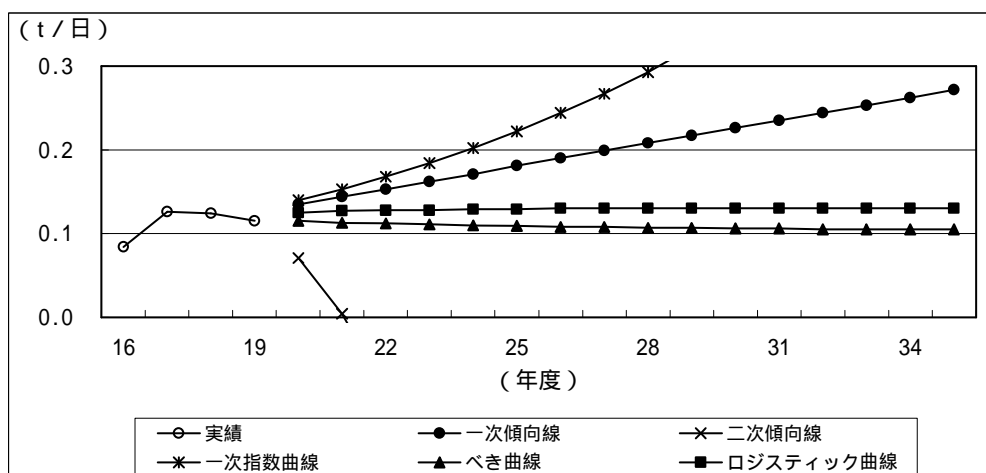


資料3 - 14

直接搬入 古紙類(ダンボール)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 16	0.084	-	0.084	-	0.084	-	0.084	-	0.084	-	0.08
17	0.126	0.04	0.126	0.04	0.126	0.04	0.126	0.04	0.126	0.04	0.13
18	0.124	-0.00	0.124	-0.00	0.124	-0.00	0.124	-0.00	0.124	-0.00	0.12
19	0.115	-0.01	0.115	-0.01	0.115	-0.01	0.115	-0.01	0.115	-0.01	0.12
20	0.135	0.02	0.071	-0.04	0.140	0.03	0.115	0.00	0.125	0.01	0.11
21	0.144	0.01	0.004	-0.07	0.153	0.01	0.113	-0.00	0.127	0.00	
22	0.153	0.01	-0.089	-0.09	0.168	0.02	0.112	-0.00	0.128	0.00	
23	0.162	0.01	-0.207	-0.12	0.184	0.02	0.111	-0.00	0.128	0.00	
24	0.171	0.01	-0.351	-0.14	0.202	0.02	0.110	-0.00	0.129	0.00	
25	0.181	0.01	-0.521	-0.17	0.222	0.02	0.109	-0.00	0.129	0.00	
26	0.190	0.01	-0.716	-0.20	0.244	0.02	0.108	-0.00	0.130	0.00	
27	0.199	0.01	-0.936	-0.22	0.267	0.02	0.108	0.00	0.130	0.00	
28	0.208	0.01	-1.182	-0.25	0.293	0.03	0.107	-0.00	0.130	0.00	
29	0.217	0.01	-1.453	-0.27	0.322	0.03	0.107	0.00	0.130	0.00	
30	0.226	0.01	-1.750	-0.30	0.353	0.03	0.106	-0.00	0.130	0.00	
31	0.235	0.01	-2.073	-0.32	0.387	0.03	0.106	0.00	0.130	0.00	
32	0.244	0.01	-2.421	-0.35	0.425	0.04	0.105	-0.00	0.130	0.00	
33	0.253	0.01	-2.794	-0.37	0.466	0.04	0.105	0.00	0.130	0.00	
34	0.262	0.01	-3.193	-0.40	0.511	0.05	0.105	0.00	0.130	0.00	
35	0.272	0.01	-3.617	-0.42	0.561	0.05	0.105	0.00	0.130	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²	a · b ^t	Yo + a(t-to) ^b	K / (1 + EXP(a - bt))					
	a =	-0.05	-3.94	0.02	0.04	4.52					
	b =	0.01	0.46	1.10	-0.25	0.39					
	c =		-0.01								
	Yo =					0.08					
	to =					16.00					
	K =						0.13				
r =	0.604588	0.963944	0.586914	0.292942	0.514990						

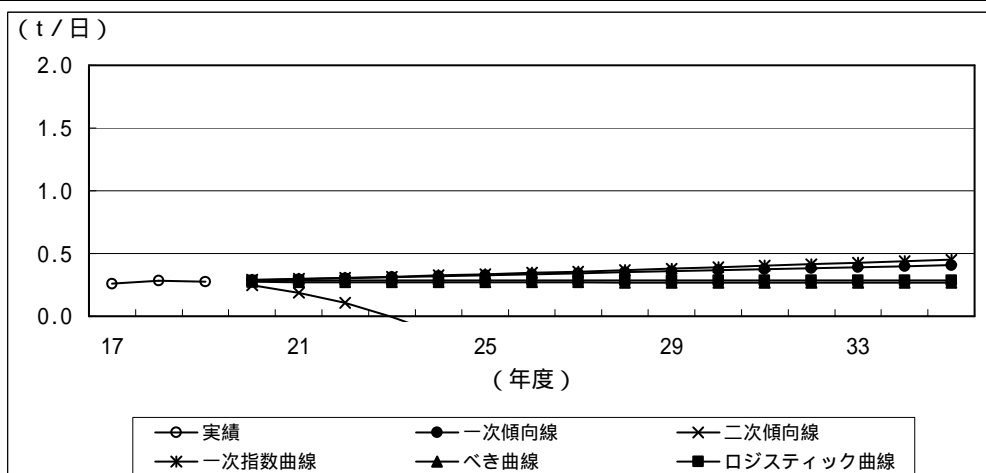


資料3 - 15

直接搬入 古紙類(新聞紙)

単位: t / 日

年 度	t	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
平成	17	0.262	-	0.262	-	0.262	-	0.262	-	0.262	-	0.262
	18	0.283	0.02	0.283	0.02	0.283	0.02	0.283	0.02	0.283	0.02	0.283
	19	0.278	-0.00	0.278	-0.00	0.278	-0.00	0.278	-0.00	0.278	-0.00	0.278
見 通 し	20	0.290	0.01	0.247	-0.03	0.291	0.01	0.276	-0.00	0.284	0.01	0.274
	21	0.298	0.01	0.190	-0.06	0.300	0.01	0.274	-0.00	0.286	0.00	0.274
	22	0.306	0.01	0.107	-0.08	0.309	0.01	0.273	-0.00	0.288	0.00	0.274
	23	0.314	0.01	-0.002	-0.11	0.318	0.01	0.272	-0.00	0.289	0.00	0.274
	24	0.322	0.01	-0.137	-0.14	0.328	0.01	0.272	0.00	0.289	0.00	0.274
	25	0.330	0.01	-0.298	-0.16	0.337	0.01	0.271	-0.00	0.289	0.00	0.274
	26	0.338	0.01	-0.485	-0.19	0.348	0.01	0.271	0.00	0.290	0.00	0.274
	27	0.346	0.01	-0.698	-0.21	0.358	0.01	0.271	0.00	0.290	0.00	0.274
	28	0.354	0.01	-0.937	-0.24	0.369	0.01	0.270	-0.00	0.290	0.00	0.274
	29	0.362	0.01	-1.202	-0.27	0.380	0.01	0.270	0.00	0.290	0.00	0.274
	30	0.370	0.01	-1.493	-0.29	0.391	0.01	0.270	0.00	0.290	0.00	0.274
	31	0.378	0.01	-1.810	-0.32	0.403	0.01	0.269	-0.00	0.290	0.00	0.274
	32	0.386	0.01	-2.153	-0.34	0.415	0.01	0.269	0.00	0.290	0.00	0.274
	33	0.394	0.01	-2.522	-0.37	0.428	0.01	0.269	0.00	0.290	0.00	0.274
	34	0.402	0.01	-2.917	-0.40	0.441	0.01	0.269	0.00	0.290	0.00	0.274
	35	0.410	0.01	-3.338	-0.42	0.454	0.01	0.269	0.00	0.290	0.00	0.274
	採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a - bt))			
	a =	0.13	-4.07		0.16		0.02		5.13			
	b =	0.01	0.48		1.03		-0.39		0.45			
	c =		-0.01									
	Yo =						0.26					
	to =						17.00					
K =								0.29				
r =		0.729285	0.999308		0.729285		0.262769		0.801882			

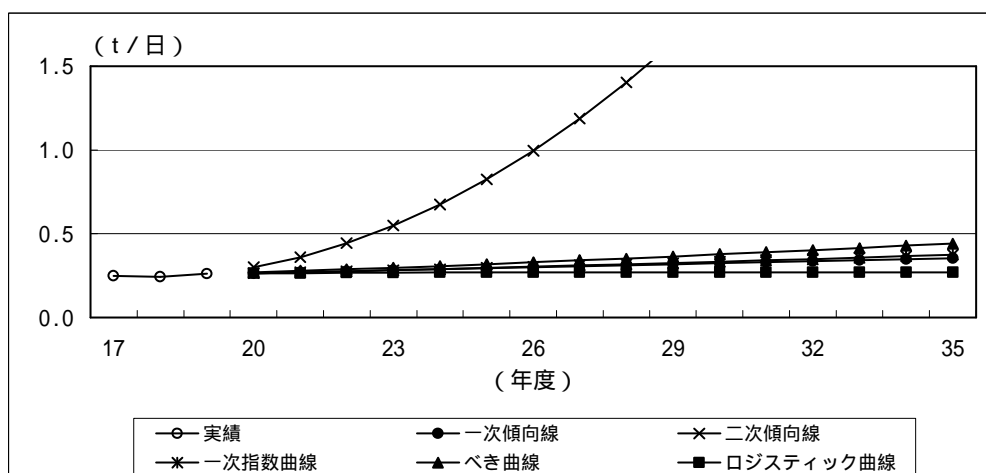


資料3 - 16

直接搬入 古紙類(雑誌)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 17	0.249	-	0.249	-	0.249	-	0.249	-	0.249	-	0.25
18	0.244	-0.01	0.244	-0.01	0.244	-0.01	0.244	-0.01	0.244	-0.01	0.24
19	0.261	0.02	0.261	0.02	0.261	0.02	0.261	0.02	0.261	0.02	0.26
20	0.263	0.00	0.300	0.04	0.263	0.00	0.269	0.01	0.263	0.00	0.25
21	0.269	0.01	0.361	0.06	0.270	0.01	0.278	0.01	0.265	0.00	
22	0.275	0.01	0.444	0.08	0.276	0.01	0.287	0.01	0.267	0.00	
23	0.281	0.01	0.549	0.11	0.283	0.01	0.297	0.01	0.268	0.00	
24	0.287	0.01	0.676	0.13	0.289	0.01	0.307	0.01	0.269	0.00	
25	0.293	0.01	0.825	0.15	0.296	0.01	0.318	0.01	0.269	0.00	
26	0.299	0.01	0.996	0.17	0.303	0.01	0.329	0.01	0.269	0.00	
27	0.305	0.01	1.189	0.19	0.311	0.01	0.341	0.01	0.270	0.00	
28	0.311	0.01	1.404	0.22	0.318	0.01	0.352	0.01	0.270	0.00	
29	0.317	0.01	1.641	0.24	0.325	0.01	0.364	0.01	0.270	0.00	
30	0.323	0.01	1.900	0.26	0.333	0.01	0.377	0.01	0.270	0.00	
31	0.329	0.01	2.181	0.28	0.341	0.01	0.389	0.01	0.270	0.00	
32	0.335	0.01	2.484	0.30	0.349	0.01	0.402	0.01	0.270	0.00	
33	0.341	0.01	2.809	0.33	0.358	0.01	0.415	0.01	0.270	0.00	
34	0.347	0.01	3.156	0.35	0.366	0.01	0.428	0.01	0.270	0.00	
35	0.353	0.01	3.525	0.37	0.375	0.01	0.441	0.01	0.270	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	0.14	3.70		0.16		0.01		5.36		
	b =	0.01	-0.39		1.02		1.26		0.45		
	c =		0.01								
	Yo =						0.25				
	to =						17.00				
K =								0.27			
r =	0.686743		0.998910		0.686743		0.604010		0.591101		

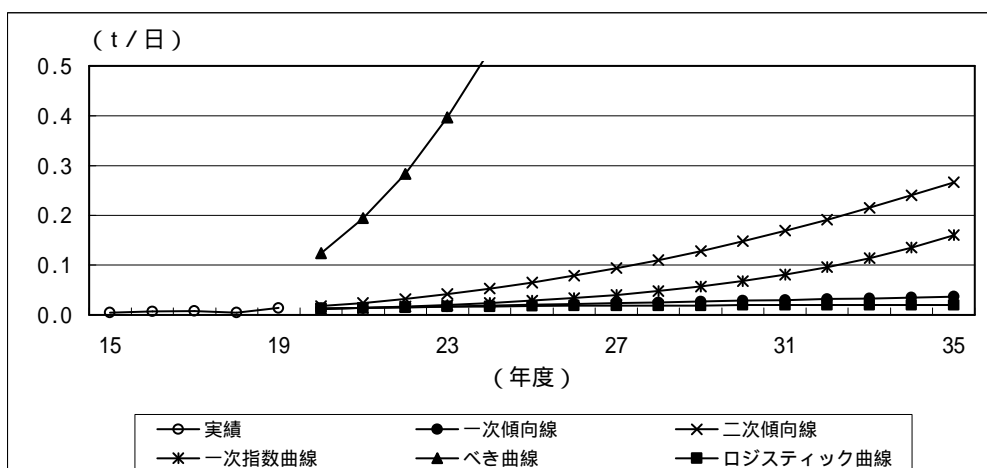


資料3 - 17

庁舎回収 有害ごみ(蛍光灯)

単位: t/日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	0.005	-	0.005	-	0.005	-	0.005	-	0.005	-	0.005
16	0.007	0.002	0.007	0.002	0.007	0.002	0.007	0.002	0.007	0.002	0.007
17	0.008	0.001	0.008	0.001	0.008	0.001	0.008	0.001	0.008	0.001	0.008
18	0.005	-0.003	0.005	-0.003	0.005	-0.003	0.005	-0.003	0.005	-0.003	0.005
19	0.014	0.009	0.014	0.009	0.014	0.009	0.014	0.009	0.014	0.009	0.014
20	0.013	-0.001	0.018	0.004	0.012	-0.002	0.124	0.110	0.013	-0.001	0.008
21	0.014	0.001	0.024	0.006	0.014	0.002	0.194	0.070	0.014	0.001	
22	0.016	0.002	0.032	0.008	0.017	0.003	0.284	0.090	0.015	0.001	
23	0.017	0.001	0.042	0.010	0.020	0.003	0.397	0.113	0.017	0.002	
24	0.019	0.002	0.053	0.011	0.024	0.004	0.532	0.135	0.017	0.000	
25	0.021	0.002	0.065	0.012	0.029	0.005	0.693	0.161	0.018	0.001	
26	0.022	0.001	0.079	0.014	0.034	0.005	0.880	0.187	0.019	0.001	
27	0.024	0.002	0.094	0.015	0.040	0.006	1.095	0.215	0.019	0.000	
28	0.025	0.001	0.110	0.016	0.048	0.008	1.340	0.245	0.019	0.000	
29	0.027	0.002	0.128	0.018	0.057	0.009	1.615	0.275	0.019	0.000	
30	0.029	0.002	0.148	0.020	0.068	0.011	1.921	0.306	0.020	0.001	
31	0.030	0.001	0.169	0.021	0.081	0.013	2.260	0.339	0.020	0.000	
32	0.032	0.002	0.191	0.022	0.096	0.015	2.634	0.374	0.020	0.000	
33	0.033	0.001	0.215	0.024	0.114	0.018	3.042	0.408	0.020	0.000	
34	0.035	0.002	0.240	0.025	0.135	0.021	3.486	0.444	0.020	0.000	
35	0.037	0.002	0.267	0.027	0.160	0.025	3.968	0.482	0.020	0.000	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	-0.02	0.19		0.00		0.00		6.28		
	b =	0.00	-0.02		1.19		2.53		0.34		
	c =		0.00								
	Yo =						0.01				
	to =						15.00				
K =								0.02			
r =		0.729898	0.691876		0.617697		0.614876		0.729898		

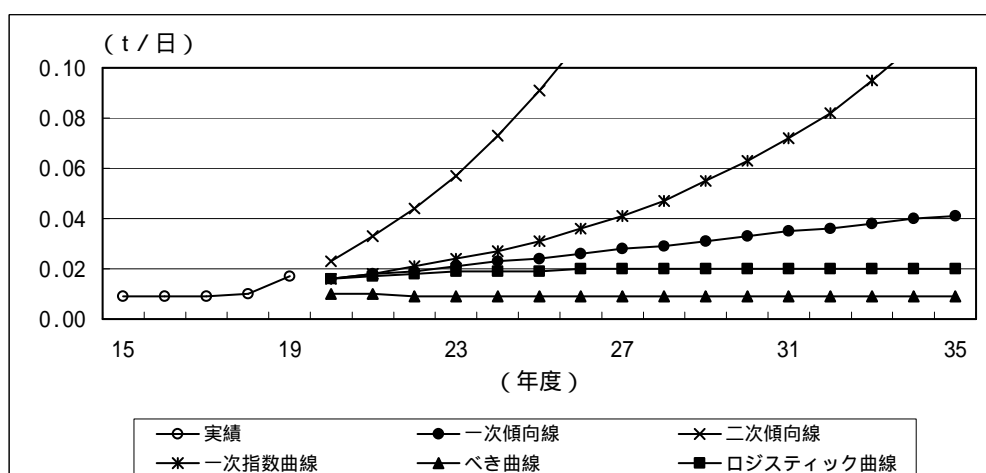


資料3 - 18

庁舎回収 有害ごみ(乾電池)

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	0.009	-	0.009	-	0.009	-	0.009	-	0.009	-	0.009
16	0.009	0.000	0.009	0.000	0.009	0.000	0.009	0.000	0.009	0.000	0.009
17	0.009	0.000	0.009	0.000	0.009	0.000	0.009	0.000	0.009	0.000	0.009
18	0.010	0.001	0.010	0.001	0.010	0.001	0.010	0.001	0.010	0.001	0.010
19	0.017	0.007	0.017	0.007	0.017	0.007	0.017	0.007	0.017	0.007	0.017
20	0.016	-0.001	0.023	0.006	0.016	-0.001	0.010	-0.007	0.016	-0.001	0.011
21	0.018	0.002	0.033	0.010	0.018	0.002	0.010	0.000	0.017	0.001	
22	0.019	0.001	0.044	0.011	0.021	0.003	0.009	-0.001	0.018	0.001	
23	0.021	0.002	0.057	0.013	0.024	0.003	0.009	0.000	0.019	0.001	
24	0.023	0.002	0.073	0.016	0.027	0.003	0.009	0.000	0.019	0.000	
25	0.024	0.001	0.091	0.018	0.031	0.004	0.009	0.000	0.019	0.000	
26	0.026	0.002	0.111	0.020	0.036	0.005	0.009	0.000	0.020	0.001	
27	0.028	0.002	0.133	0.022	0.041	0.005	0.009	0.000	0.020	0.000	
28	0.029	0.001	0.157	0.024	0.047	0.006	0.009	0.000	0.020	0.000	
29	0.031	0.002	0.183	0.026	0.055	0.008	0.009	0.000	0.020	0.000	
30	0.033	0.002	0.212	0.029	0.063	0.008	0.009	0.000	0.020	0.000	
31	0.035	0.002	0.242	0.030	0.072	0.009	0.009	0.000	0.020	0.000	
32	0.036	0.001	0.275	0.033	0.082	0.010	0.009	0.000	0.020	0.000	
33	0.038	0.002	0.310	0.035	0.095	0.013	0.009	0.000	0.020	0.000	
34	0.040	0.002	0.347	0.037	0.109	0.014	0.009	0.000	0.020	0.000	
35	0.041	0.001	0.386	0.039	0.125	0.016	0.009	0.000	0.020	0.000	
採 用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0 + a(t-t_0)^b$		$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$		
	a =	-0.02	0.29		0.00		2.01		6.69		
	b =	0.00	-0.03		1.15		-4.57		0.41		
	c =		0.00								
	$Y_0 =$						0.01				
	$t_0 =$						15.00				
K =								0.02			
r =	0.694861		0.960618		0.846346		-0.268049		0.767637		



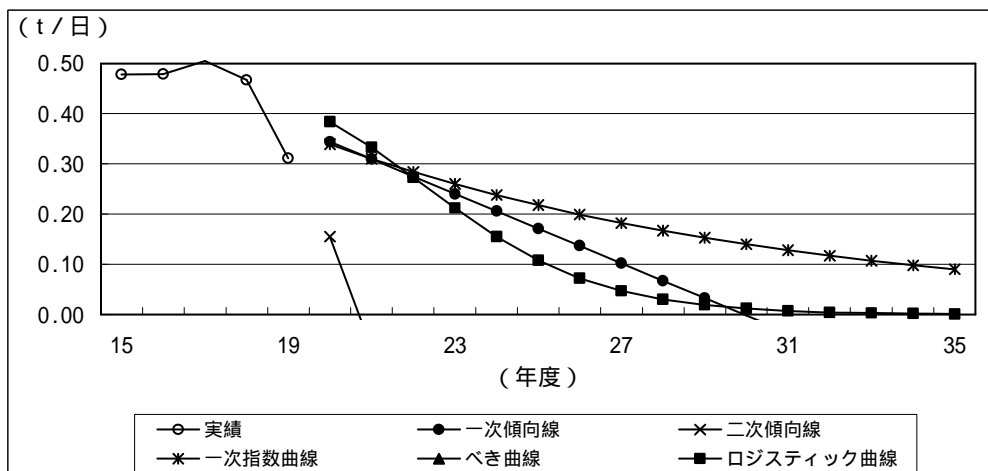
資料4 人口1人1日あたり集団回収量の予測

資料4 - 1

集団回収 ダンボール

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 15	0.478	-	0.478	-	0.478	-	0.478	-	0.478	-	
16	0.479	0.00	0.479	0.00	0.479	0.00	0.479	0.00	0.479	0.00	
17	0.505	0.03	0.505	0.03	0.505	0.03	0.505	0.03	0.505	0.03	
18	0.467	-0.04	0.467	-0.04	0.467	-0.04	0.467	-0.04	0.467	-0.04	0.467
19	0.311	-0.16	0.311	-0.16	0.311	-0.16	0.311	-0.16	0.311	-0.16	0.311
20	0.344	0.03	0.155	-0.16	0.339	0.03	0.674	0.36	0.384	0.07	0.389
21	0.310	-0.03	-0.068	-0.22	0.310	-0.03	0.826	0.15	0.333	-0.05	
22	0.275	-0.04	-0.346	-0.28	0.284	-0.03	1.044	0.22	0.273	-0.06	
23	0.240	-0.04	-0.678	-0.33	0.260	-0.02	1.341	0.30	0.212	-0.06	
24	0.206	-0.03	-1.063	-0.39	0.238	-0.02	1.730	0.39	0.155	-0.06	
25	0.171	-0.04	-1.503	-0.44	0.218	-0.02	2.224	0.49	0.108	-0.05	
26	0.137	-0.03	-1.996	-0.49	0.199	-0.02	2.838	0.61	0.072	-0.04	
27	0.102	-0.04	-2.544	-0.55	0.182	-0.02	3.584	0.75	0.047	-0.03	
28	0.067	-0.04	-3.146	-0.60	0.167	-0.02	4.477	0.89	0.030	-0.02	
29	0.033	-0.03	-3.801	-0.66	0.153	-0.01	5.532	1.06	0.019	-0.01	
30	-0.002	-0.04	-4.511	-0.71	0.140	-0.01	6.762	1.23	0.012	-0.01	
31	-0.036	-0.03	-5.274	-0.76	0.128	-0.01	8.182	1.42	0.007	-0.01	
32	-0.071	-0.04	-6.092	-0.82	0.117	-0.01	9.808	1.63	0.004	-0.00	
33	-0.106	-0.04	-6.964	-0.87	0.107	-0.01	11.654	1.85	0.003	-0.00	
34	-0.140	-0.03	-7.889	-0.93	0.098	-0.01	13.734	2.08	0.002	-0.00	
35	-0.175	-0.04	-8.869	-0.98	0.090	-0.01	16.065	2.33	0.001	-0.00	
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Yo + a(t-to)^b$		$K / (1 + EXP(a-bt))$		
	a =	1.04	-6.71		1.99		0.00		-10.85		
	b =	-0.03	0.88		0.92		3.16		-0.49		
	c =		-0.03								
	Yo =						0.48				
	to =						15.00				
	K =								0.51		
r =	0.701074	0.955271		0.668179		-0.488580		0.667418			

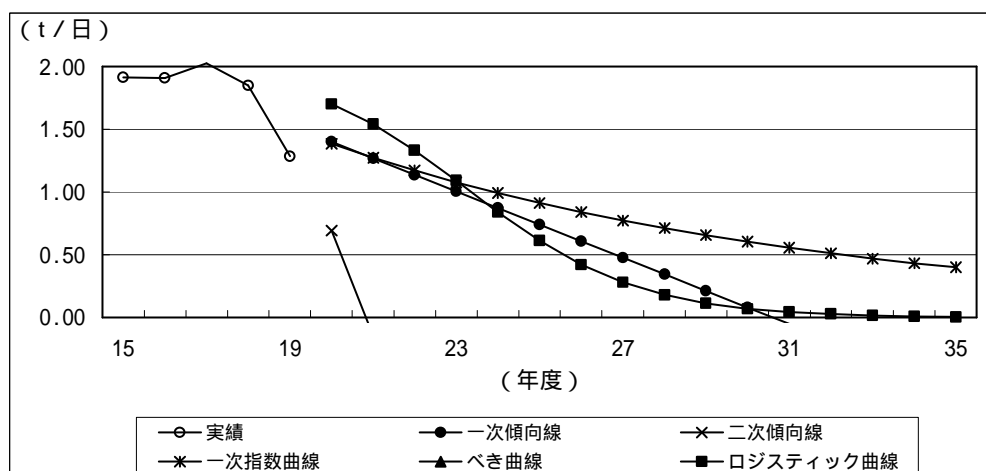


資料4 - 2

集団回収 新聞紙

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	1.912	-	1.912	-	1.912	-	1.912	-	1.912	-	
16	1.909	-0.00	1.909	-0.00	1.909	-0.00	1.909	-0.00	1.909	-0.00	
17	2.026	0.12	2.026	0.12	2.026	0.12	2.026	0.12	2.026	0.12	
18	1.847	-0.18	1.847	-0.18	1.847	-0.18	1.847	-0.18	1.847	-0.18	1.847
19	1.284	-0.56	1.284	-0.56	1.284	-0.56	1.284	-0.56	1.284	-0.56	1.284
20	1.400	0.12	0.692	-0.59	1.383	0.10	2.920	1.64	1.700	0.42	1.566
21	1.268	-0.13	-0.148	-0.84	1.273	-0.11	3.799	0.88	1.539	-0.16	
22	1.137	-0.13	-1.190	-1.04	1.171	-0.10	5.119	1.32	1.333	-0.21	
23	1.005	-0.13	-2.434	-1.24	1.078	-0.09	6.988	1.87	1.091	-0.24	
24	0.873	-0.13	-3.881	-1.45	0.992	-0.09	9.524	2.54	0.841	-0.25	
25	0.741	-0.13	-5.530	-1.65	0.913	-0.08	12.848	3.32	0.611	-0.23	
26	0.609	-0.13	-7.381	-1.85	0.841	-0.07	17.091	4.24	0.421	-0.19	
27	0.478	-0.13	-9.434	-2.05	0.774	-0.07	22.386	5.30	0.279	-0.14	
28	0.346	-0.13	-11.690	-2.26	0.712	-0.06	28.875	6.49	0.179	-0.10	
29	0.214	-0.13	-14.148	-2.46	0.655	-0.06	36.702	7.83	0.113	-0.07	
30	0.082	-0.13	-16.809	-2.66	0.603	-0.05	46.020	9.32	0.070	-0.04	
31	-0.050	-0.13	-19.671	-2.86	0.555	-0.05	56.982	10.96	0.043	-0.03	
32	-0.181	-0.13	-22.736	-3.07	0.511	-0.04	69.750	12.77	0.027	-0.02	
33	-0.313	-0.13	-26.003	-3.27	0.470	-0.04	84.488	14.74	0.016	-0.01	
34	-0.445	-0.13	-29.473	-3.47	0.433	-0.04	101.364	16.88	0.010	-0.01	
35	-0.577	-0.13	-33.145	-3.67	0.399	-0.03	120.552	19.19	0.006	-0.00	
採用											
予 測 式	$Y_t =$	$a + bt$	$a + bt + ct^2$		$a \cdot b^t$		$Y_0 + a(t-t_0)^b$		$K / (1 + \text{EXP}(a-bt))$		
	a =	4.04	-24.99		7.26		0.00		-11.60		
	b =	-0.13	3.31		0.92		3.44		-0.50		
	c =		-0.10								
	$Y_0 =$						1.91				
	$t_0 =$						15.00				
	K =								2.03		
r =	0.711431	0.959864		0.677888		-0.542205		0.384747			

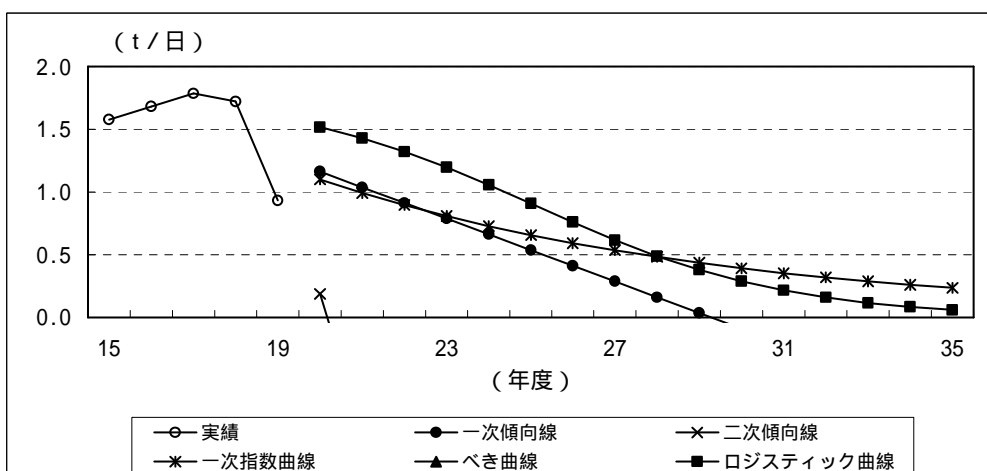


資料4 - 3

集団回収 雑誌

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	1.577	-	1.577	-	1.577	-	1.577	-	1.577	-	
16	1.680	0.10	1.680	0.10	1.680	0.10	1.680	0.10	1.680	0.10	
17	1.783	0.10	1.783	0.10	1.783	0.10	1.783	0.10	1.783	0.10	
18	1.721	-0.06	1.721	-0.06	1.721	-0.06	1.721	-0.06	1.721	-0.06	1.721
19	0.931	-0.79	0.931	-0.79	0.931	-0.79	0.931	-0.79	0.931	-0.79	0.931
20	1.163	0.23	0.188	-0.74	1.101	0.17	2.065	1.13	1.515	0.58	1.326
21	1.038	-0.13	-0.913	-1.10	0.993	-0.11	2.167	0.10	1.428	-0.09	1.326
22	0.913	-0.13	-2.292	-1.38	0.896	-0.10	2.268	0.10	1.321	-0.11	1.326
23	0.788	-0.13	-3.950	-1.66	0.808	-0.09	2.370	0.10	1.197	-0.12	1.326
24	0.663	-0.13	-5.887	-1.94	0.729	-0.08	2.473	0.10	1.057	-0.14	1.326
25	0.538	-0.13	-8.103	-2.22	0.658	-0.07	2.575	0.10	0.909	-0.15	1.326
26	0.413	-0.13	-10.597	-2.49	0.593	-0.07	2.679	0.10	0.760	-0.15	1.326
27	0.287	-0.13	-13.370	-2.77	0.535	-0.06	2.782	0.10	0.618	-0.14	1.326
28	0.162	-0.13	-16.421	-3.05	0.483	-0.05	2.886	0.10	0.490	-0.13	1.326
29	0.037	-0.13	-19.752	-3.33	0.436	-0.05	2.990	0.10	0.380	-0.11	1.326
30	-0.088	-0.13	-23.361	-3.61	0.393	-0.04	3.094	0.10	0.290	-0.09	1.326
31	-0.213	-0.13	-27.248	-3.89	0.354	-0.04	3.198	0.10	0.217	-0.07	1.326
32	-0.338	-0.13	-31.415	-4.17	0.320	-0.03	3.303	0.11	0.161	-0.06	1.326
33	-0.463	-0.13	-35.860	-4.45	0.288	-0.03	3.408	0.11	0.118	-0.04	1.326
34	-0.588	-0.13	-40.584	-4.72	0.260	-0.03	3.512	0.10	0.086	-0.03	1.326
35	-0.713	-0.13	-45.586	-5.00	0.235	-0.03	3.618	0.11	0.062	-0.02	1.326
採用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bi))		
	a =	3.67	-36.33		8.63		0.09		-8.41		
	b =	-0.13	4.61		0.90		1.03		-0.34		
	c =		-0.14								
	Yo =						1.58				
	to =						15.00				
	K =								1.79		
r =	0.568135	0.941335		0.519704		-0.295942		0.259433			

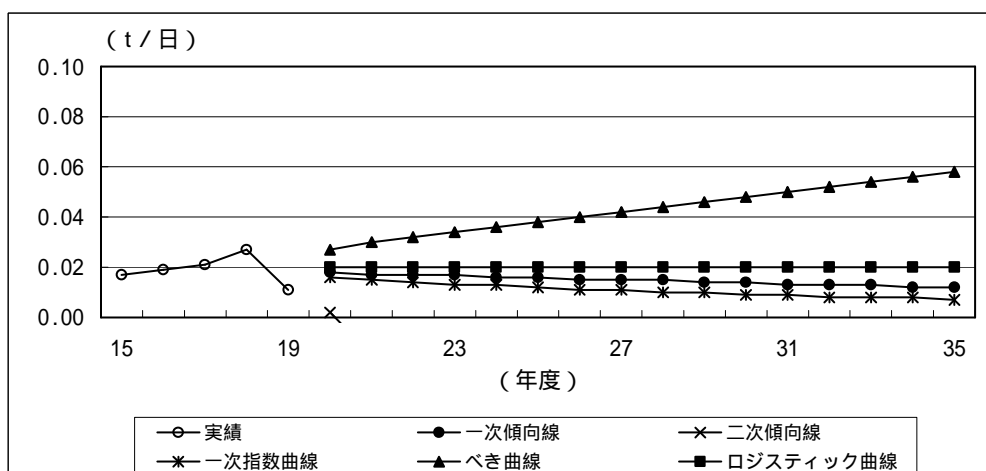


資料4 - 4

集団回収 牛乳パック

単位: t/日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		
平成 15	0.017	-	0.017	-	0.017	-	0.017	-	0.017	-	0.017
16	0.019	0.00	0.019	0.00	0.019	0.00	0.019	0.00	0.019	0.00	0.019
17	0.021	0.00	0.021	0.00	0.021	0.00	0.021	0.00	0.021	0.00	0.021
18	0.027	0.01	0.027	0.01	0.027	0.01	0.027	0.01	0.027	0.01	0.027
19	0.011	-0.02	0.011	-0.02	0.011	-0.02	0.011	-0.02	0.011	-0.02	0.011
20	0.018	0.01	0.002	-0.01	0.016	0.01	0.027	0.02	0.020	0.01	0.019
21	0.017	-0.00	-0.015	-0.02	0.015	-0.00	0.030	0.00	0.020	0.00	
22	0.017	0.00	-0.036	-0.02	0.014	-0.00	0.032	0.00	0.020	0.00	
23	0.017	0.00	-0.061	-0.03	0.013	-0.00	0.034	0.00	0.020	0.00	
24	0.016	-0.00	-0.091	-0.03	0.013	-0.00	0.036	0.00	0.020	0.00	
25	0.016	0.00	-0.126	-0.04	0.012	-0.00	0.038	0.00	0.020	0.00	
26	0.015	-0.00	-0.165	-0.04	0.011	-0.00	0.040	0.00	0.020	0.00	
27	0.015	0.00	-0.209	-0.04	0.011	-0.00	0.042	0.00	0.020	0.00	
28	0.015	0.00	-0.257	-0.05	0.010	-0.00	0.044	0.00	0.020	0.00	
29	0.014	-0.00	-0.310	-0.05	0.010	-0.00	0.046	0.00	0.020	0.00	
30	0.014	0.00	-0.368	-0.06	0.009	-0.00	0.048	0.00	0.020	0.00	
31	0.013	-0.00	-0.430	-0.06	0.009	-0.00	0.050	0.00	0.020	0.00	
32	0.013	0.00	-0.497	-0.07	0.008	-0.00	0.052	0.00	0.020	0.00	
33	0.013	0.00	-0.568	-0.07	0.008	-0.00	0.054	0.00	0.020	0.00	
34	0.012	-0.00	-0.644	-0.08	0.008	-0.00	0.056	0.00	0.020	0.00	
35	0.012	0.00	-0.724	-0.08	0.007	-0.00	0.058	0.00	0.020	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	0.03	-0.63		0.04		0.00		-0.63		
	b =	0.00	0.08		0.95		0.99		0.00		
	c =		-0.00								
	Yo =						0.02				
	to =						15.00				
	K =								0.03		
r =	0.363803	0.713919		0.088561		-0.088561		0.000000			

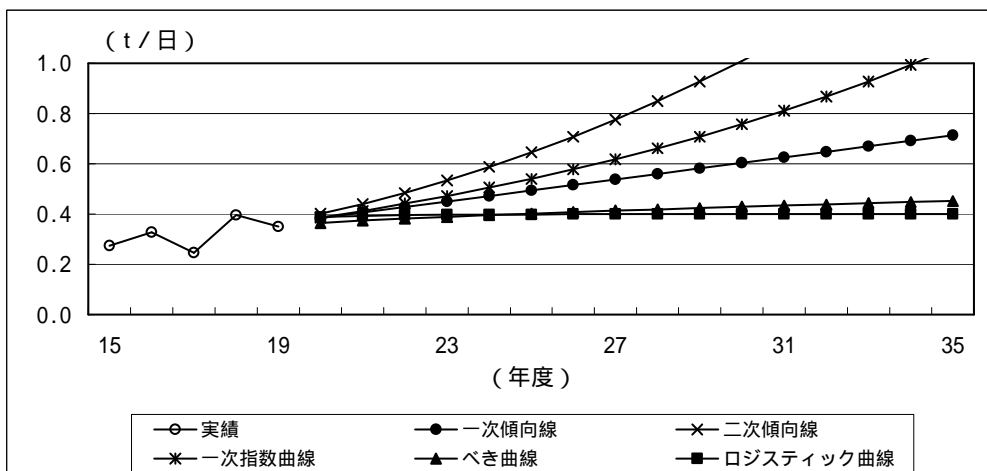


資料4 - 5

集団回収 チラシ

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	0.275	-	0.275	-	0.275	-	0.275	-	0.275	-	0.275
16	0.328	0.05	0.328	0.05	0.328	0.05	0.328	0.05	0.328	0.05	0.328
17	0.247	-0.08	0.247	-0.08	0.247	-0.08	0.247	-0.08	0.247	-0.08	0.247
18	0.396	0.15	0.396	0.15	0.396	0.15	0.396	0.15	0.396	0.15	0.396
19	0.351	-0.05	0.351	-0.05	0.351	-0.05	0.351	-0.05	0.351	-0.05	0.351
20	0.385	0.03	0.402	0.05	0.386	0.04	0.365	0.01	0.388	0.04	0.319
21	0.407	0.02	0.441	0.04	0.413	0.03	0.374	0.01	0.393	0.01	
22	0.429	0.02	0.485	0.04	0.442	0.03	0.382	0.01	0.396	0.00	
23	0.451	0.02	0.534	0.05	0.473	0.03	0.389	0.01	0.398	0.00	
24	0.473	0.02	0.588	0.05	0.506	0.03	0.396	0.01	0.399	0.00	
25	0.495	0.02	0.646	0.06	0.541	0.04	0.402	0.01	0.399	0.00	
26	0.517	0.02	0.709	0.06	0.579	0.04	0.408	0.01	0.400	0.00	
27	0.539	0.02	0.777	0.07	0.619	0.04	0.414	0.01	0.400	0.00	
28	0.561	0.02	0.850	0.07	0.663	0.04	0.419	0.01	0.400	0.00	
29	0.583	0.02	0.928	0.08	0.709	0.05	0.424	0.01	0.400	0.00	
30	0.605	0.02	1.011	0.08	0.759	0.05	0.430	0.01	0.400	0.00	
31	0.627	0.02	1.099	0.09	0.812	0.05	0.435	0.01	0.400	0.00	
32	0.649	0.02	1.191	0.09	0.869	0.06	0.439	0.00	0.400	0.00	
33	0.671	0.02	1.288	0.10	0.929	0.06	0.444	0.01	0.400	0.00	
34	0.693	0.02	1.390	0.10	0.994	0.06	0.449	0.01	0.400	0.00	
35	0.715	0.02	1.497	0.11	1.064	0.07	0.453	0.00	0.400	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	-0.05	0.64		0.10		0.04		7.38		
	b =	0.02	-0.06		1.07		0.49		0.54		
	c =		0.00								
	Yo =						0.28				
	to =						15.00				
K =								0.40			
r =	0.584784	0.586983		0.582631		0.535990		0.496043			

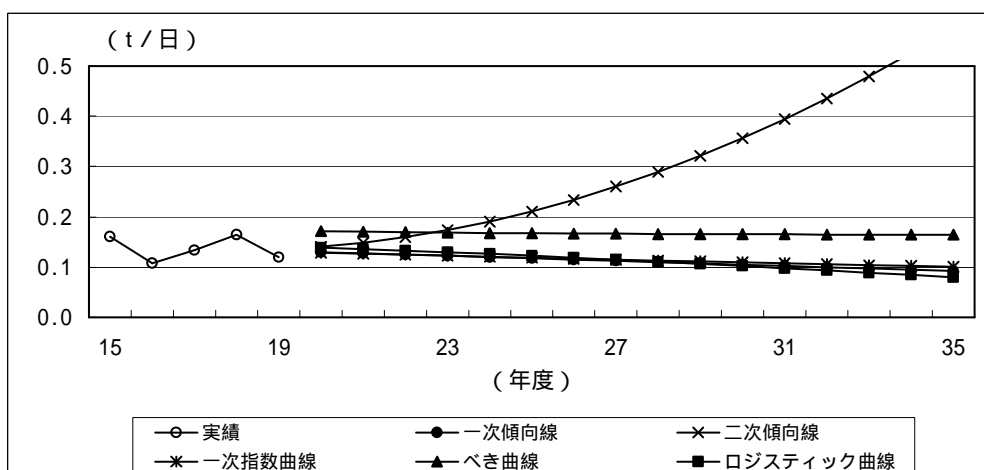


資料4 - 6

集団回収 布類

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	0.161	-	0.161	-	0.161	-	0.161	-	0.161	-	0.161
16	0.108	-0.05	0.108	-0.05	0.108	-0.05	0.108	-0.05	0.108	-0.05	0.108
17	0.134	0.03	0.134	0.03	0.134	0.03	0.134	0.03	0.134	0.03	0.134
18	0.165	0.03	0.165	0.03	0.165	0.03	0.165	0.03	0.165	0.03	0.165
19	0.120	-0.05	0.120	-0.05	0.120	-0.05	0.120	-0.05	0.120	-0.05	0.120
20	0.130	0.01	0.141	0.02	0.129	0.01	0.172	0.05	0.139	0.02	0.138
21	0.128	-0.00	0.149	0.01	0.127	-0.00	0.171	-0.00	0.136	-0.00	
22	0.125	-0.00	0.160	0.01	0.125	-0.00	0.170	-0.00	0.133	-0.00	
23	0.123	-0.00	0.174	0.01	0.123	-0.00	0.169	-0.00	0.130	-0.00	
24	0.120	-0.00	0.191	0.02	0.121	-0.00	0.168	-0.00	0.127	-0.00	
25	0.118	-0.00	0.211	0.02	0.119	-0.00	0.168	0.00	0.123	-0.00	
26	0.115	-0.00	0.234	0.02	0.117	-0.00	0.167	-0.00	0.119	-0.00	
27	0.113	-0.00	0.260	0.03	0.115	-0.00	0.167	0.00	0.115	-0.00	
28	0.110	-0.00	0.289	0.03	0.113	-0.00	0.166	-0.00	0.111	-0.00	
29	0.108	-0.00	0.321	0.03	0.112	-0.00	0.166	0.00	0.107	-0.00	
30	0.105	-0.00	0.356	0.04	0.110	-0.00	0.166	0.00	0.103	-0.00	
31	0.103	-0.00	0.394	0.04	0.108	-0.00	0.166	0.00	0.098	-0.00	
32	0.100	-0.00	0.435	0.04	0.106	-0.00	0.165	-0.00	0.094	-0.00	
33	0.098	-0.00	0.479	0.04	0.104	-0.00	0.165	0.00	0.089	-0.01	
34	0.095	-0.00	0.526	0.05	0.103	-0.00	0.165	0.00	0.085	-0.00	
35	0.093	-0.00	0.576	0.05	0.101	-0.00	0.165	0.00	0.080	-0.01	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bi))		
	a =	0.18	0.61		0.18		0.04		-3.65		
	b =	0.00	-0.05		0.98		-0.80		-0.11		
	c =		0.00								
	Yo =						0.16				
	to =						15.00				
	K =								0.17		
r =	0.160602	0.193810		0.163089		-0.150261		0.020473			

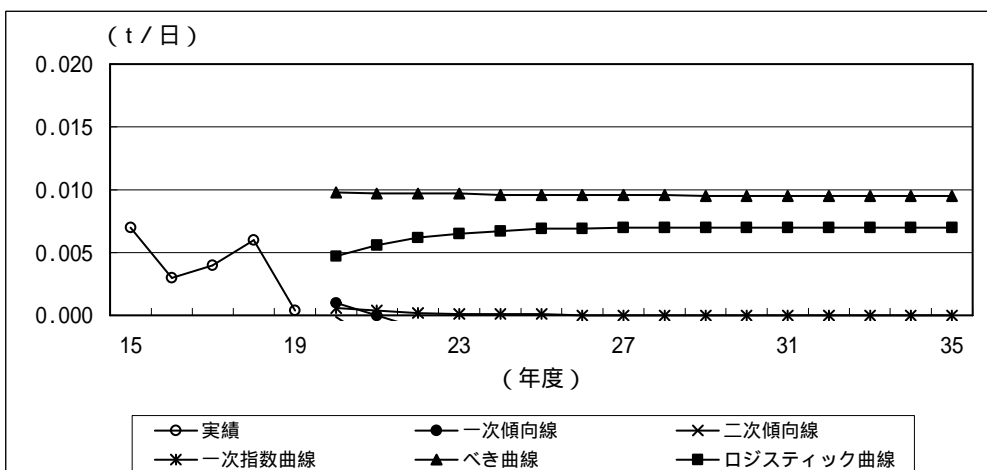


資料4 - 7

集団回収 びん

単位: t / 日

年 度	一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		実績の 平均値
	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 15	0.007	-	0.007	-	0.007	-	0.007	-	0.007	-	0.007
16	0.003	-0.00	0.003	-0.00	0.003	-0.00	0.003	-0.00	0.003	-0.00	0.003
17	0.004	0.00	0.004	0.00	0.004	0.00	0.004	0.00	0.004	0.00	0.004
18	0.006	0.00	0.006	0.00	0.006	0.00	0.006	0.00	0.006	0.00	0.006
19	0.000	-0.01	0.000	-0.01	0.000	-0.01	0.000	-0.01	0.000	-0.01	0.000
20	0.001	0.00	0.000	-0.00	0.001	0.00	0.010	0.01	0.005	0.00	0.004
21	0.000	-0.00	-0.002	-0.00	0.000	-0.00	0.010	-0.00	0.006	0.00	
22	-0.001	-0.00	-0.005	-0.00	0.000	-0.00	0.010	0.00	0.006	0.00	
23	-0.002	-0.00	-0.007	-0.00	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
24	-0.003	-0.00	-0.010	-0.00	0.000	0.00	0.010	-0.00	0.007	0.00	
25	-0.004	-0.00	-0.014	-0.00	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
26	-0.005	-0.00	-0.018	-0.00	0.000	-0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
27	-0.006	-0.00	-0.022	-0.00	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
28	-0.007	-0.00	-0.026	-0.00	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
29	-0.008	-0.00	-0.031	-0.00	0.000	0.00	0.010	-0.00	0.007	0.00	
30	-0.009	-0.00	-0.035	-0.00	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
31	-0.010	-0.00	-0.041	-0.01	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
32	-0.011	-0.00	-0.046	-0.01	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
33	-0.012	-0.00	-0.052	-0.01	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
34	-0.013	-0.00	-0.058	-0.01	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
35	-0.014	-0.00	-0.065	-0.01	0.000	0.00	0.010	0.00	0.007	0.00	
採 用											
予 測 式	Yt =	a + bt	a + bt + ct ²		a · b ^t		Yo + a(t-to) ^b		K / (1 + EXP(a-bt))		
	a =	0.02	-0.02		14.98		0.00		12.07		
	b =	0.00	0.00		0.60		-0.09		0.64		
	c =		-0.00								
	Yo =						0.01				
	to =						15.00				
	K =								0.01		
r =	0.631258	0.624836		0.583371		-0.003764		-0.277593			



資料5 ごみ分別意識調査結果

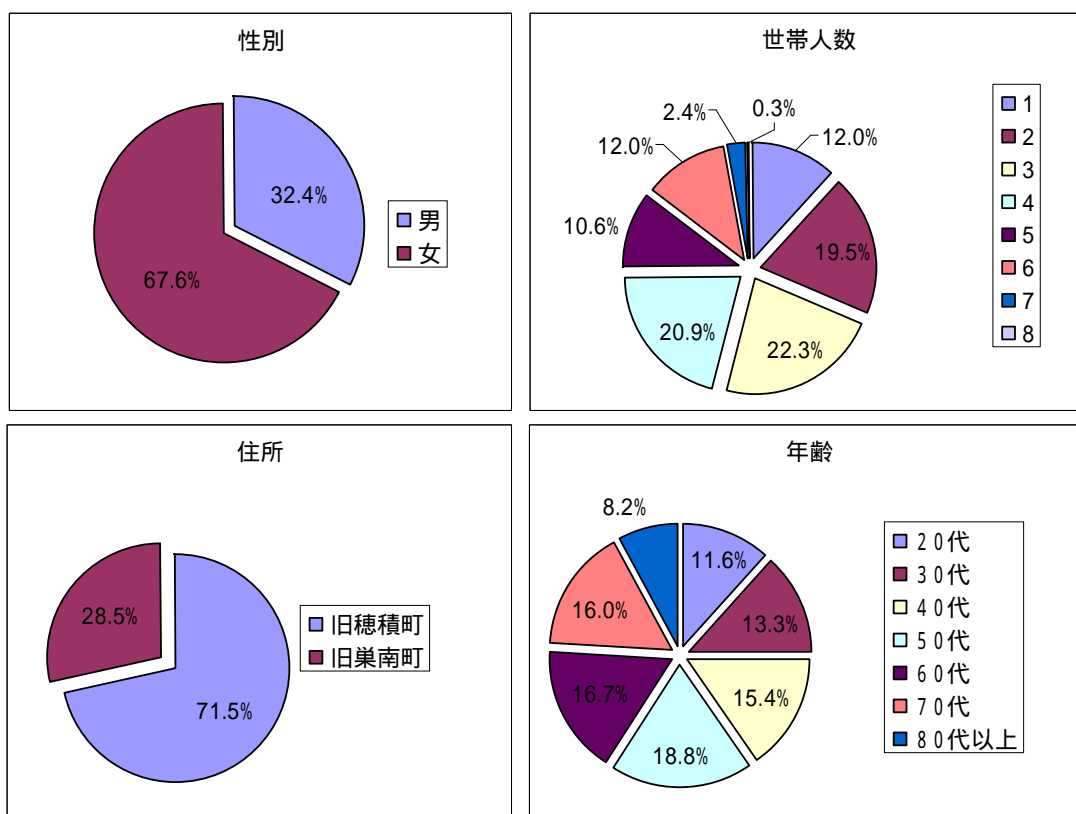
【実施期間】平成20年10月21日～11月14日

【概要】調査票配布数：500件

調査方法：郵送

有効回答数：292件（58.4%） 調査対象：無作為抽出

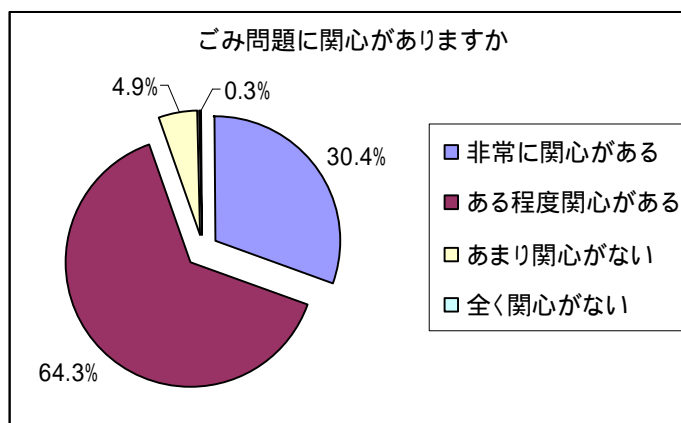
性別	年齢			世帯人数	住所
男	20代	50代	80代以上	人	旧穂積町
女	30代	60代			旧巢南町
	40代	70代			



問1 ごみ問題に関心がありますか

(回答率：97.9%)

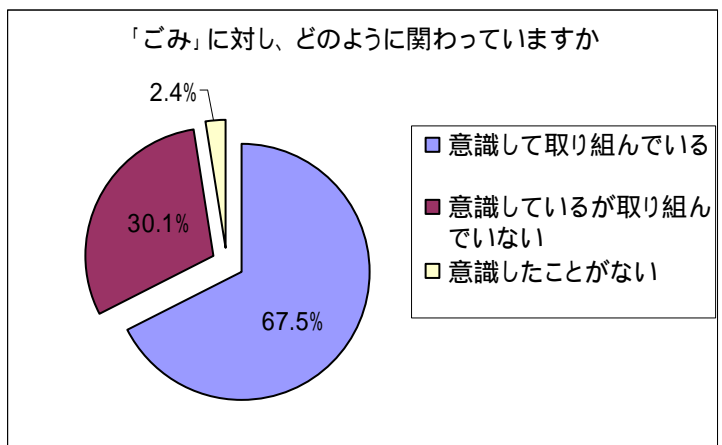
非常に関心がある
 ある程度関心がある
 あまり関心がない
 全く関心がない



問2 あなたの家庭では「ごみ」に対し、どのように関わっていますか

(回答率：97.9%)

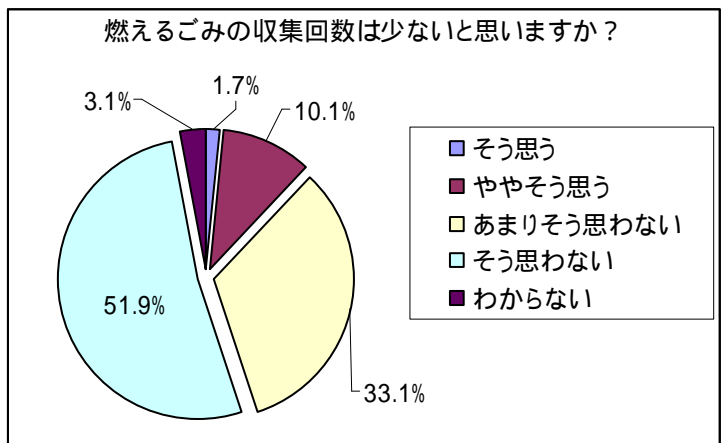
意識して減量やリサイクルに取り組んでいる
 意識しているが、特に減量やリサイクルには取り組んでいない
 減量やリサイクルは意識したことがない



問3 燃えるごみの収集回数は少ないと思いますか？

(回答率：98.3%)

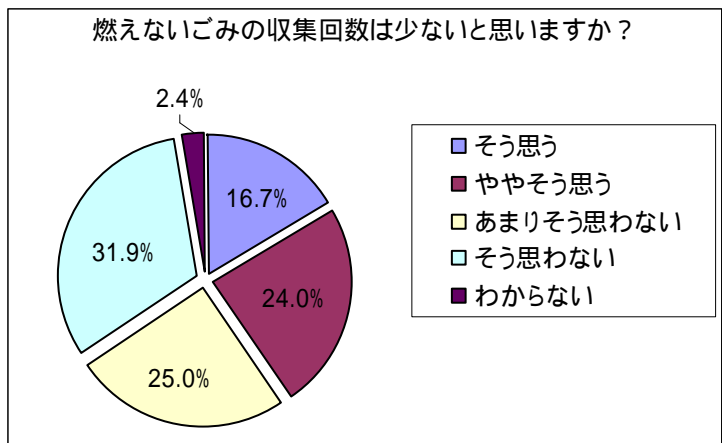
そう思う
 ややそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない
 わからない



問4 燃えないごみの収集回数は少ないと思いますか？

(回答率：98.6%)

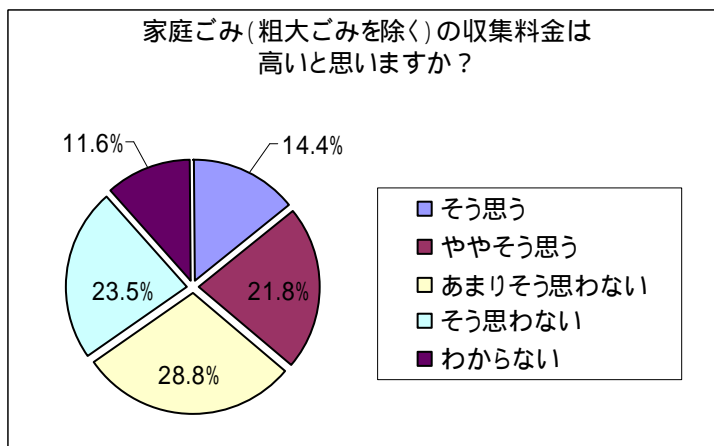
そう思う
 ややそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない
 わからない



問5 家庭ごみ(粗大ごみを除く)の収集料金は高いと思いますか？

(回答率：97.6%)

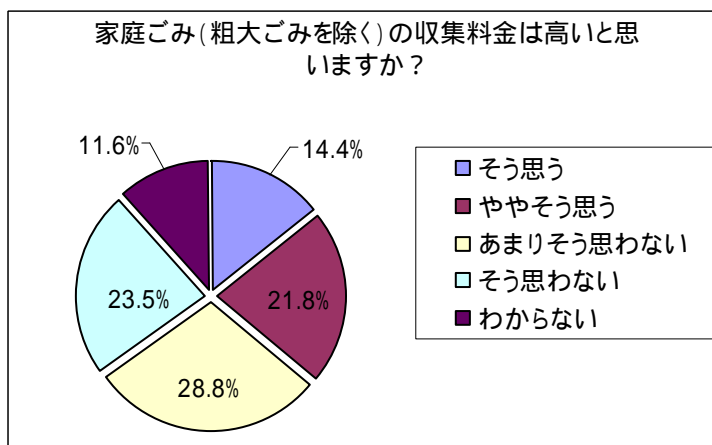
- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない



問6 家庭の粗大ごみの収集料金は高いと思いますか？

(回答率：97.6%)

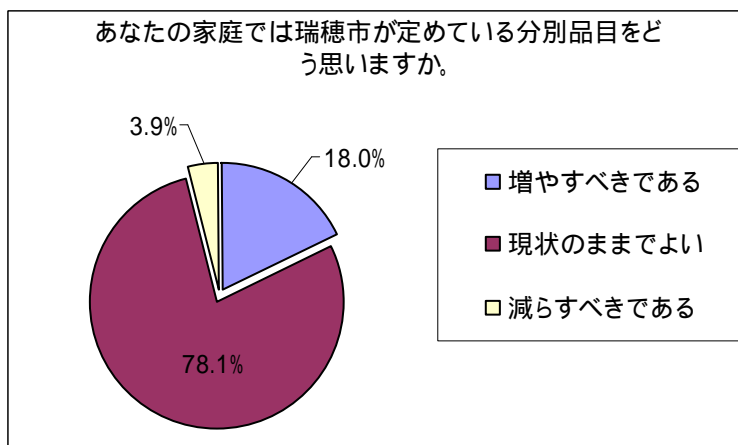
- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない



問7 あなたの家庭では瑞穂市が定めている分別品目をどう思いますか。

(回答率：96.9%)

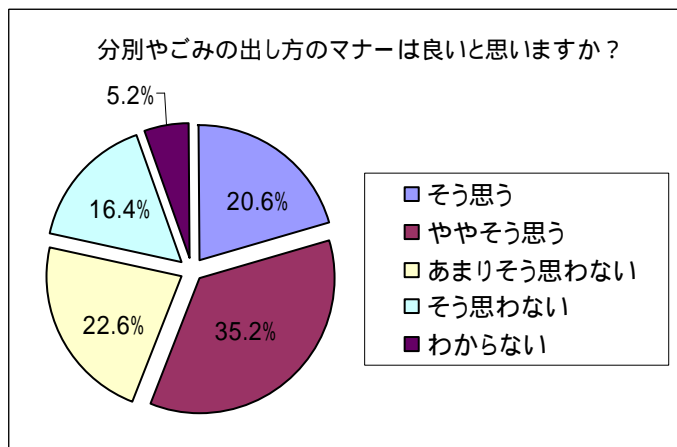
- 分別品目を増やすべきである
- 現状のままでよい
- 分別品目を減らすべきである



問 8 分別やごみの出し方のマナーは良いと思いますか？

（回答率：98.3%）

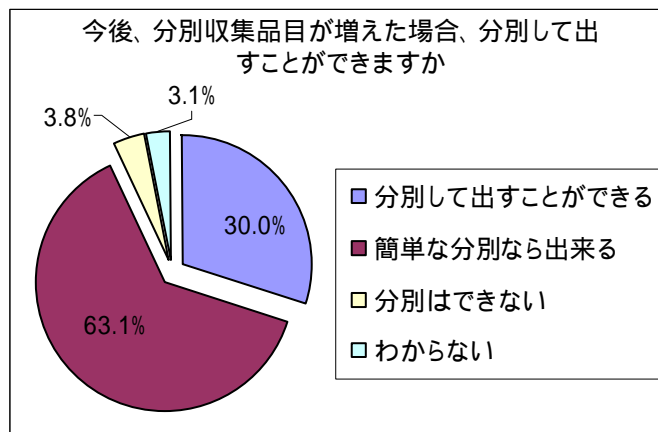
そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない わからない



問 9 今後、分別収集品目が増えた場合、分別して出すことができますか





（回答率：99.3%）

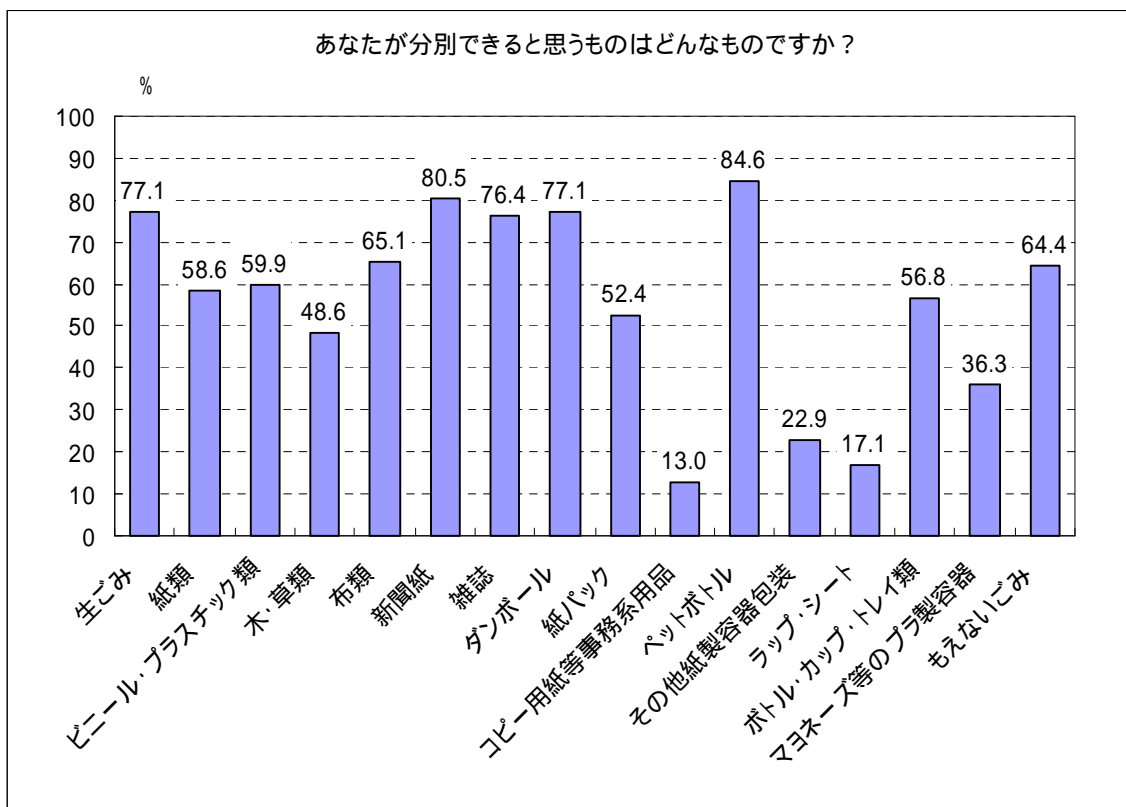
手間がかかっても分別して出すことができる 簡単な分別ならばできる
 分別はできない わからない



問10 問9の中で、あなたが分別できると思うもの全てに をつけてください。

(複数回答可：2,601回答/292件)

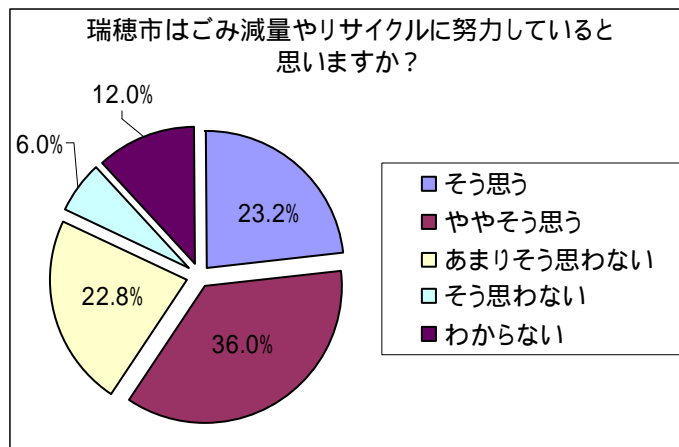
- 生ごみ 紙類 ビニール・プラスチック類 木・草類 布類
 新聞紙 雑誌 ダンボール 紙パック コピー用紙等事務系用品
 ペットボトル その他紙製容器包装  ラップ・シート 
 ボトル・カップ・トレイ類  マヨネーズ等のプラスチック製容器 
 もえないごみ



問11 瑞穂市はごみ減量やリサイクルに努力していると思いますか？

(回答率：91.4%)

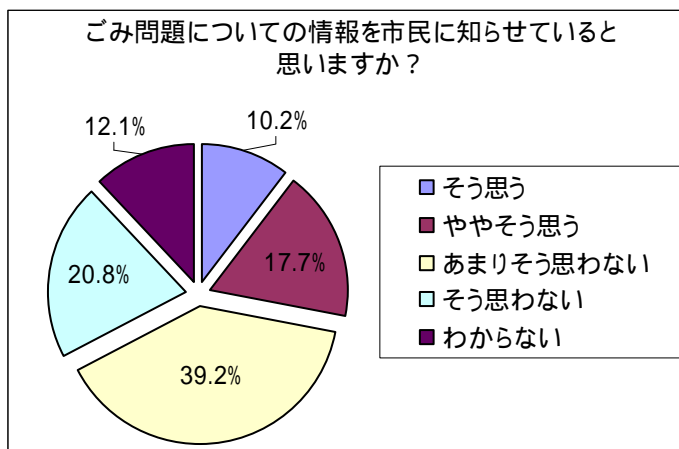
- そう思う
 ややそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない
 わからない



問 1 2 ごみ問題についての情報を市民に知らせていると思いますか？

(回答率：90.8%)

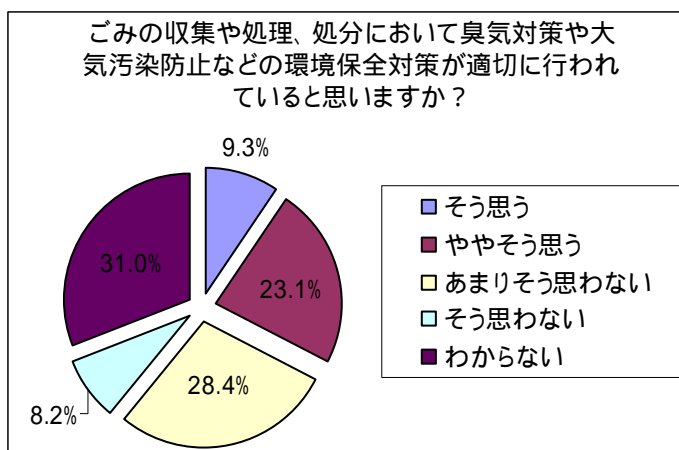
- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない



問 1 3 ごみの収集や処理、処分において臭気対策や大気汚染防止などの環境保全対策が適切に行われていると思いますか？

(回答率：91.8%)

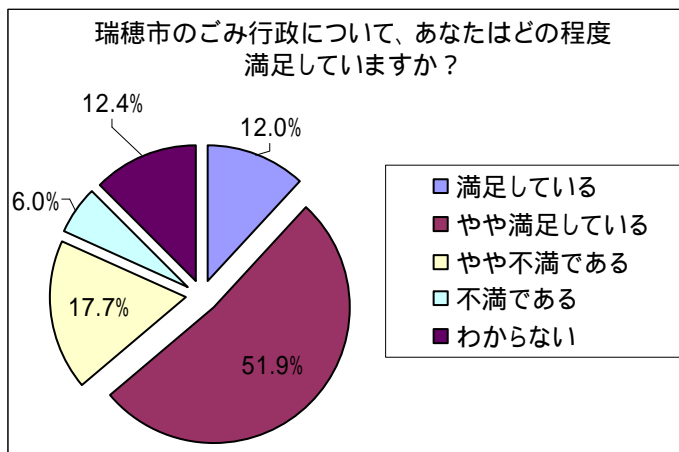
- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- わからない



問 1 4 瑞穂市のごみ行政について、あなたはどの程度満足していますか？

(回答率：91.1%)

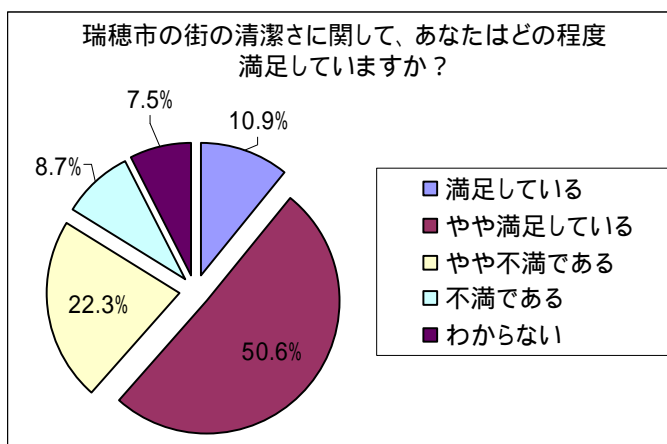
- 満足している
- やや満足している
- やや不満である
- 不満である
- わからない



問15 瑞穂市の街の清潔さに関して、あなたはどの程度満足していますか？

(回答率：90.8%)

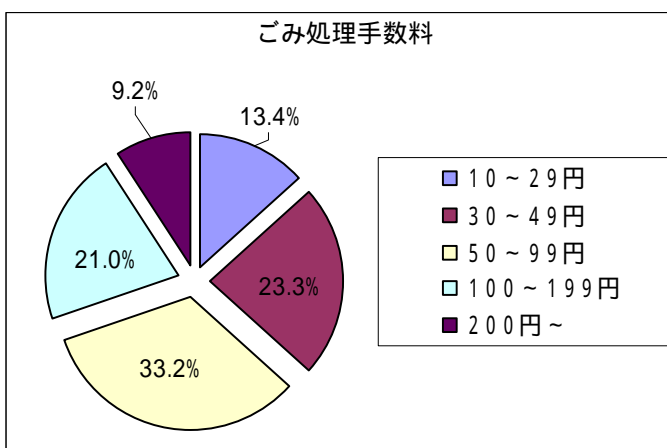
満足している
 やや満足している
 やや不満である
 不満である
 わからない



問16 ごみ収集、処理、処分コストは1袋(45リットル入り)当たり300円程度必要といわれています。ごみ処理手数料としてあなたが払ってもよいと思う金額はいくらくらいですか。

(回答率：89.7%)

10～29円
 30～49円
 50～99円
 100円～199円
 200円以上



【アンケートにお書き頂いたご意見(抜粋)】

- ・ 祭日もごみ収集してほしい。
- ・ 旧穂積町と旧巣南町で分別のあまさが異なるのはなぜ？大至急統一を。
- ・ 穂積は校下別に金物やその他不燃物が捨てられるのに巣南にはない。
- ・ 収集車が一時間以上停まっていることがある。
- ・ 皆、当番をしているのに何故ちゃんと出さないのか。
- ・ ごみ収集日に当番がいるところはマナーがよい。
- ・ マイバックの普及が遅い。ごみ処理手数料0円で行政負担
- ・ 瑞穂市のごみ収集に関しては岐阜市などに比べてとても良いと思われます。
- ・ ゴミを燃やすという考えをやめて、減らす工夫をするため処理代をもっと高くするとよい。
- ・ 生ゴミをリサイクルして、肥料化し、田や畑を持っている人や、花を育てている人も使えるよう小売してもらえ施設を作って還元していくことを考えてほしい。
- ・ 分別したらもっとゴミの量が減ると思う。もっと分別に厳しくなってもいいと思う。
- ・ 現状では処理費用は高いと思うが、プラ容器などを分別して出せるのなら、今の価格がそれ以上に払ってもいいと思います。
- ・ 瑞穂市のごみ処理は、遅れていると思う。ゴミの冊子を全世帯に配布するといい。
- ・ 他の市町の人が夜・早朝に町内のごみ置き場に捨てに来る人が非常に多い。

資料6 諮問・答申

【 諮 問 】

[諮問書：表面]

瑞環第229号
平成20年11月21日

瑞穂市廃棄物減量等推進審議会 会長 様

瑞穂市長 堀 孝正 印

一般廃棄物処理基本計画の策定について（諮問）

下記事項について、貴審議会の意見を求めます。

記

（1）一般廃棄物処理基本計画の策定について

[諮問書：裏面]

諮 問 要 旨

平成20年6月19日に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づくごみ処理基本計画の策定に当たっての指針について」が環境省廃棄物対策課長より示されました。

一般廃棄物処理基本計画は、目標年次を概ね10年から15年先において、概ね5年ごとに改訂するほか、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には見直しを行うことが適切である。特に、市町村合併を行った市町村にあっては、速やかに策定する必要がある。と明示されています。

又、次に掲げる項目を策定することとされています。

- 1 ごみの発生量及び処理量の見込み
- 2 ごみの排出抑制のための方策に関する事項
- 3 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分
- 4 ごみの適正な処理及びこれを実施するものに関する基本的事項
- 5 ごみの処理施設の整備に関する事項
- 6 その他ごみの処理に関し必要な事項

又、計画の策定に当たっては廃棄物処理法第5条の7に規定する廃棄物減量等推進審議

会等の意見を踏まえ、同法第6条第1項に基づき一般廃棄物処理計画を策定すると明記されています。

そこで、瑞穂市は平成15年5月1日に誕生しましたが、旧町での廃棄物の分別が統一されておらず、市民からも又、議会からも改善を望む声が上がっています。

今回、上記6項目に関する当審議会のご意見を取り入れて廃棄物処理基本計画を策定するものです。

特に2.3.5の項目についてご意見をお願いします。

【 答 申 】

[答申書：表面]

瑞廃審第3号

平成21年3月5日

瑞穂市長 堀 孝 正 様

瑞穂市廃棄物減量等推進審議会
会 長 平 田 芳 子

一般廃棄物処理基本計画の策定について（答申）

平成20年11月21日付け瑞環第229号で諮問のあった一般廃棄物処理基本計画の策定について、瑞穂市の廃棄物処理事業を取り巻く諸情勢を踏まえ、慎重に審議を行い、検討を重ねた結果、ここに結論を得たので、下記のとおり答申する。

記

1 一般廃棄物処理基本計画策定について

瑞穂市の一般廃棄物の収集・処理方法については、合併後5年を経過した現在においても、旧2町の実施方法のままでごみの分別区分が統一されていない。そのため、住民サービス・公平性の観点から統一する必要がある、瑞穂市としての一般廃棄物処理基本計画を早期に策定し実施することを提言する。

なお、計画策定及び実施にあたり、次に示す付帯事項に取り組むことを要望する。

付帯事項

- (1) ごみの排出の抑制のために、特に粗大ごみの排出抑制対策が必要であり、速やかに粗大ごみ有料化を実施し、また資源化率の目標値を設定し、3R（減ら

す・再使用・再生利用）の実施に向けて検討すること。

- (2) ごみの発生量及び処理量の見込みは、将来を見据えて処理基本計画に明記すること。
- (3) 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分に関しては、容器包装リサイクル法に基づく分別収集に統一すること。
- (4) 行政・市民・事業者の役割を明確にし、協働による計画にすること。
- (5) ごみの適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的事項は、多量の一般廃棄物排出事業者に対する減量化指導を徹底し、計画的な事業系ごみの排出抑制対策を講じること。
- (6) ごみの処理施設の整備に関する事項については、最終処分場の今後の方向と整備を速やかに打ち出し、リサイクルセンター建設等視野に入れて積極的に検討すること。

2 その他

レジ袋の有料化、環境教育の推進、廃棄物減量等推進員の組織化や、市内での循環システムモデル事業の実施など、一層の市民協働によるごみ排出抑制への取り組みを進めることを要望する。

[答申書：裏面]

答 申 内 容

1. はじめに

廃棄物の排出量増加、質の多様化、不適正処理並びに処理施設の不足など廃棄物に係る諸問題は、今や地球環境を考えるうえで最優先に対応しなければならない重要課題となっている。

本市は豊かな自然環境にめぐまれており、それぞれの地域住民の生活環境を保全するためには、廃棄物の適正処理を図り、快適なまちづくりの実現に努めなければならない。一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を長期的・総合的な視野に立ち、計画的なごみ処理を図るため、ごみの発生から最終処分に至るまでの適正なごみ処理の推進に必要な基本的事項を定め、近年の社会情勢の変化に対応し、将来の廃棄物循環型社会システムの構築を目指す必要がある。

2. 審議内容

諮問に至った背景は、一般廃棄物処理基本計画は、目標年次を10年から15年先において、概ね5年ごとに改定するほか、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には見直しを行うことが適切である。計画の策定にあたっては廃棄物処

理法第5条の7に規定する廃棄物減量等推進審議会等の意見を踏まえ、同法第6条第1項に基づき一般廃棄物処理基本計画を策定することになっている。本審議会では、次の3つに論点を絞り、審議することとした。

ごみの排出の抑制のための方策に関する事項

分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分

ごみ処理施設の整備に関し必要な事項

(1) ごみの排出の抑制について

廃棄物の発生抑制(リデュース)・再使用(リユース)・再生利用(リサイクル)への取り組みのための意識啓発をすすめ、市民と事業者と市の協働による廃棄物の減量を推進する。また、他の自治体に比べ、粗大ごみの排出量が大きな比重を占めていることから、速やかに粗大ごみの有料化実施に向けて検討をすること。

(2) 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分について

合併後のごみの分別収集の統一化がなされていない現在、いろいろな意見が出たが、旧両町のそれぞれの地域の特性・収集形態等の相違が考えられ、統一は容易でない。現状では、旧巢南地区が容器包装リサイクル法を実施した収集を行っている。これによりペットボトル・プラスチック製容器包装の分別を堅実に行っている。旧穂積地区においては、カン・ペットボトルについては、ほとんど空き缶等処理機で資源化しているが、不燃ごみについては金属類・プラ類・殻類(その他)として収集しているのが現状である。しかし、旧穂積地区のごみの出し方の現状を踏まえると、旧巢南地区の収集形態に合わせるのが賢明である。いずれにしても、循環型社会を目指し、ごみ分別収集区分を再検討することを要望する。

(3) ごみ処理施設の整備に関し必要な事項として

循環型社会の形成推進を図り最も適正なごみ処理施設の運用及び整備を図るため、市町村合併により増加した施設の統廃合を含めた効率運用を図るためには、現在の施設等を見直し、また、最終処分場の今後の方向と整備を速やかに打ち出し、リサイクルセンター建設等視野に入れた計画を積極的に検討すること。

3. 審議結果

諮問事項は、前記3つの観点から審議検討をした。その結果、廃棄物処理の改善の政策課題に照らして早急に取り組むことはもちろんであり、諮問のとおり長期的、総合的視野に立って計画されることを期待する。なお、策定にあたり次に示す付帯事項に取り組むことを要望する。

付帯事項

- (1) ごみの排出の抑制のために、特に粗大ごみの排出抑制対策が必要であり、速やかに粗大ごみ有料化を実施し、また資源化率の目標値を設定し、3 R（減らす・再利用・再生利用）の実施に向けて検討すること。
- (2) ごみの発生量及び処理量の見込みは、将来を見据えて処理基本計画に明記すること。
- (3) 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分に関しては、容器包装リサイクル法に基づく分別収集に統一すること。
- (4) 行政・市民・事業者の役割を明確にし、協働による計画にすること。
- (5) ごみの適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的事項は、多量の一般廃棄物排出事業者に対する減量化指導を徹底し、計画的な事業系ごみの排出抑制対策を講じること。
- (6) ごみの処理施設の整備に関する事項については、最終処分場の今後の方向と整備を速やかに打ち出し、リサイクルセンター建設等視野に入れて積極的に検討すること。

4 . おわりに

瑞穂市の一般廃棄物処理に対する施策は、近年環境問題が注目される中、今回の答申内容が将来の循環型社会システムの構築につながり、廃棄物処理が改善されることを期待する。

今後、本審議会の意見を取り入れて広く議論していくことを要望する。

資料7 廃棄物減量等推進審議会

【開催経緯】

平成20年11月21日	第1回廃棄物減量等推進審議会
平成20年12月4日	第2回廃棄物減量等推進審議会
平成21年1月16日	第3回廃棄物減量等推進審議会
平成21年2月19日	第4回廃棄物減量等推進審議会

【廃棄物減量等推進審議委員名簿】

区分	氏名	所属
学識者	平田 芳子	21世紀職業財団岐阜事務所所長
住民代表	市川 義昭	市民公募
	香田 義宏	市民公募
	山本 恵子	市民公募
自治会代表	下条 晋	自治会連合会会長
	野田 寧宏	自治会連合会副会長
	吉田 勝郎	自治会連合会副会長
事業者	大平 康清	トミダヤ営業本部
	和田 守玄	ピアゴ穂積店
処理業者	青山 茂	株式会社 美濃環境保全社
	恩田 直樹	中央清掃 株式会社
再生業者	家田 利一郎	長良製紙 株式会社

会長、副会長、順不同・敬称略

一般廃棄物処理基本計画
～ごみ処理基本計画～

平成21年3月

発行：瑞穂市

編集：環境水道部 環境課

瑞穂市宮田 300 番地 2 (巢南庁舎)

電話：058-327-2100 (巢南庁舎代表)